

第二部
資料編

12. 海草・海藻

12.1. 確認種写真



(目盛りは 1mm 間隔)

写真 12.1 (1) 海草・海藻確認種



(目盛りは 1mm 間隔)

写真 12.1 (2) 海草・海藻確認種



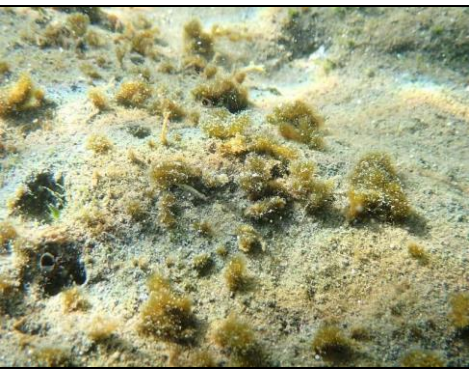





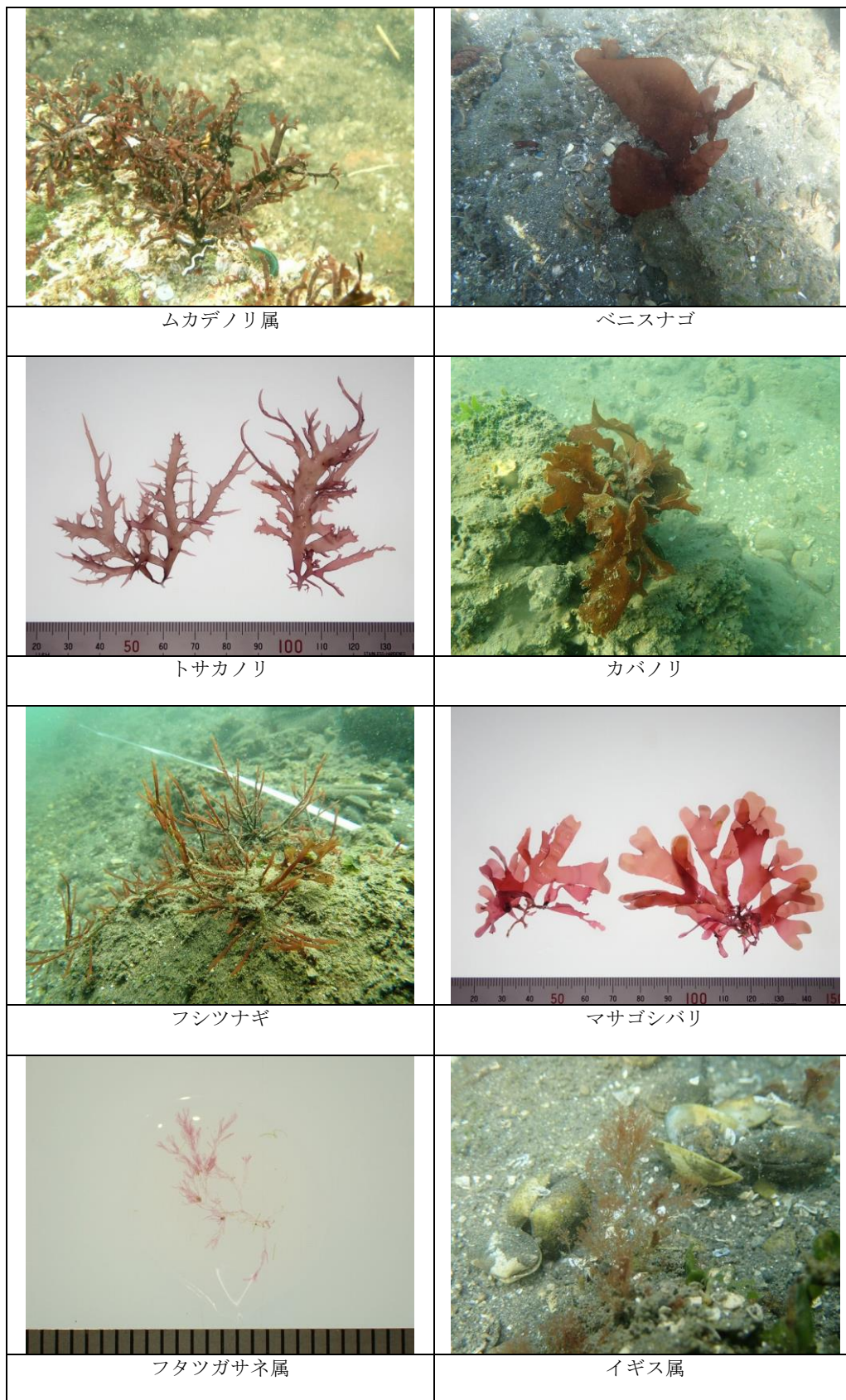
	
<p>ワカメ</p>	<p>アカモク</p>
	
<p>珪藻綱</p>	<p>スサビノリ</p>
	
<p>モカサ属</p>	<p>イソダンツウ</p>
	
<p>フダラク</p>	<p>ヒラムカデ</p>

写真 12.1 (3) 海草・海藻確認種



(目盛りは 1mm 間隔)

写真 12.1 (4) 海草・海藻確認種

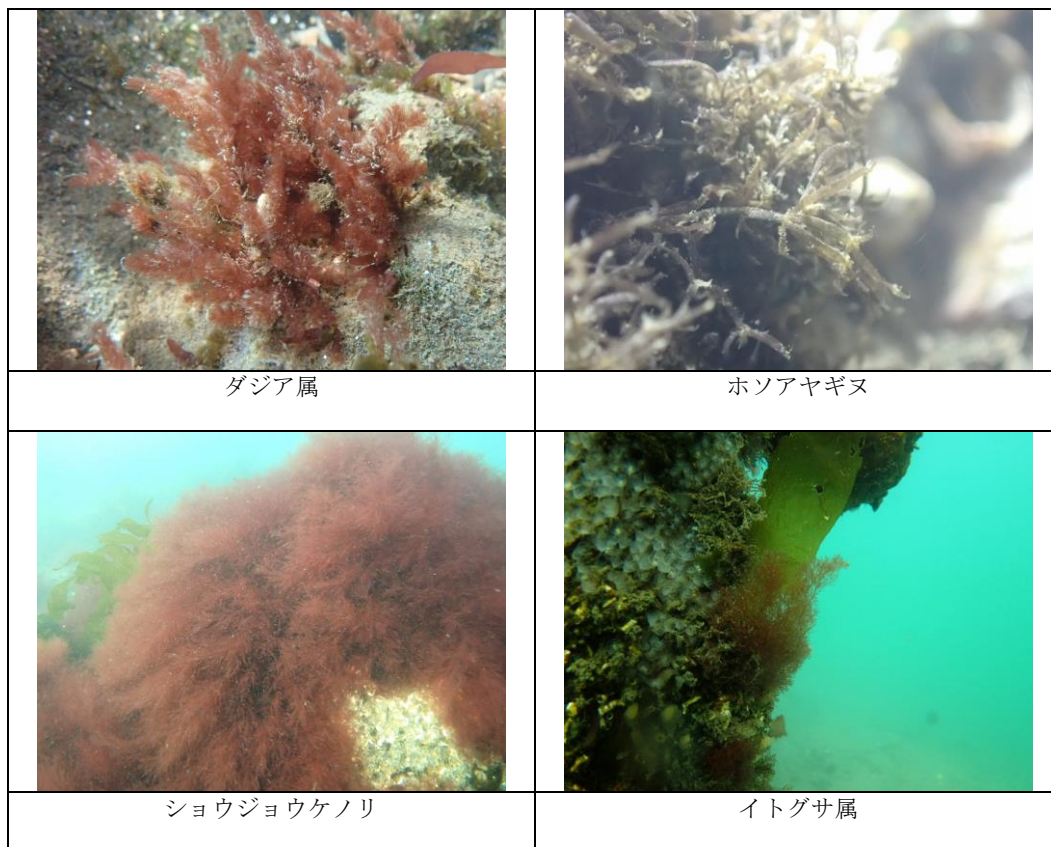
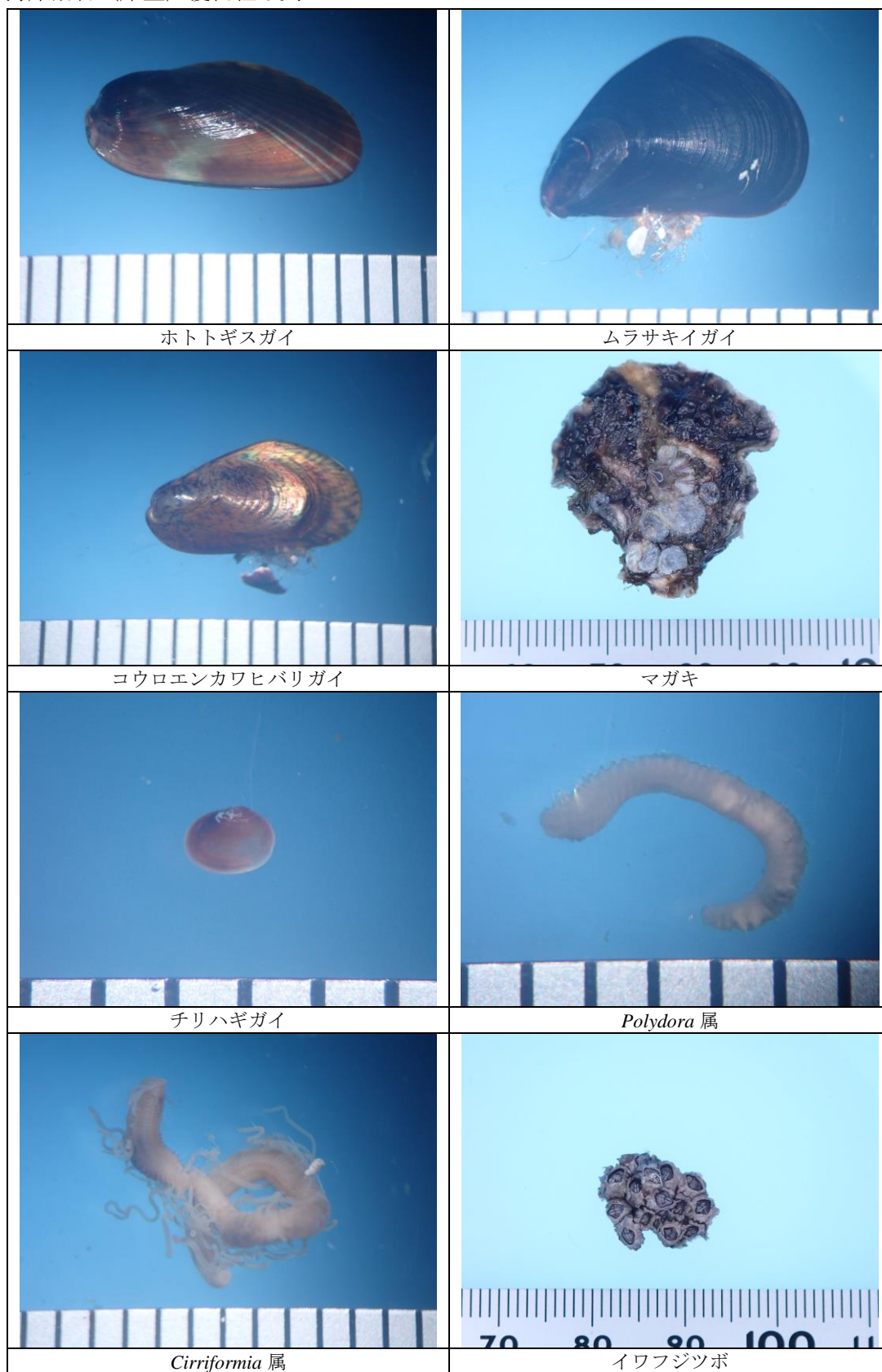


写真 12.1 (5) 海草・海藻確認種

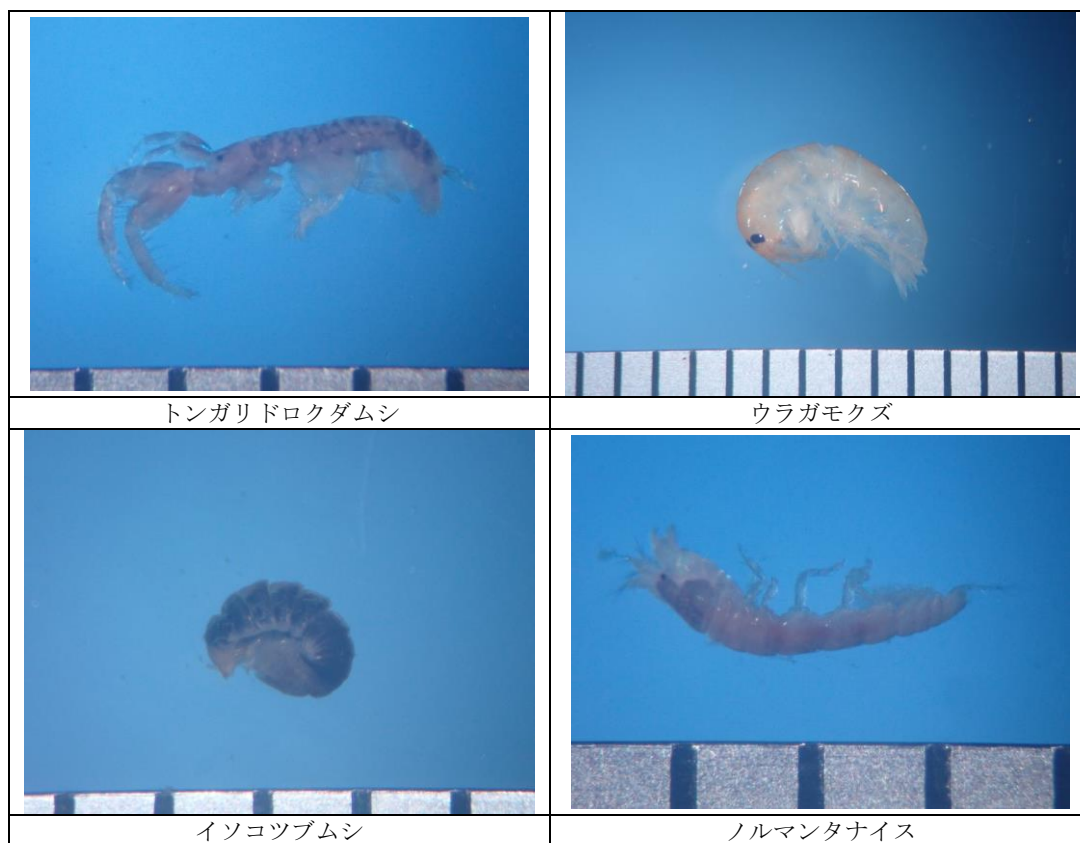
13. 海岸動物

13.1. 海岸動物（岸壁）優占種写真



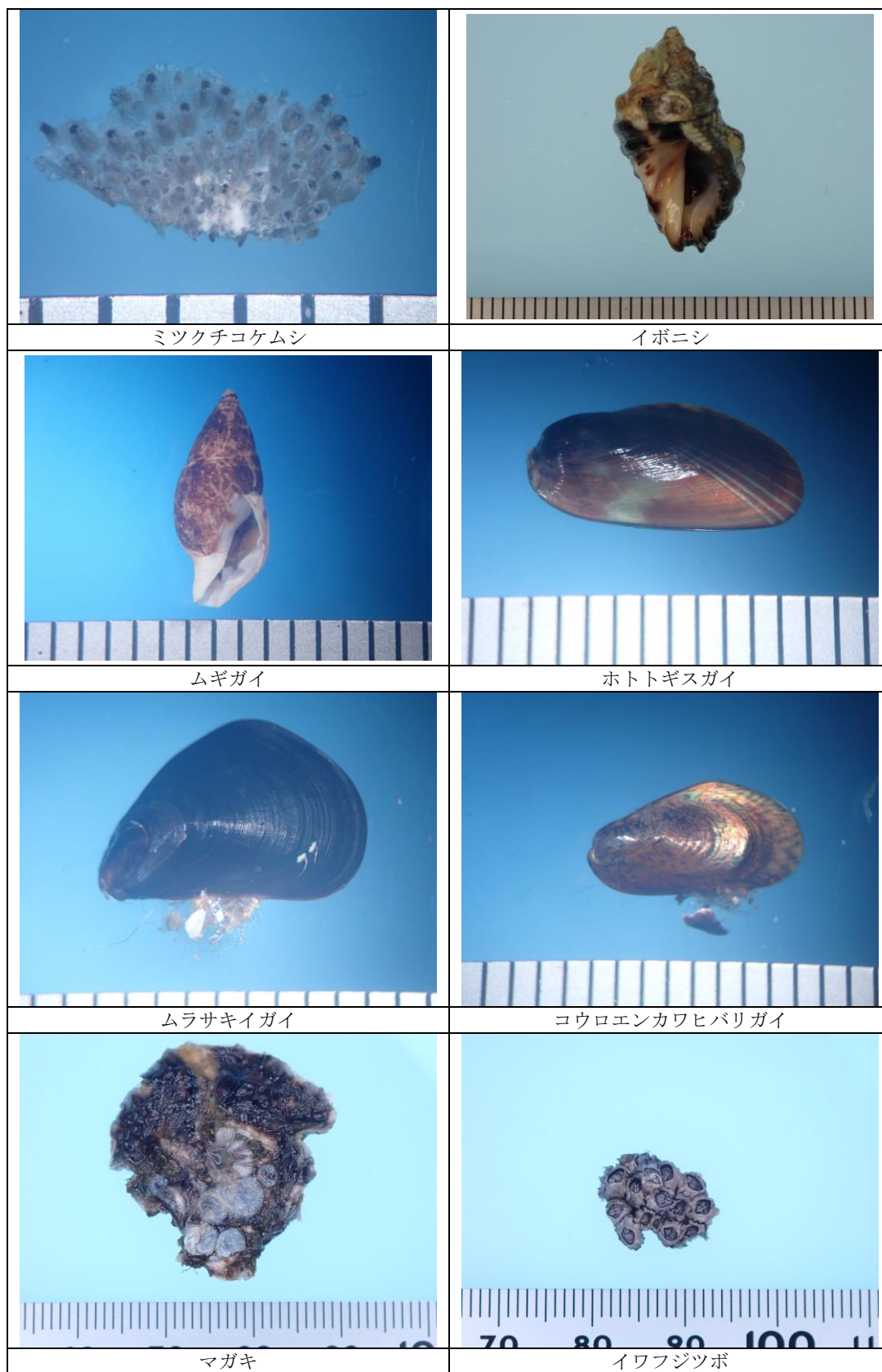
(目盛りは1mm間隔)

写真 13.1 (1) 海岸動物（岸壁）優占種写真（個体数）



(目盛りは 1mm 間隔)

写真 13.1 (2) 海岸動物 (岸壁) 優占種写真 (個体数)



(目盛りは1mm間隔)

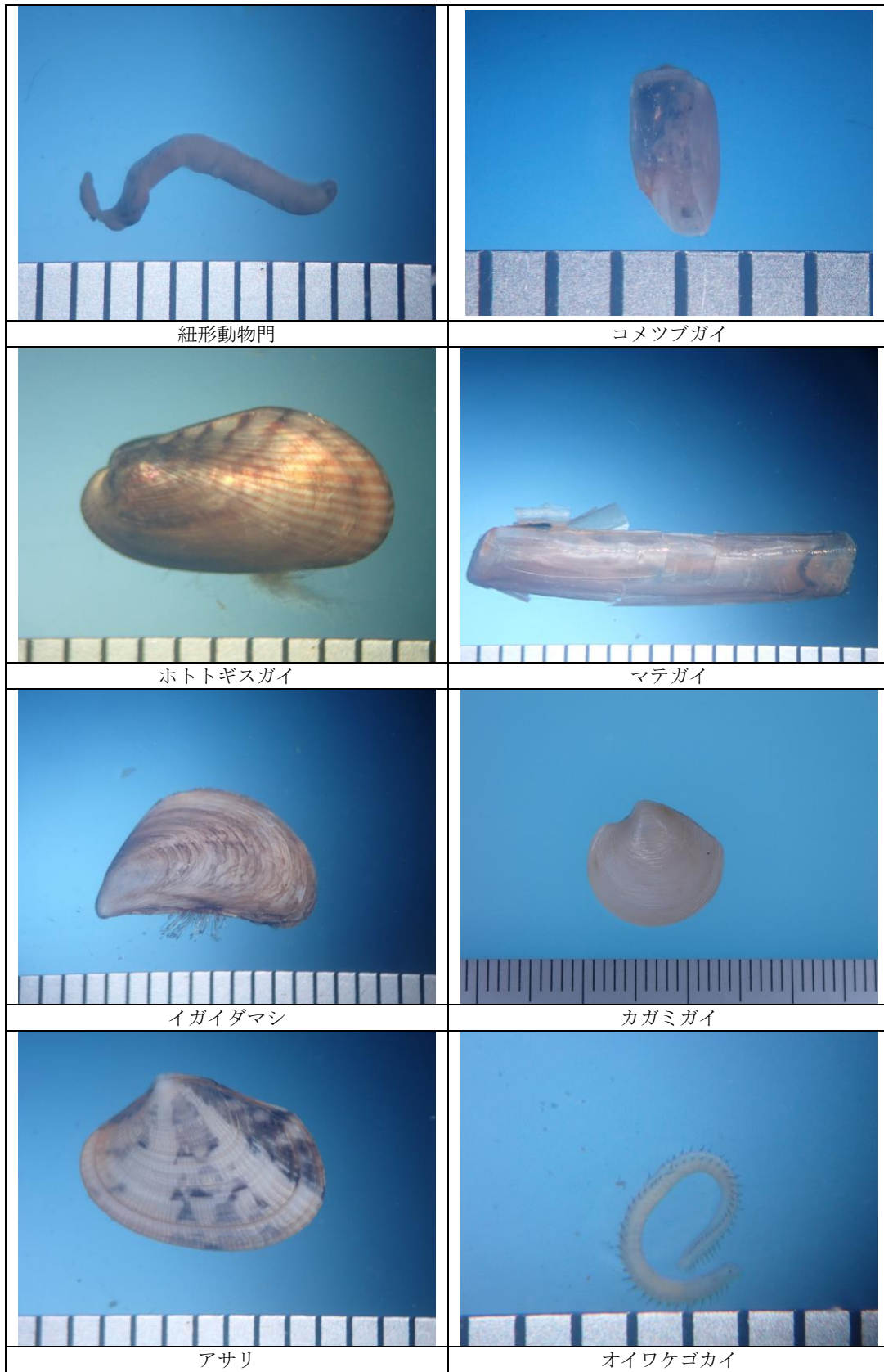
写真 13.2 (1) 海岸動物 (岸壁) 優占種写真 (湿重量)



(目盛りは1mm 間隔)

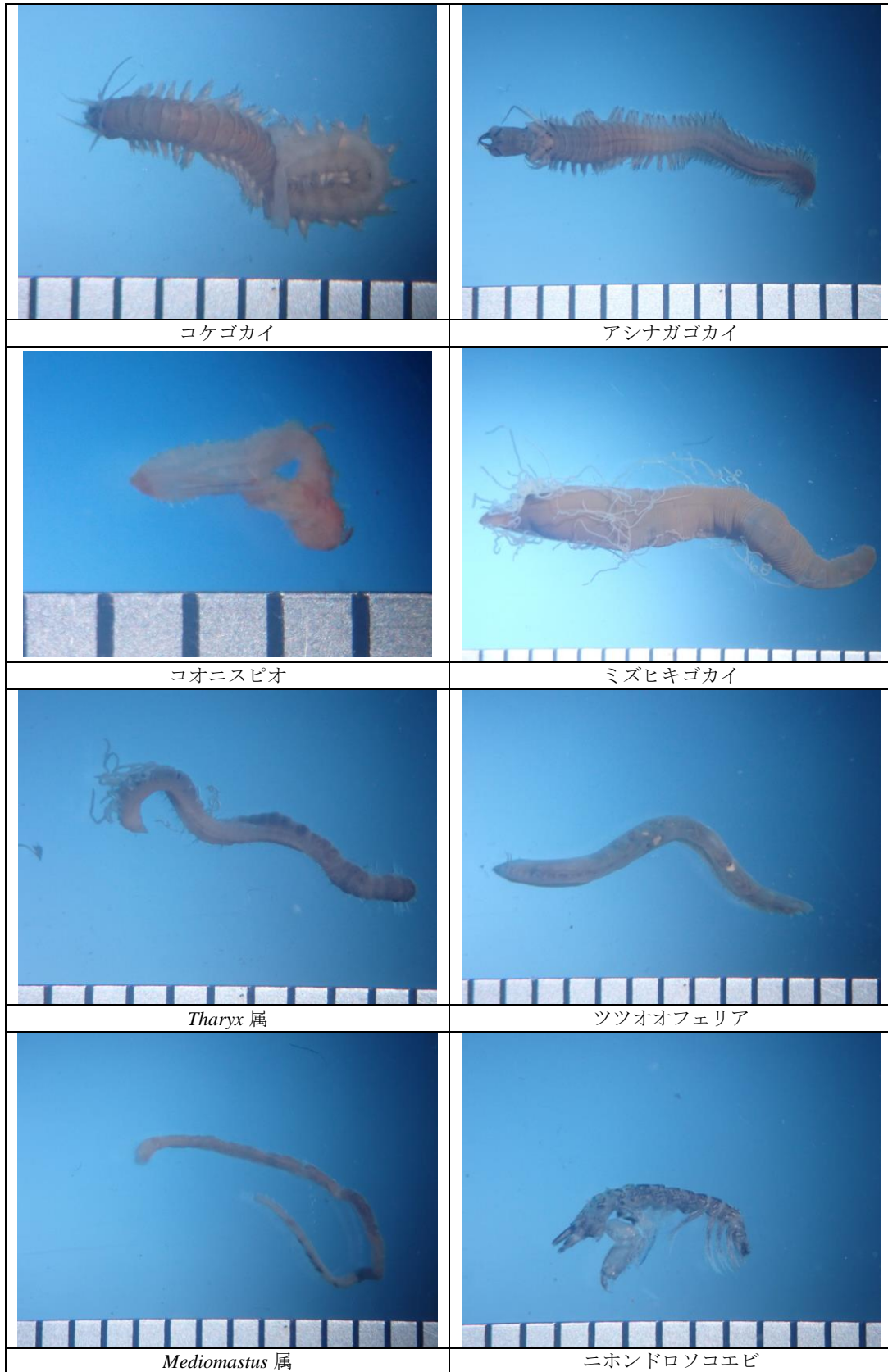
写真 13.2 (2) 海岸動物 (岸壁) 優占種写真 (湿重量)

13.2. 海岸動物（干潟）優占種写真



(目盛りは 1mm 間隔)

写真 13.3 (1) 海岸動物（干潟）優占種写真（個体数）



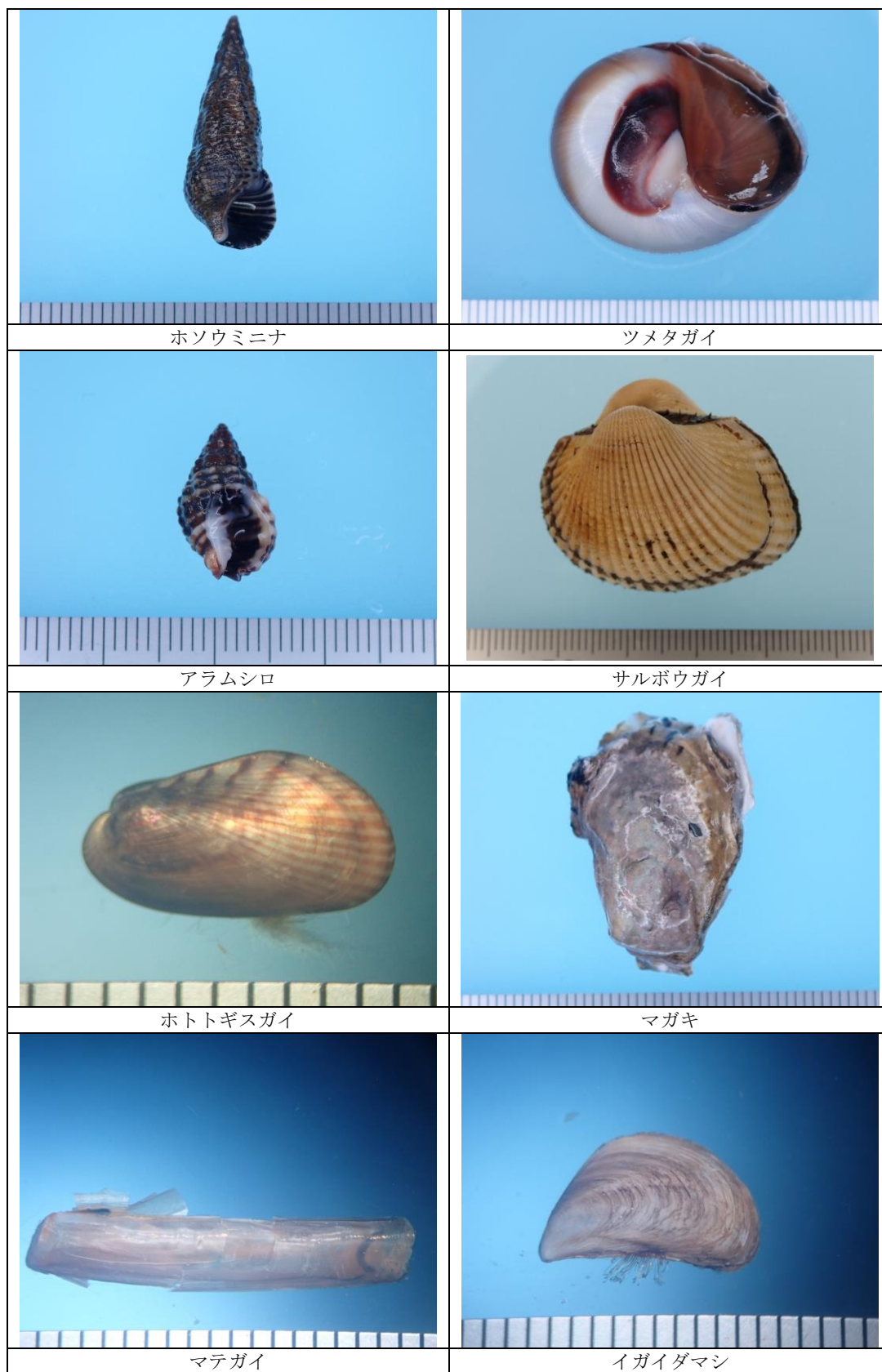
(目盛りは 1mm 間隔)

写真 13.3 (2) 海岸動物 (干潟) 優占種写真 (個体数)



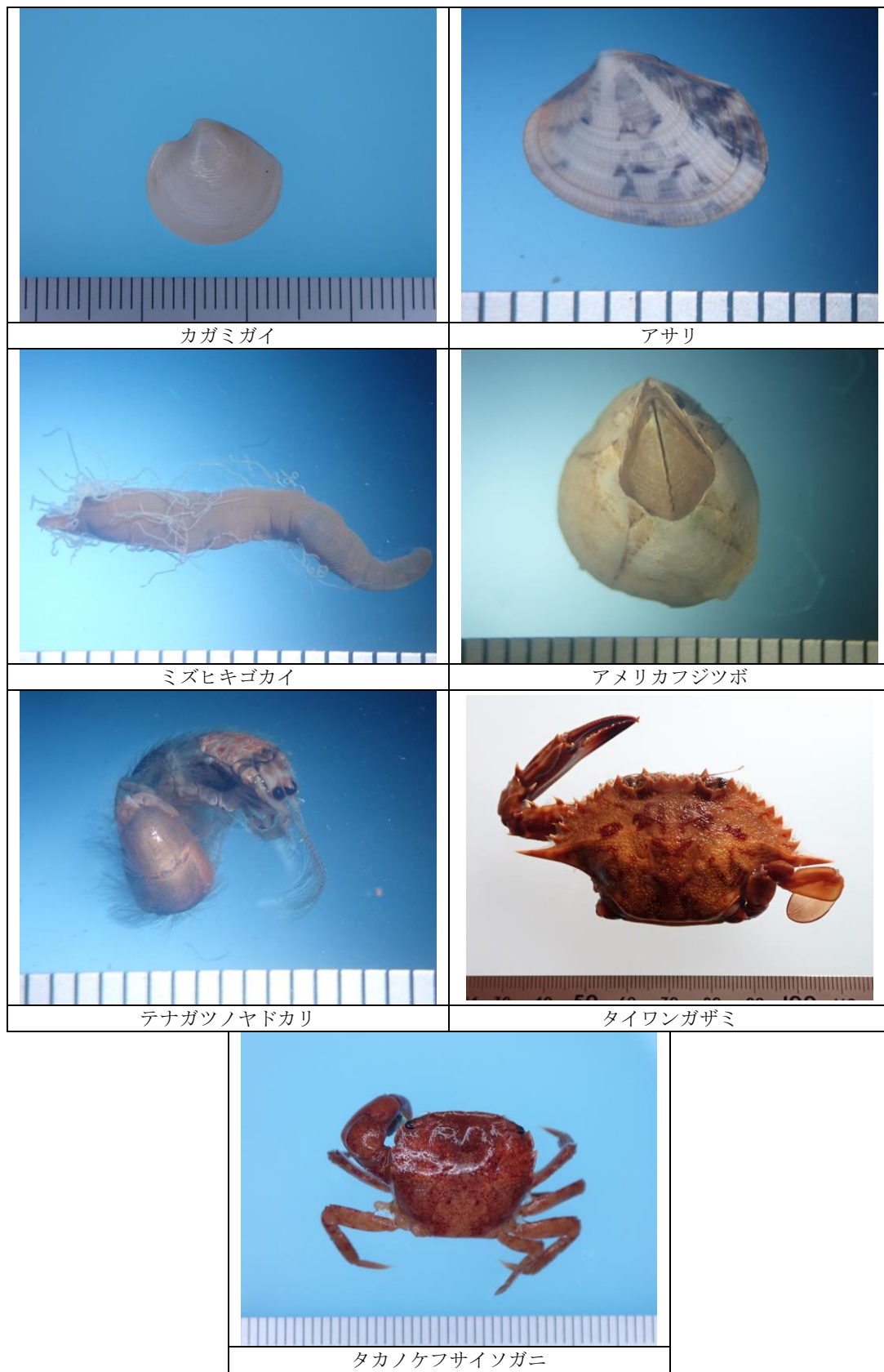
(目盛りは 1mm 間隔)

写真 13.3 (3) 海岸動物 (干潟) 優占種写真 (個体数)



(目盛りは 1mm 間隔)

写真 13.4 (1) 海岸動物 (干潟) 優占種写真 (湿重量)



(目盛りは 1mm 間隔)

写真 13.4 (2) 海岸動物 (干潟) 優占種写真 (湿重量)

13.3. 海岸動物（岸壁）観察枠写真

<p>観察枠 A.P.+2.0m</p>	<p>観察枠 A.P.±0.0m</p>
<p>観察枠 A.P.+1.5m</p>	<p>観察枠 A.P.-0.5m</p>
<p>観察枠 A.P.+1.0m</p>	<p>観察枠 A.P.-1.0m</p>
<p>観察枠 A.P.+0.5m</p>	<p>地点全景</p>

写真 13.5 海岸動物（岸壁）観察枠 山下公園（秋季）

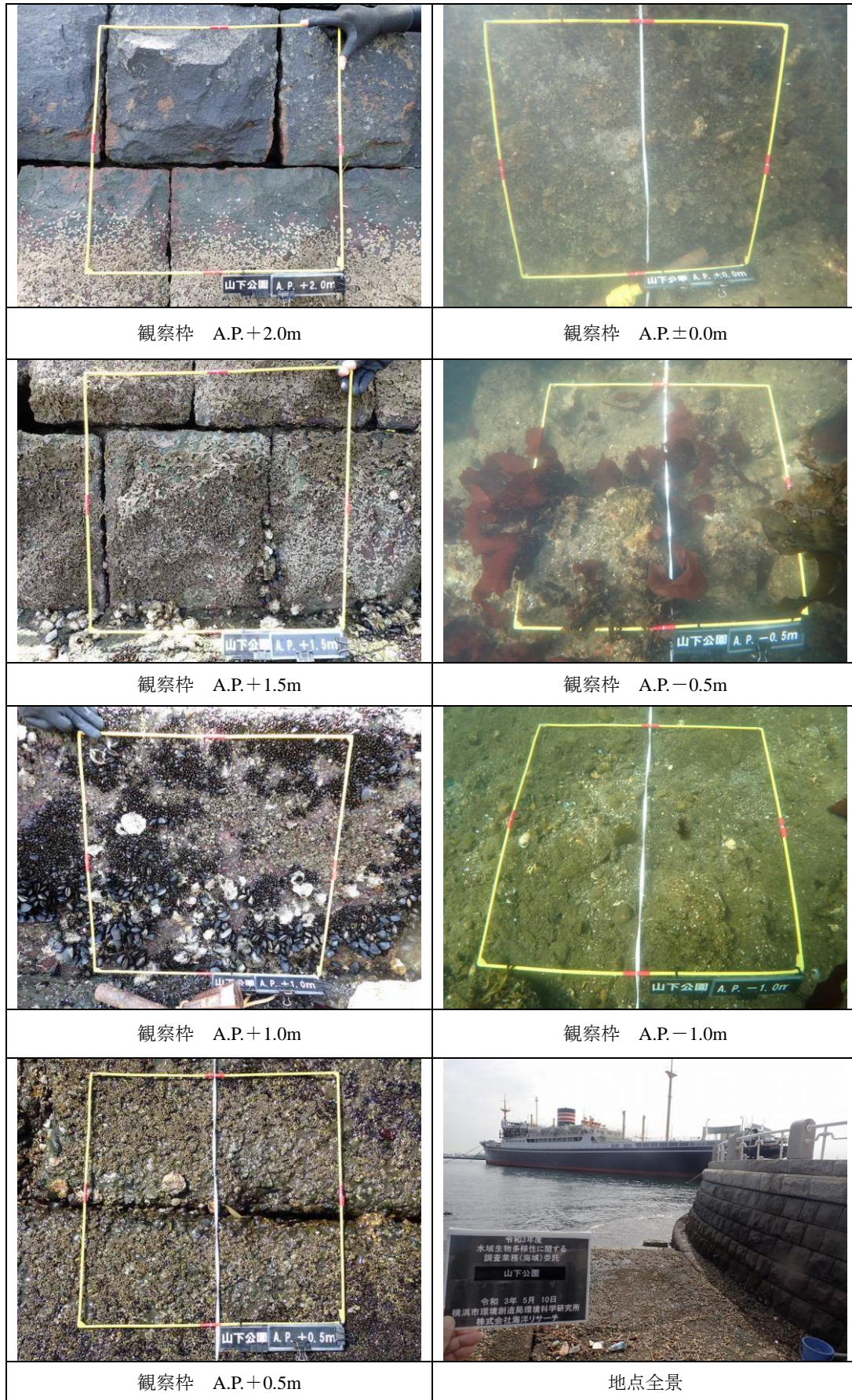


写真 13.6 海岸動物 (岸壁) 観察枠 山下公園 (春季)

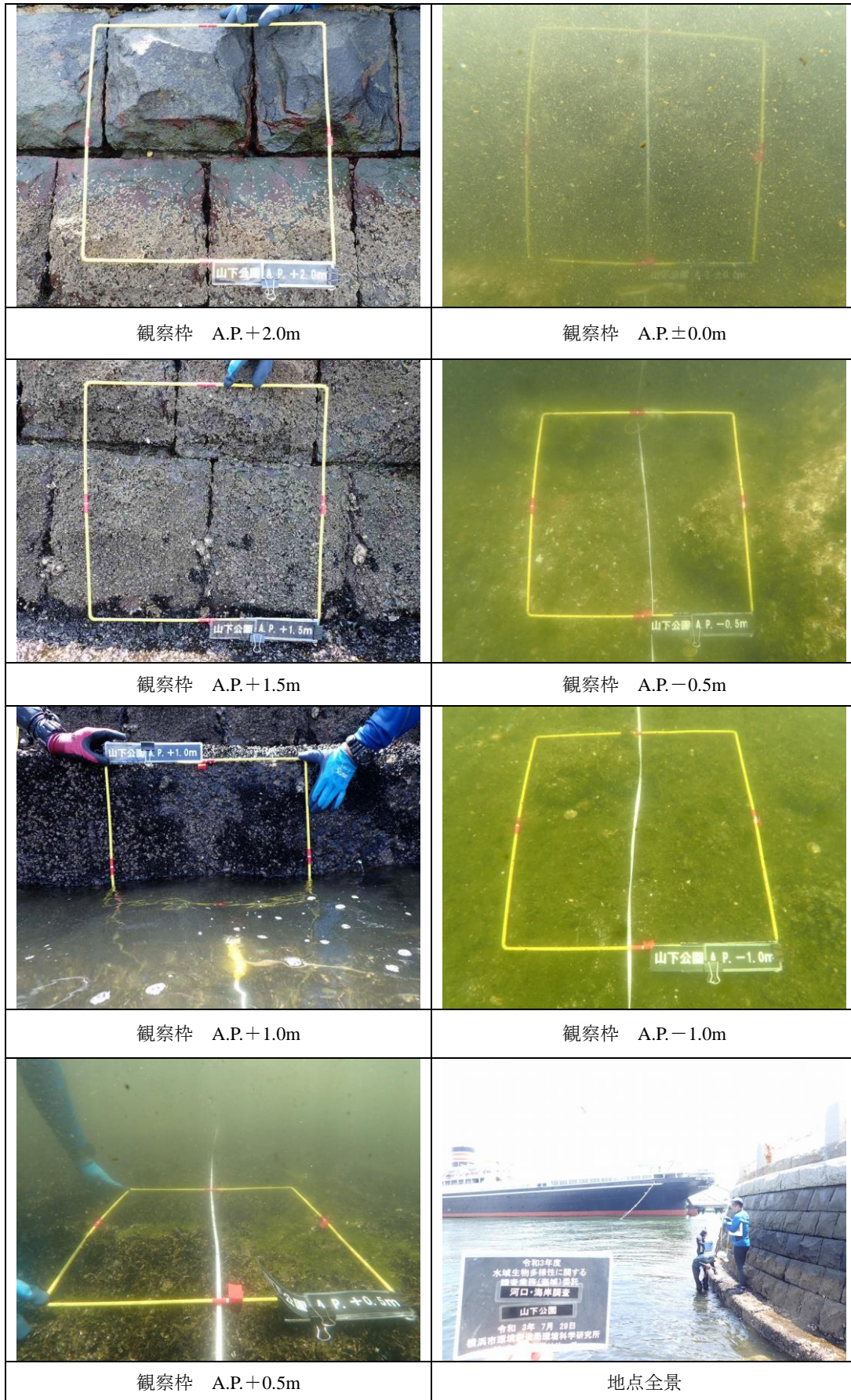


写真 13.7 海岸動物 (岸壁) 観察枠 山下公園 (夏季)

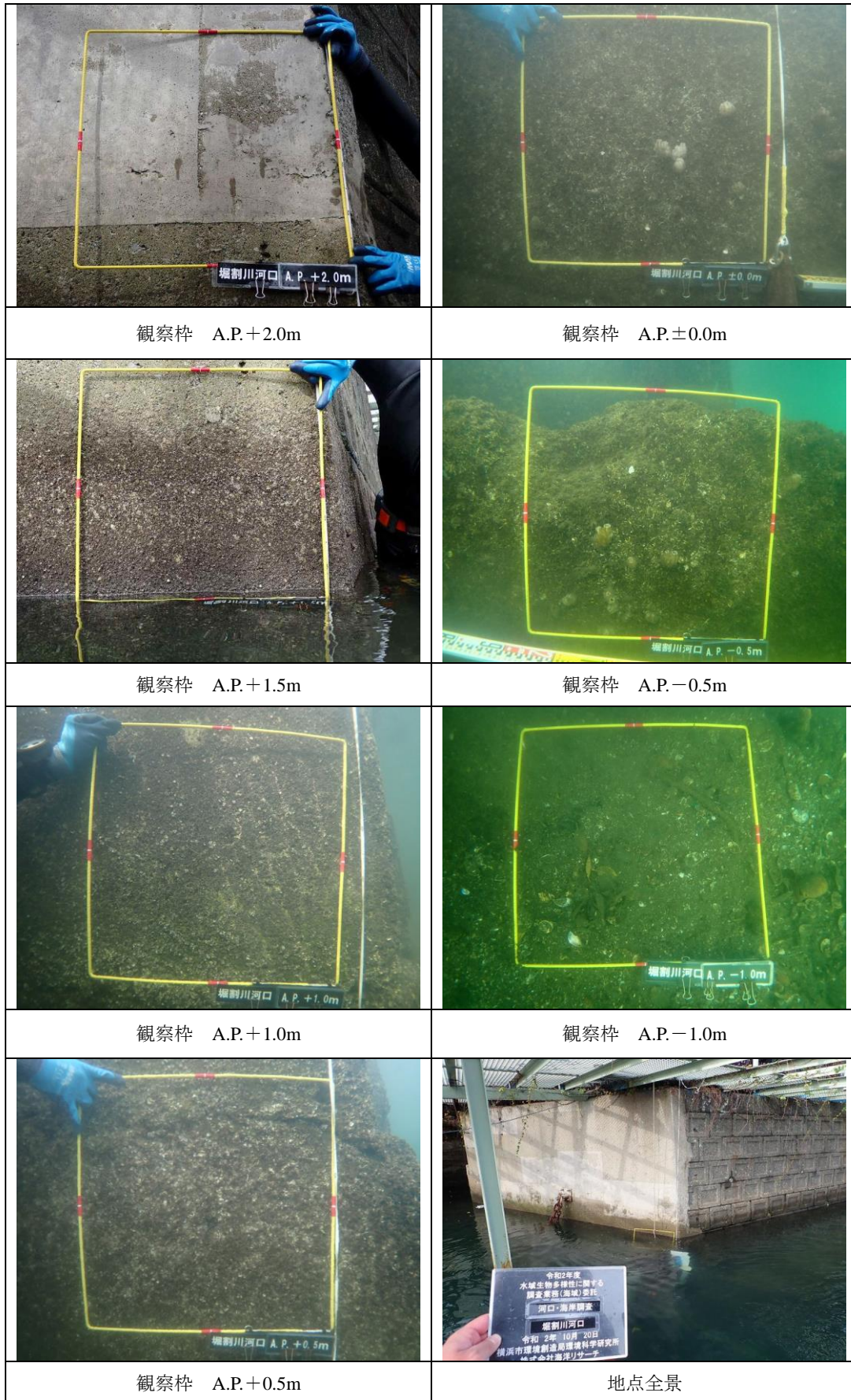


写真 13.8 海岸動物 (岸壁) 観察枠 堀割川河口 (秋季)

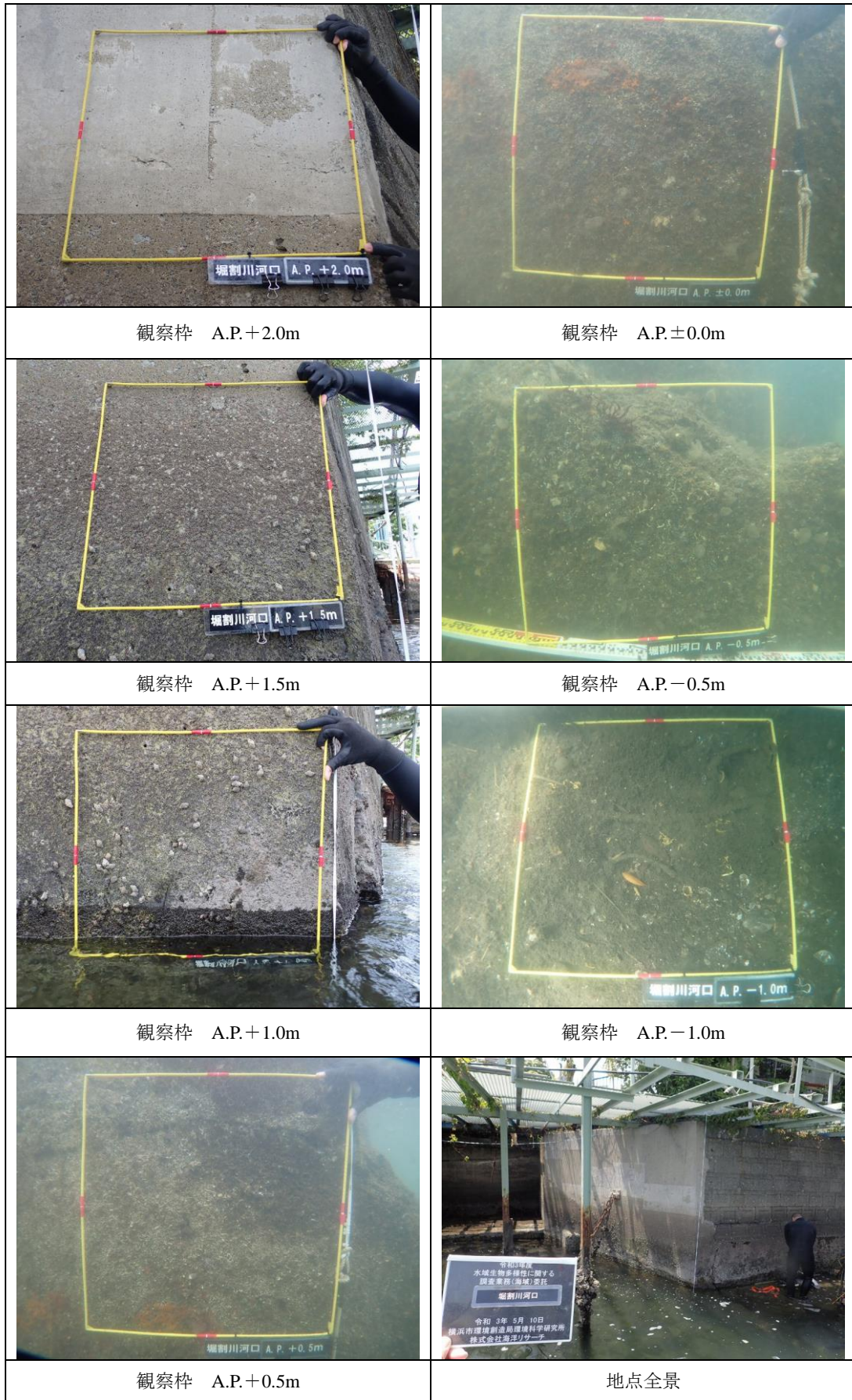


写真 13.9 海岸動物 (岸壁) 観察枠 堀割川河口 (春季)

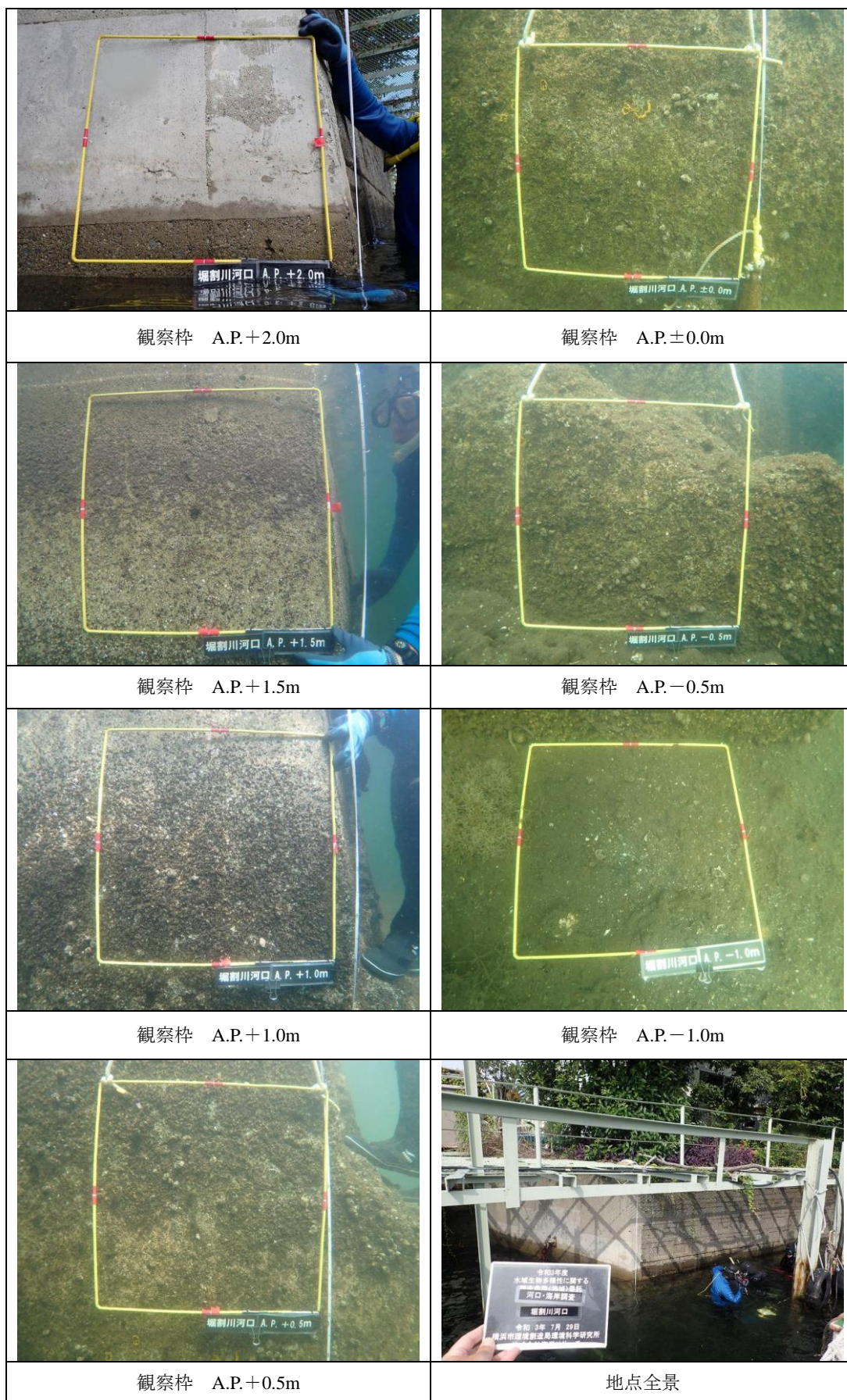


写真 13.10 海岸動物（岸壁）観察枠 堀割川河口（夏季）

13.4. 海岸動物（岸壁） 採取採取採写真

<p>山下公園 高潮帯 A.P.+1.85m</p>	<p>山下公園 高潮帯 A.P.+1.85m</p>
<p>高潮帯 A.P.+1.85m 山下公園（秋季）</p>	<p>高潮帯 A.P.+1.85m 山下公園（春季）</p>
<p>山下公園 平均水面 A.P.+1.15m</p>	<p>山下公園 平均水面 A.P.+1.15m</p>
<p>平均水面 A.P.+1.15m 山下公園（秋季）</p>	<p>平均水面 A.P.+1.15m 山下公園（春季）</p>
<p>山下公園 低潮帯 A.P.+0.45m</p>	<p>山下公園 低潮帯 A.P.+0.45m</p>
<p>低潮帯 A.P.+0.45m 山下公園（秋季）</p>	<p>低潮帯 A.P.+0.45m 山下公園（春季）</p>
<p>山下公園 平均水面下2m A.P.-0.85m</p>	<p>山下公園 平均水面下2m A.P.-0.85m</p>
<p>平均水面下2m A.P.-0.85m 山下公園（秋季）</p>	<p>平均水面下2m A.P.-0.85m 山下公園（春季）</p>

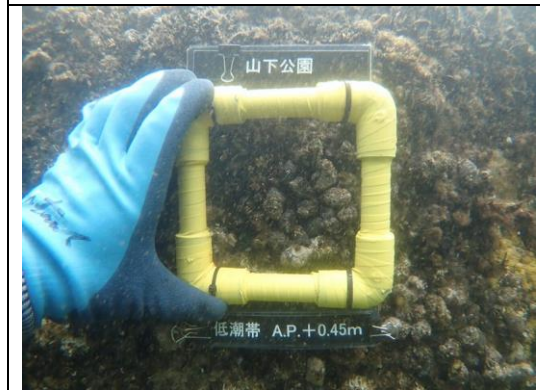
写真 13.11 海岸動物（岸壁） 採取採取採写真 山下公園（秋季・春季）



高潮帯 A.P.+1.85m
山下公園 (夏季)



平均水面 A.P.+1.15m
山下公園 (夏季)



低潮帯 A.P.+0.45m
山下公園 (夏季)



平均水面下2m A.P.-0.85m
山下公園 (夏季)

写真 13.12 海岸動物 (岸壁) 採取採取枠 山下公園 (夏季)

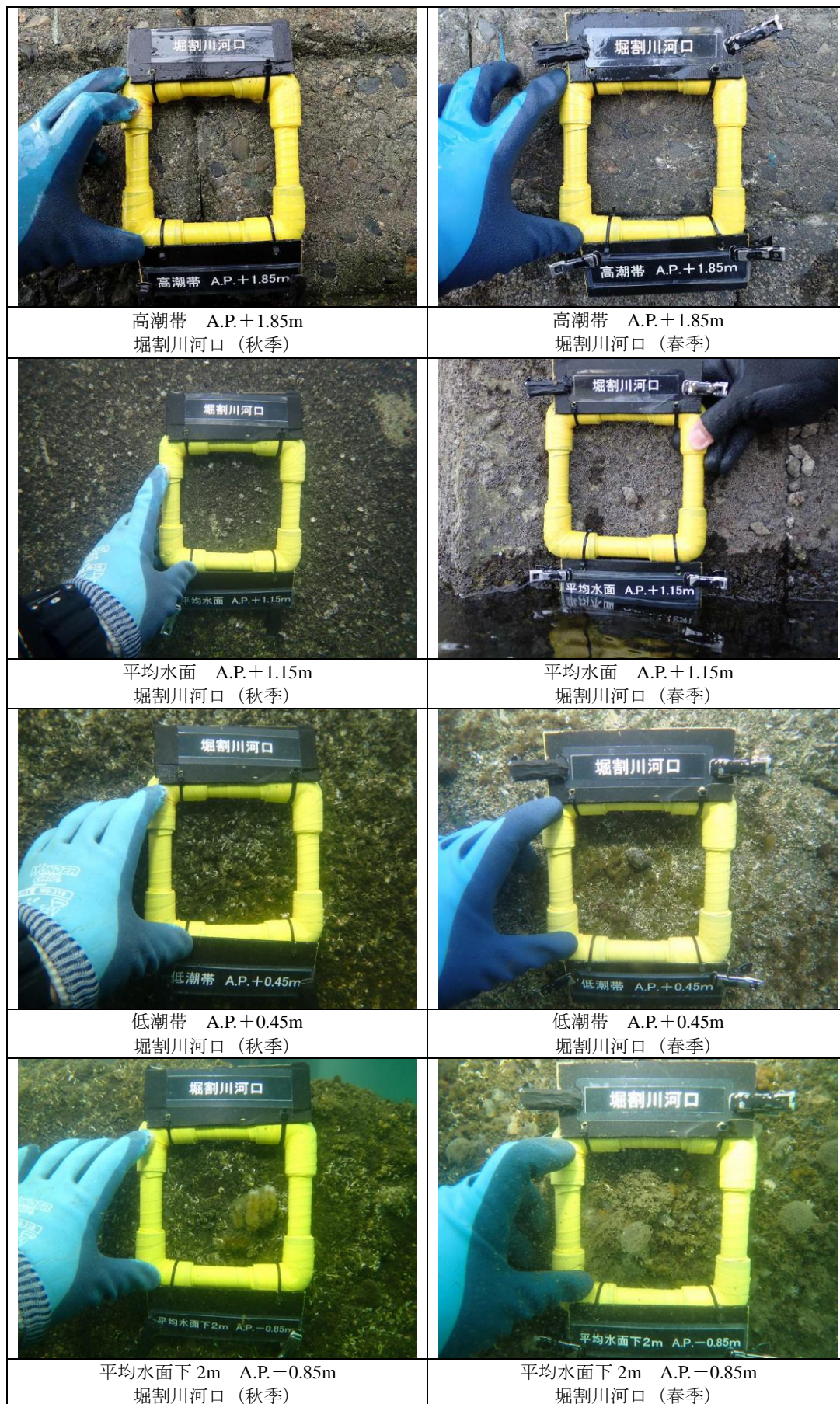


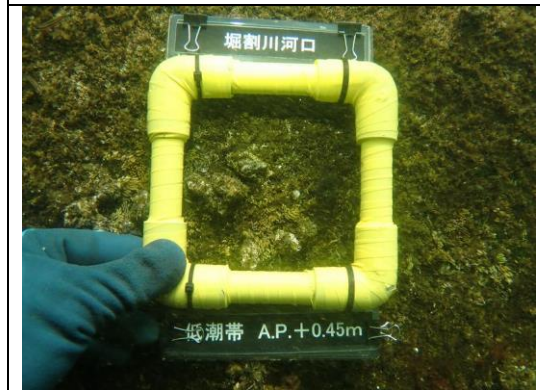
写真 13.13 海岸動物 (岸壁) 枠取採取枠 堀割川河口 (秋季・春季)



高潮帯 A.P.+1.85m
堀割川河口 (夏季)



平均水面 A.P.+1.15m
堀割川河口 (夏季)



低潮帯 A.P.+0.45m
堀割川河口 (夏季)



平均水面下2m A.P.-0.85m
堀割川河口 (夏季)

写真 13.14 海岸動物 (岸壁) 枠取採取枠 堀割川河口 (夏季)

13.5. 海岸動物（干潟）観察枠写真

<p>観察枠 A.P.+2.0m</p>	<p>観察枠 A.P.±0.0m</p>
<p>観察枠 A.P.+1.5m</p>	<p>観察枠 A.P.-0.5m</p>
<p>観察枠 A.P.+1.0m</p>	<p>観察枠 A.P.-1.0m</p>
<p>観察枠 A.P.+0.5m</p>	<p>地点全景</p>

写真 13.15 海岸動物（干潟）観察枠 鶴見川河口（秋季）

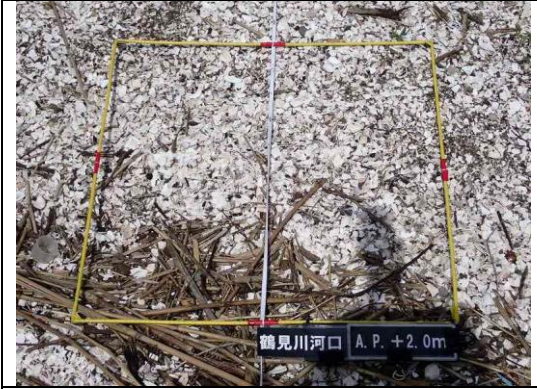
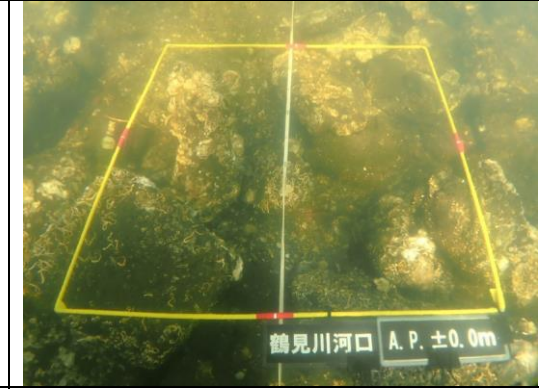
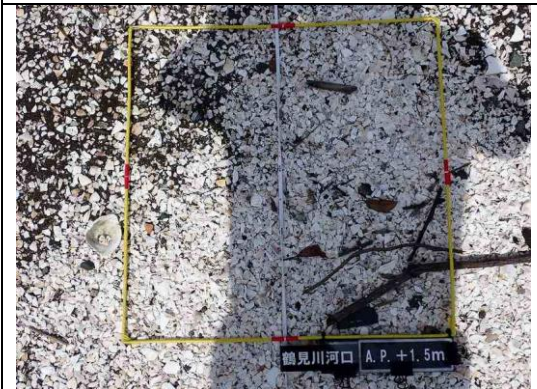
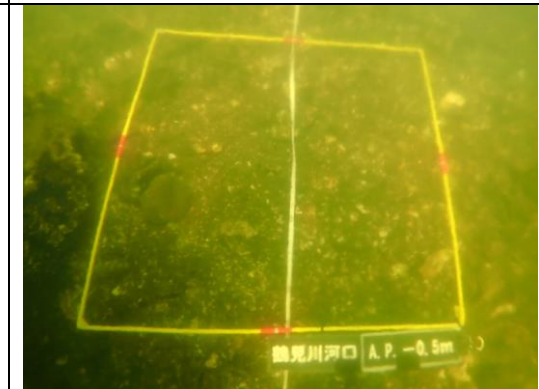
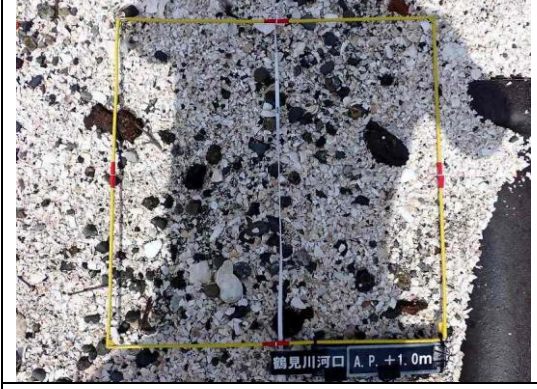
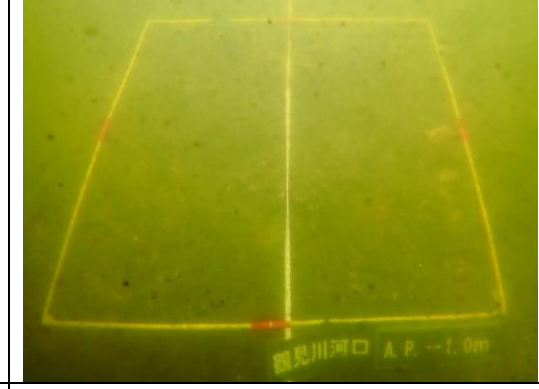
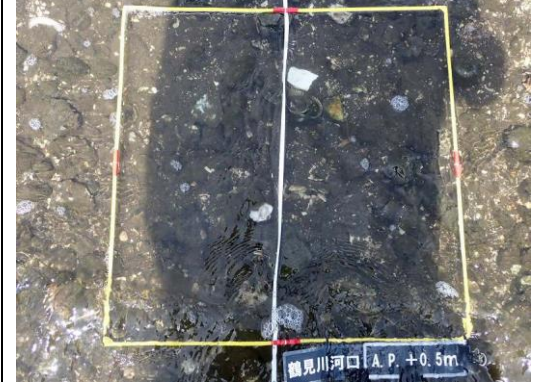

	
<p>観察枠 A.P.+2.0m</p>	<p>観察枠 A.P.±0.0m</p>
	
<p>観察枠 A.P.+1.5m</p>	<p>観察枠 A.P.-0.5m</p>
	
<p>観察枠 A.P.+1.0m</p>	<p>観察枠 A.P.-1.0m</p>
	
<p>観察枠 A.P.+0.5m</p>	<p>地点全景</p>

写真 13.16 海岸動物 (干潟) 観察枠 鶴見川河口 (春季)


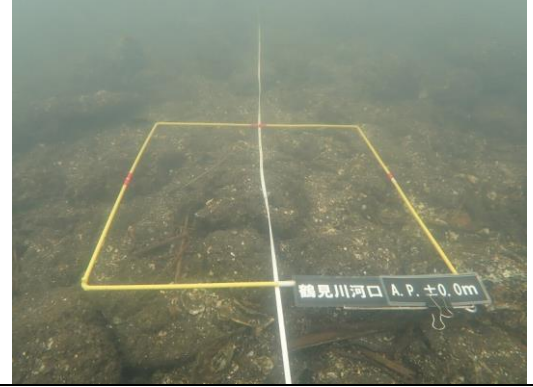

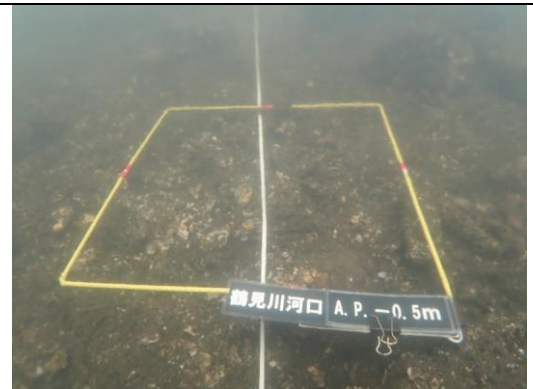
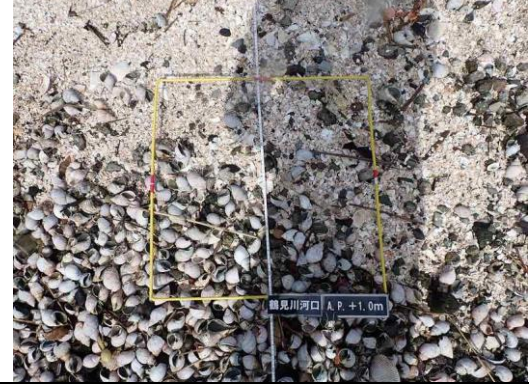
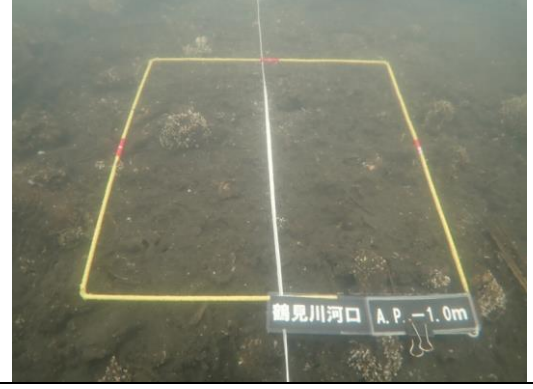
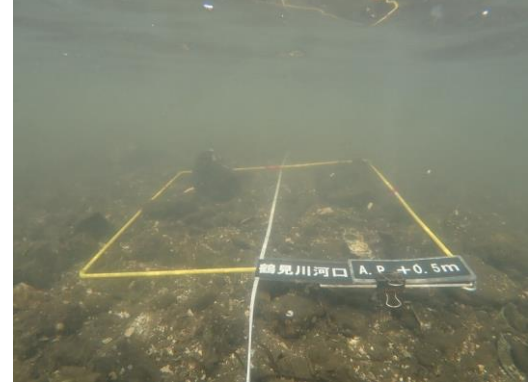

	
<p>観察枠 A.P.+2.0m</p>	<p>観察枠 A.P.±0.0m</p>
	
<p>観察枠 A.P.+1.5m</p>	<p>観察枠 A.P.-0.5m</p>
	
<p>観察枠 A.P.+1.0m</p>	<p>観察枠 A.P.-1.0m</p>
	
<p>観察枠 A.P.+0.5m</p>	<p>地点全景</p>

写真 13.17 海岸動物(干潟) 観察枠 鶴見川河口(夏季)

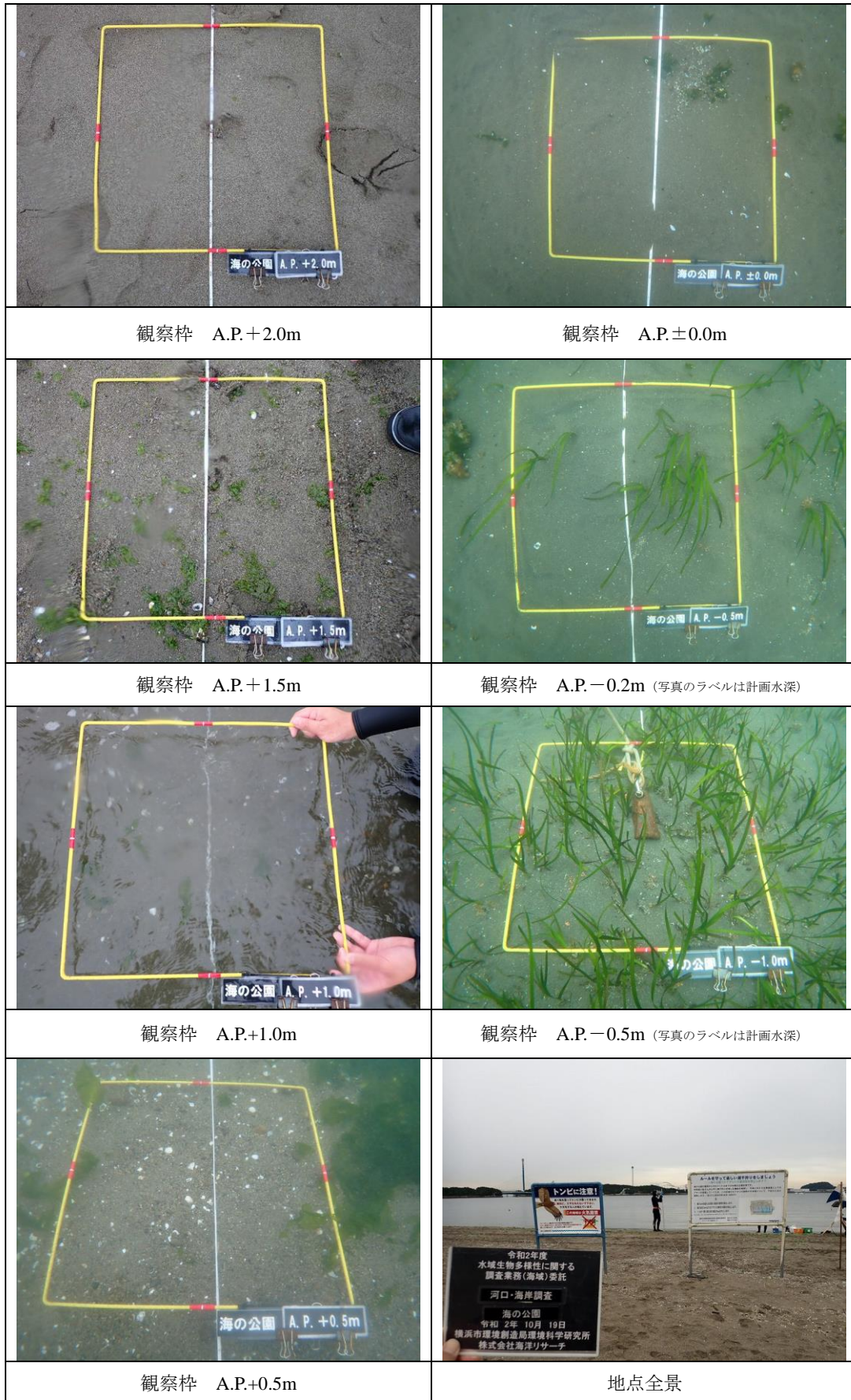


写真 13.18 海岸動物 (干潟) 観察枠 海の公園 (秋季)


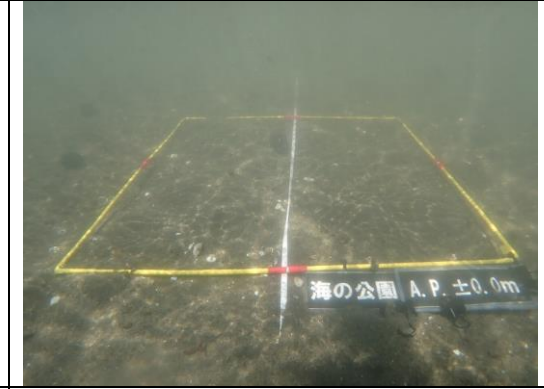

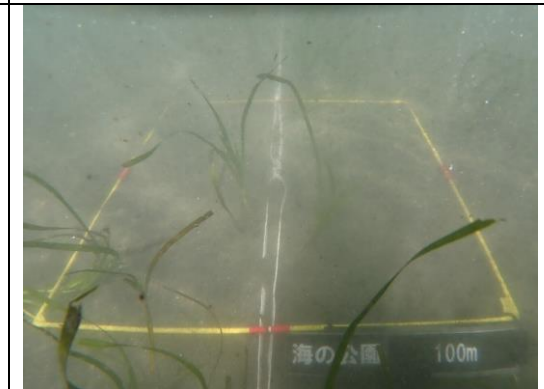

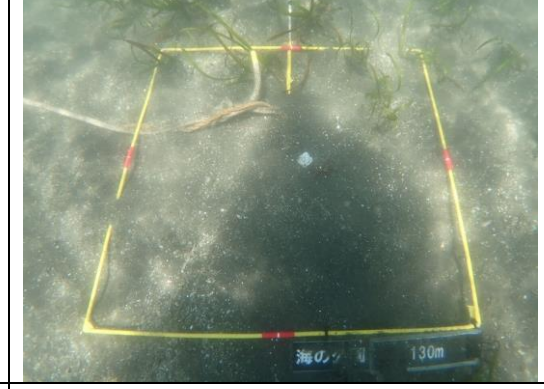


	
<p>観察枠 A.P.+2.0m</p>	<p>観察枠 A.P.±0.0m</p>
	
<p>観察枠 A.P.+1.5m</p>	<p>観察枠 A.P.-0.2m (写真のラベルは観察位置)</p>
	
<p>観察枠 A.P.+1.0m</p>	<p>観察枠 A.P.-0.5m (写真のラベルは観察位置)</p>
	
<p>観察枠 A.P.+0.5m</p>	<p>地点全景</p>

写真 13.19 海岸動物 (干潟) 観察枠 海の公園 (春季)

<p>観察枠 A.P.+2.0m</p>	<p>観察枠 A.P.±0.0m</p>
<p>観察枠 A.P.+1.5m</p>	<p>観察枠 A.P.-0.2m (写真のラベルは観察位置)</p>
<p>観察枠 A.P.+1.0m</p>	<p>観察枠 A.P.-0.5m (写真のラベルは観察位置)</p>
<p>観察枠 A.P.+0.5m</p>	<p>地点全景</p>

写真 13.20 海岸動物 (干潟) 観察枠 海の公園 (夏季)


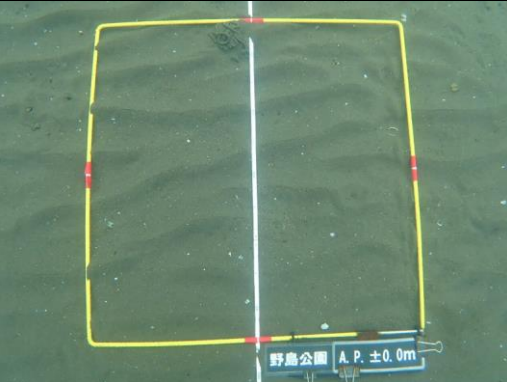

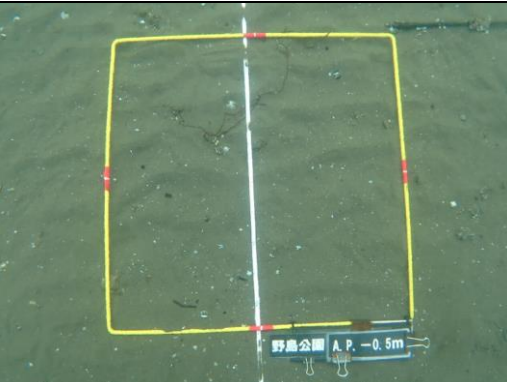
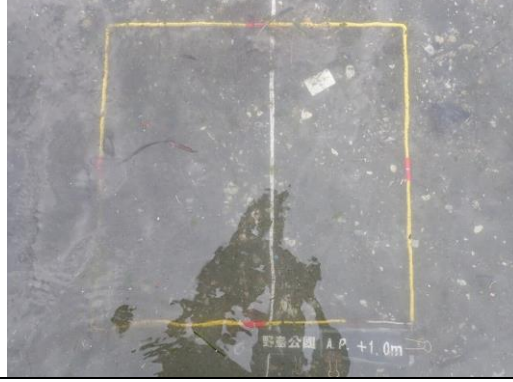
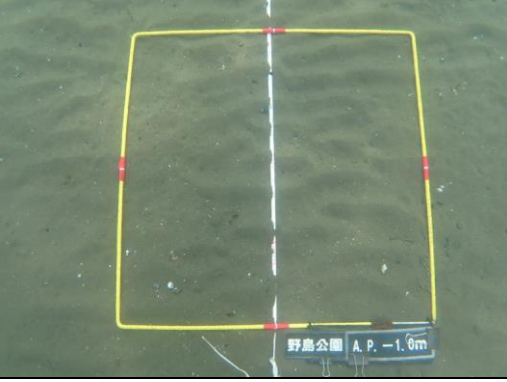
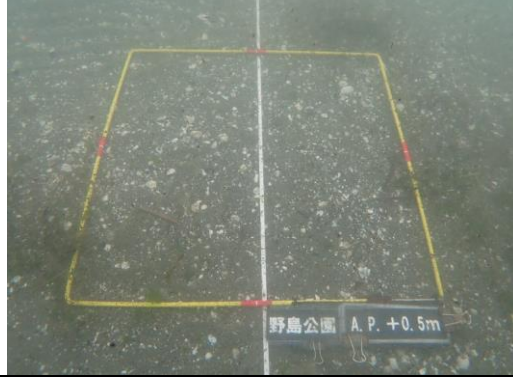

	
<p>観察枠 A.P.+2.0m</p>	<p>観察枠 A.P.±0.0m</p>
	
<p>観察枠 A.P.+1.5m</p>	<p>観察枠 A.P. ±0.0m (写真のラベルは計画水深)</p>
	
<p>観察枠 A.P.+1.0m</p>	<p>観察枠 A.P.+0.1m (写真のラベルは計画水深)</p>
	
<p>観察枠 A.P.+0.5m</p>	<p>地点全景</p>

写真 13.21 海岸動物 (干潟) 観察枠 野島公園 (秋季)

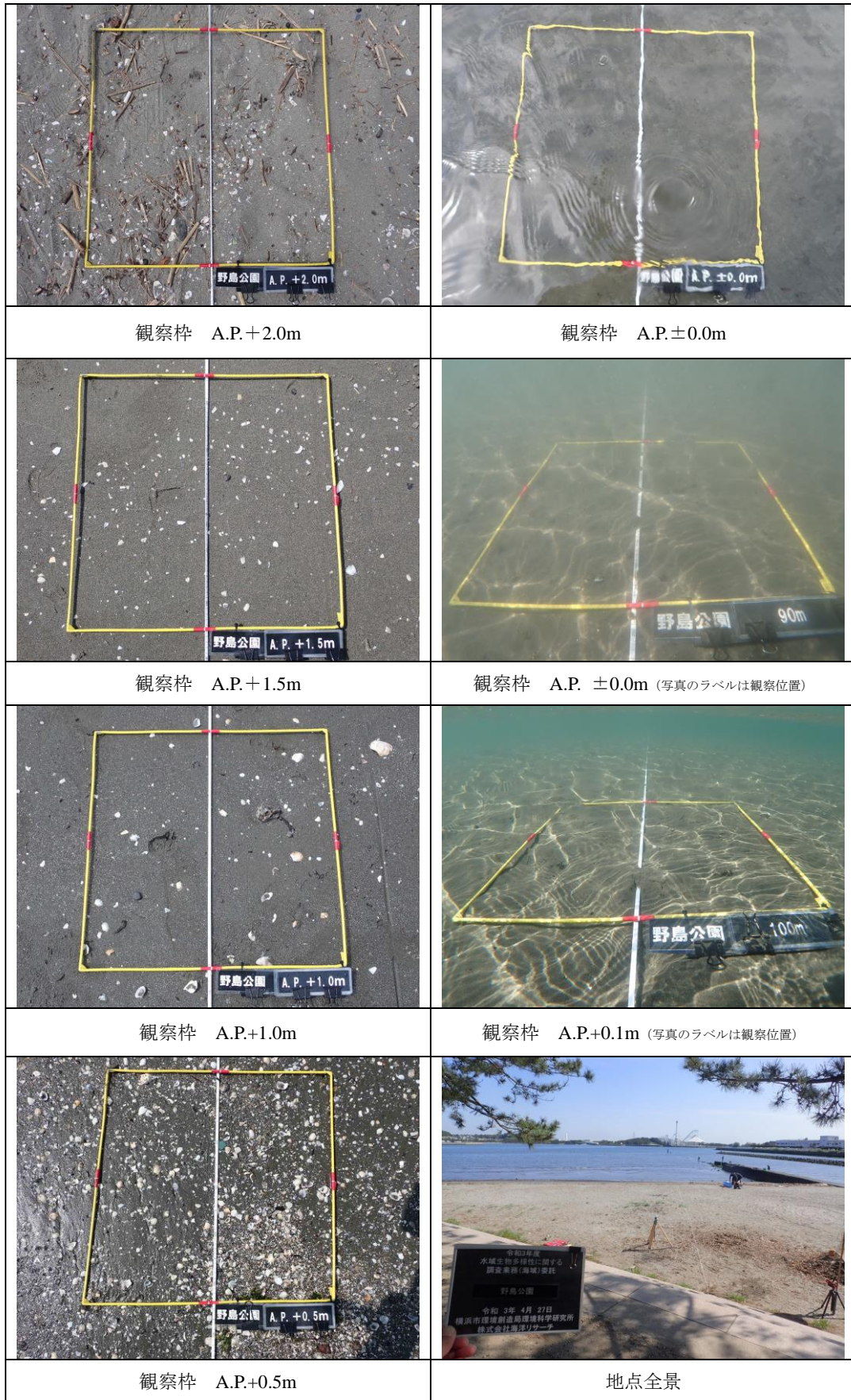


写真 13.22 海岸動物 (干潟) 観察枠 野島公園 (春季)

<p>観察枠 A.P.+2.0m</p>	<p>観察枠 A.P.±0.0m</p>
<p>観察枠 A.P.+1.5m</p>	<p>観察枠 A.P. ±0.0m (写真のラベルは観察位置)</p>
<p>観察枠 A.P.+1.0m</p>	<p>観察枠 A.P.+0.1m (写真のラベルは観察位置)</p>
<p>観察枠 A.P.+0.5m</p>	<p>地点全景</p>

写真 13.23 海岸動物 (干潟) 観察枠 野島公園 (夏季)

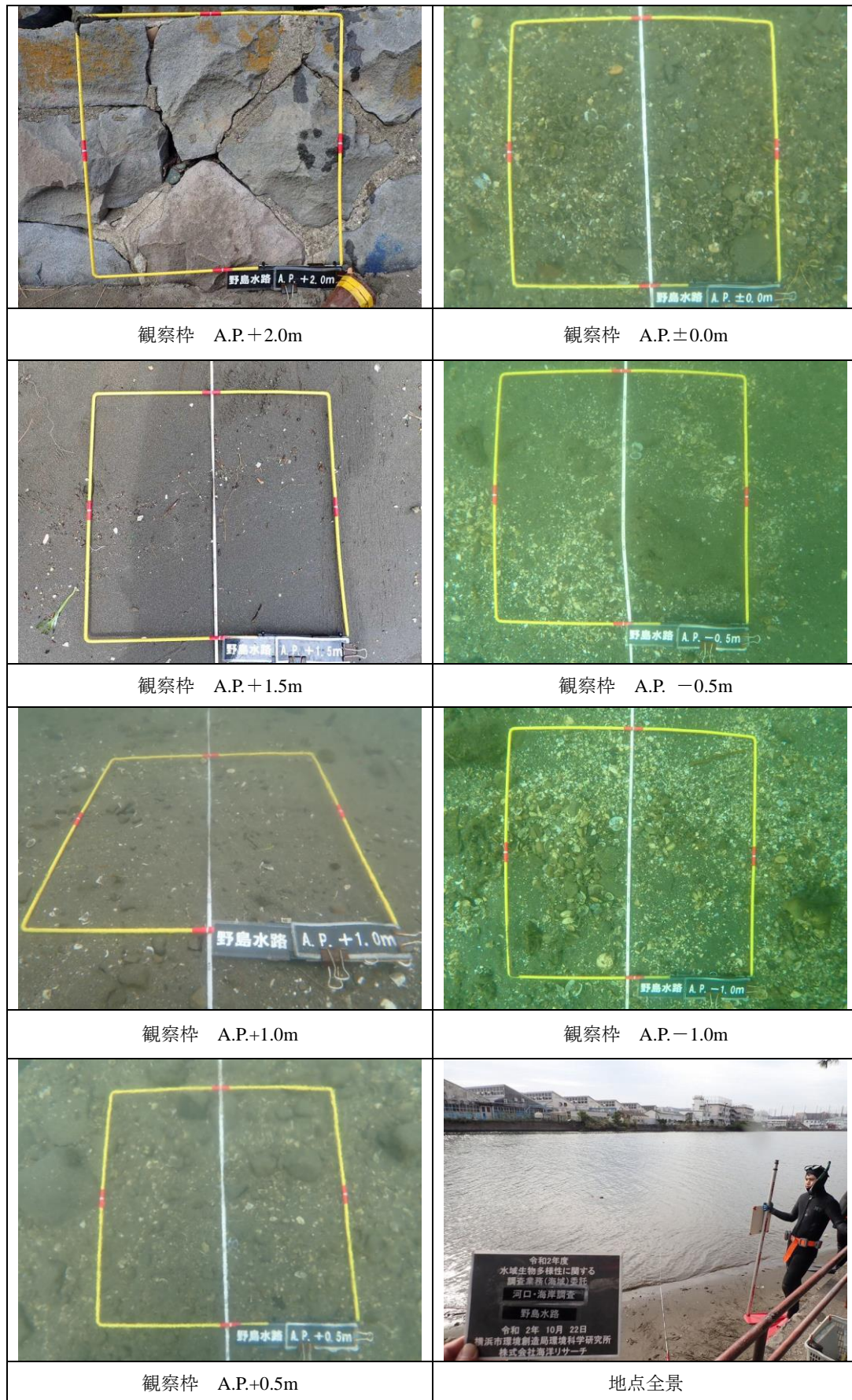


写真 13.24 海岸動物 (干潟) 観察枠 野島水路 (秋季)

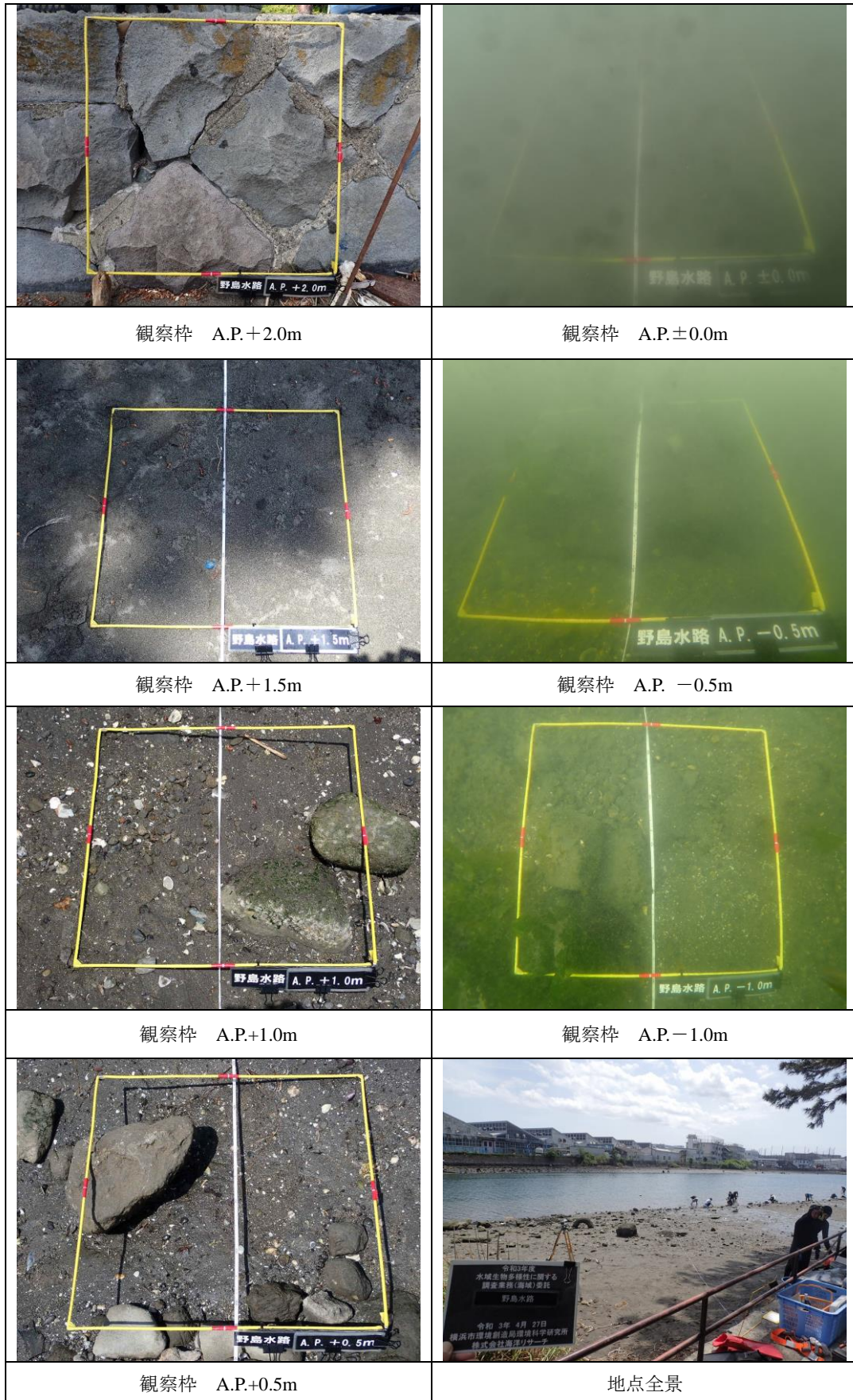


写真 13.25 海岸動物 (干潟) 観察枠 野島水路 (春季)

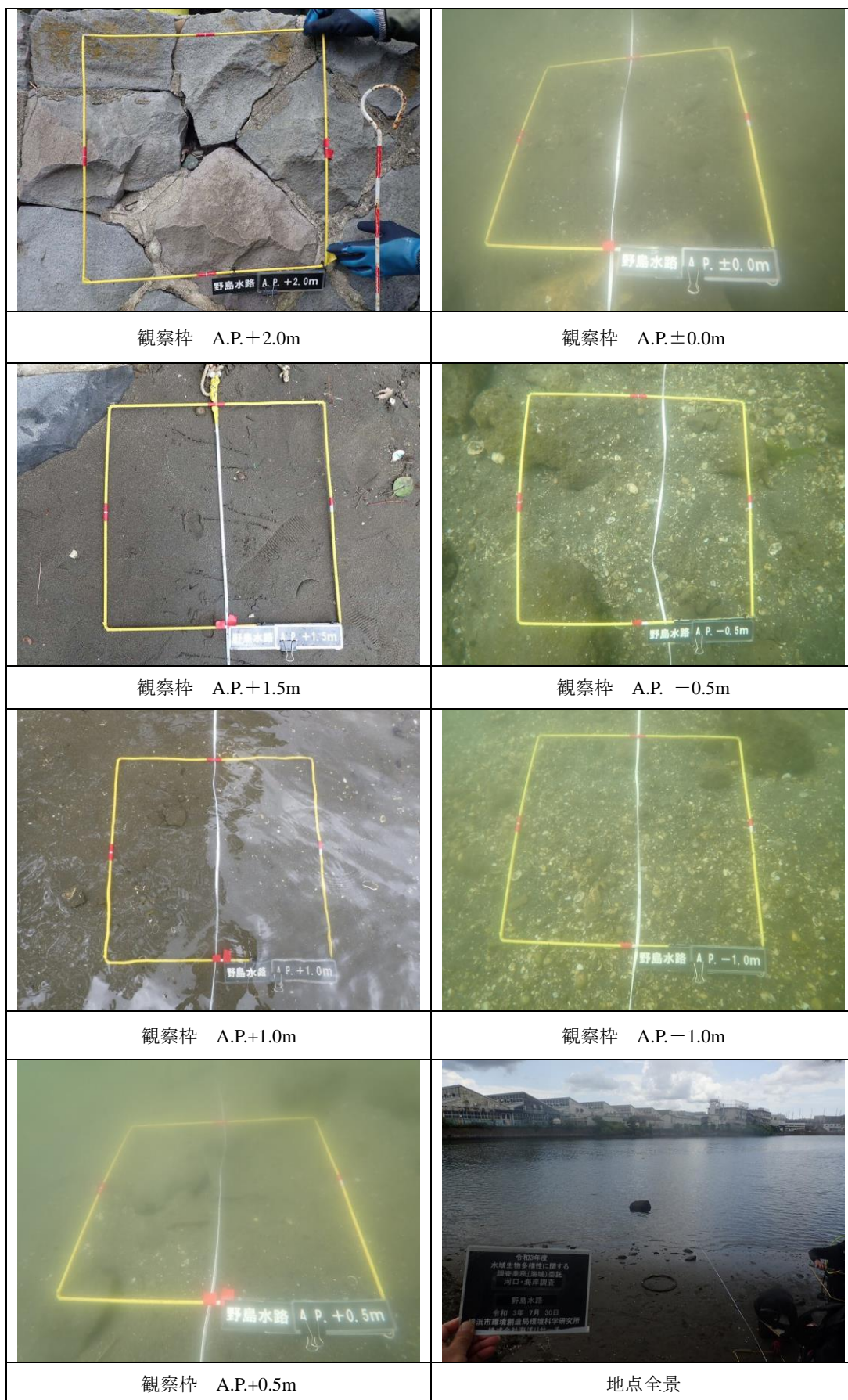


写真 13.26 海岸動物 (干潟) 観察枠 野島水路 (夏季)

<p>観察枠 A.P.+2.0m</p>	<p>観察枠 A.P.±0.0m</p>
<p>観察枠 A.P.+1.5m</p>	<p>観察枠 A.P. -0.5m</p>
<p>観察枠 A.P.+1.0m</p>	<p>観察枠 A.P. -1.0m</p>
<p>観察枠 A.P.+0.5m</p>	<p>地点全景</p>

写真 13.27 海岸動物 (干潟) 観察枠 夕照橋 (秋季)

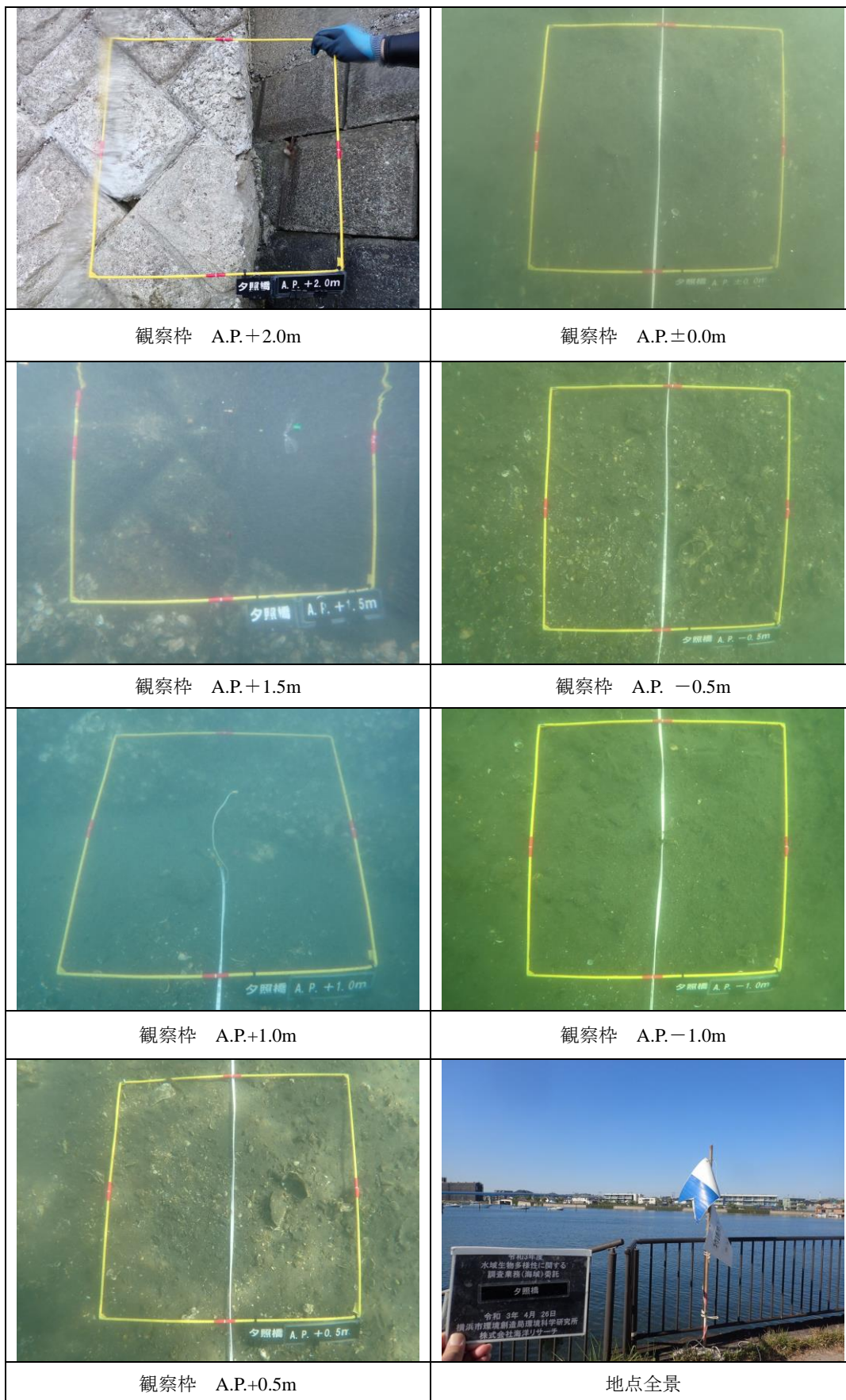


写真 13.28 海岸動物 (干潟) 観察枠 夕照橋 (春季)

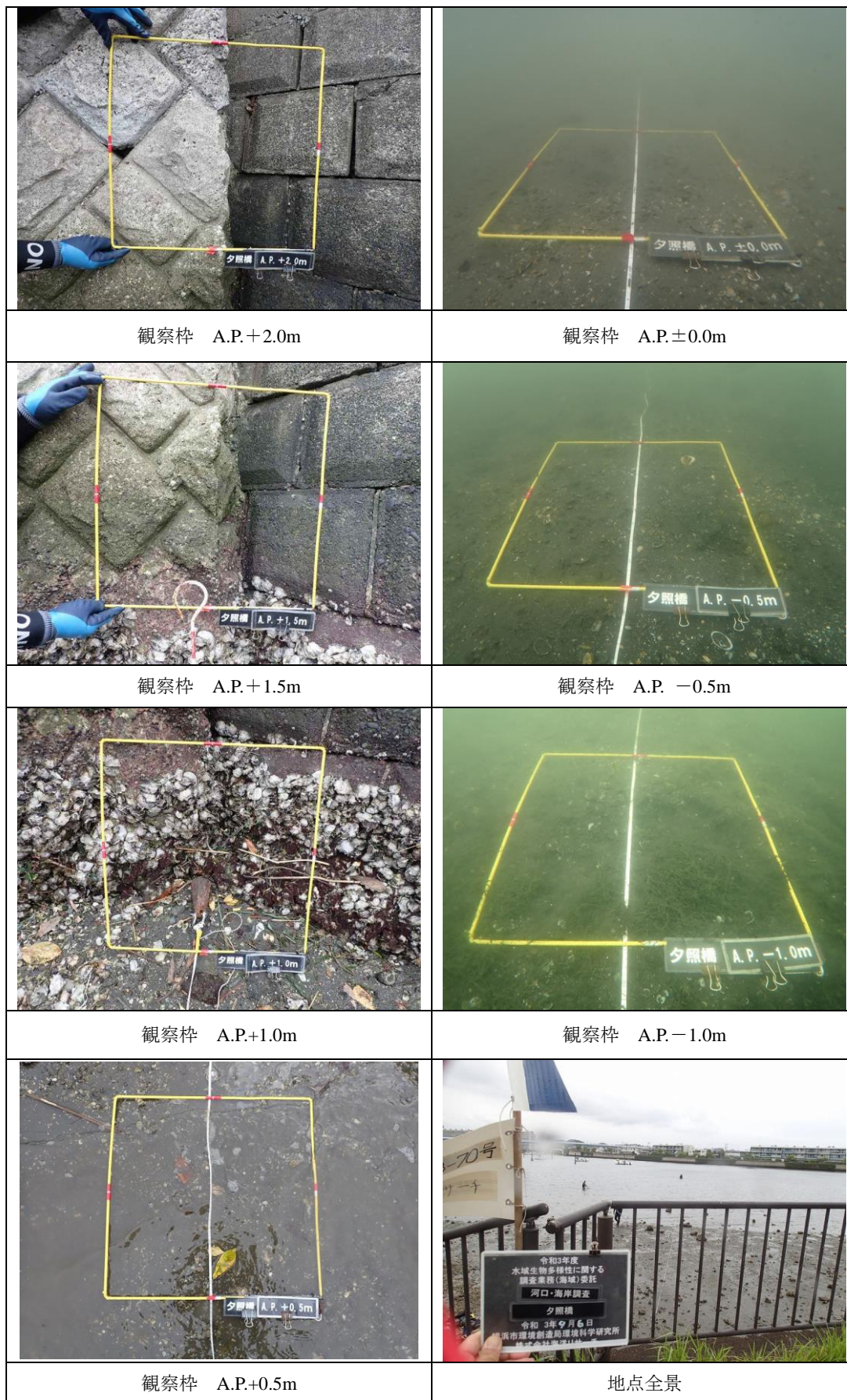


写真 13.29 海岸動物（干潟）観察枠 夕照橋（夏季）

13.6. 海岸動物（干潟） 採取採取採写真

<p>平均水面 A.P.+1.15m 鶴見川河口（秋季）</p>	<p>平均水面下 2m A.P.-0.85m 鶴見川河口（秋季）</p>
<p>平均水面 A.P.+1.15m 鶴見川河口（春季）</p>	<p>平均水面下 2m A.P.-0.85m 鶴見川河口（春季）</p>
<p>平均水面 A.P.+1.15m 鶴見川河口（夏季）</p>	<p>平均水面下 2m A.P.-0.85m 鶴見川河口（夏季）</p>

写真 13.30 海岸動物（干潟） 採取採取採写真 鶴見川河口

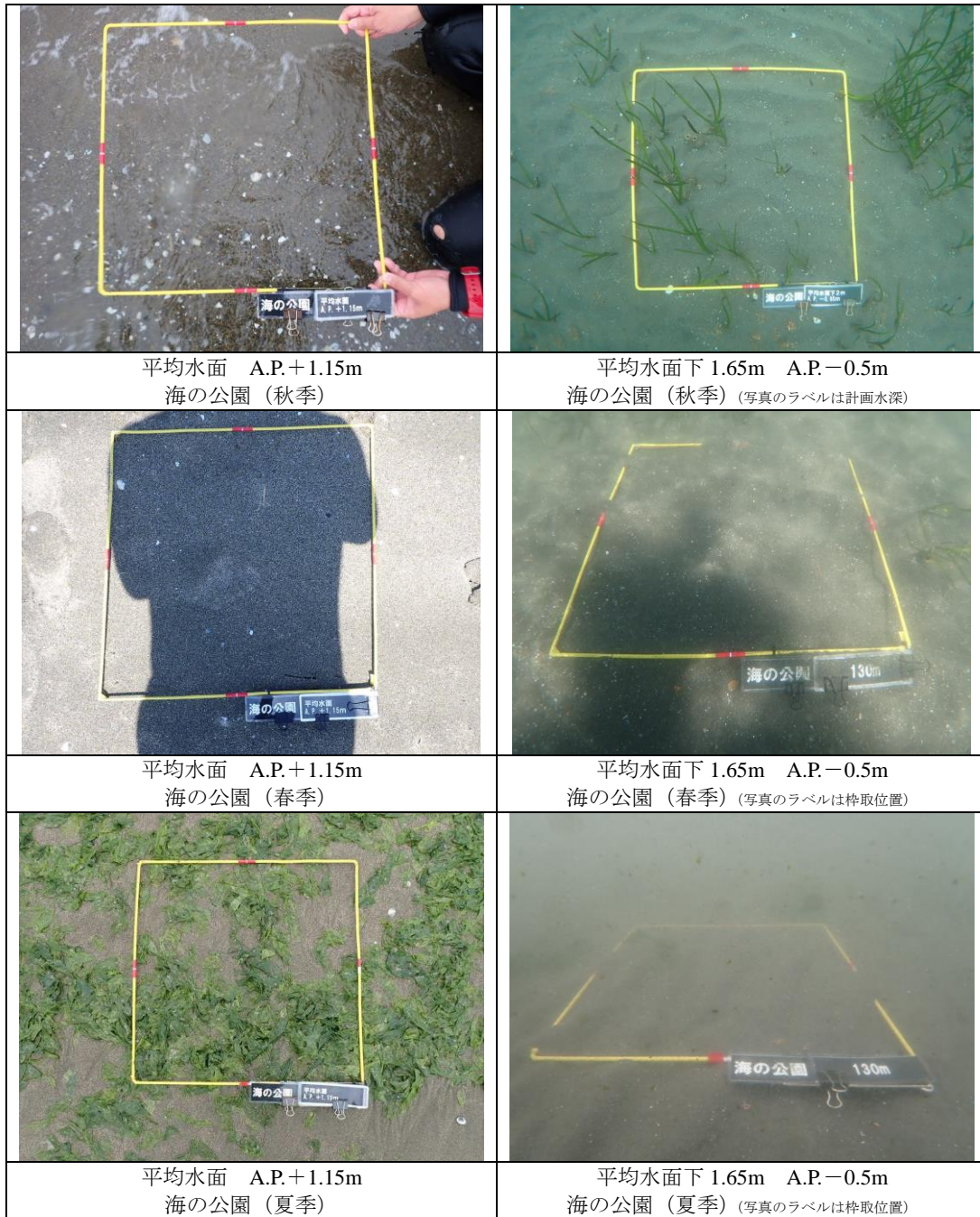


写真 13.31 海岸動物 (干潟) 枠取採取枠 海の公園

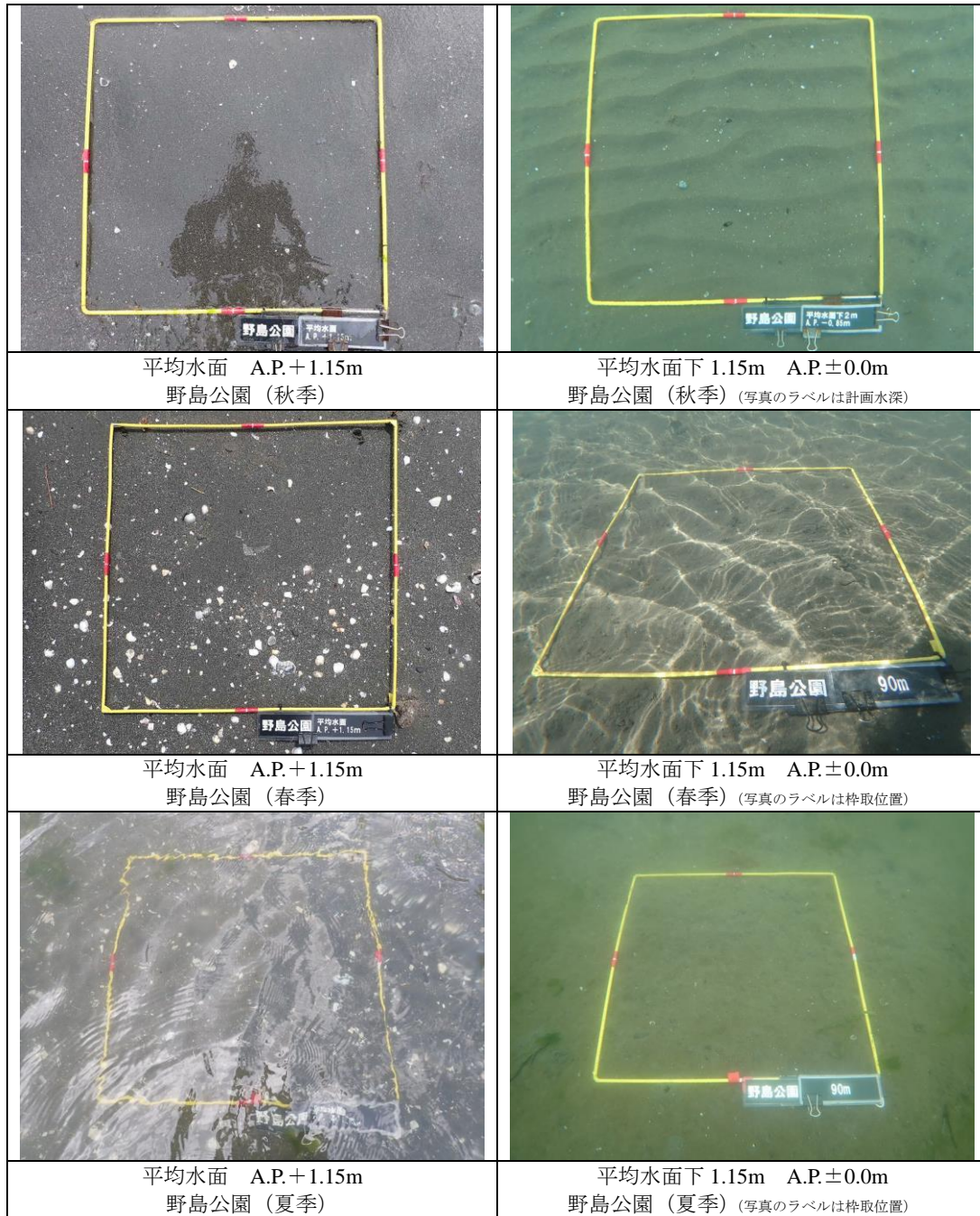


写真 13.32 海岸動物 (干潟) 枠取採取枠 野島公園

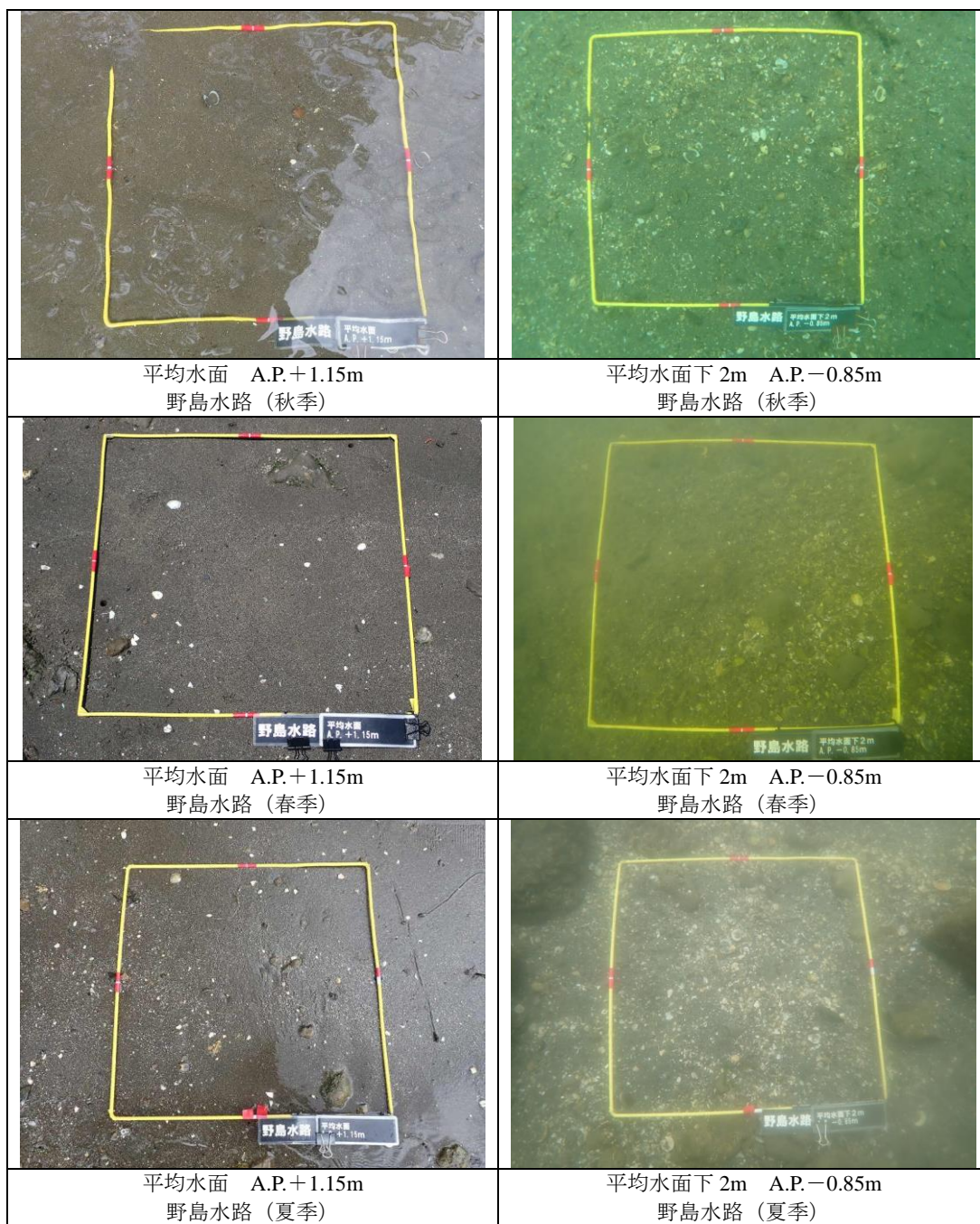


写真 13.33 海岸動物 (干潟) 採取採取採 野島水路

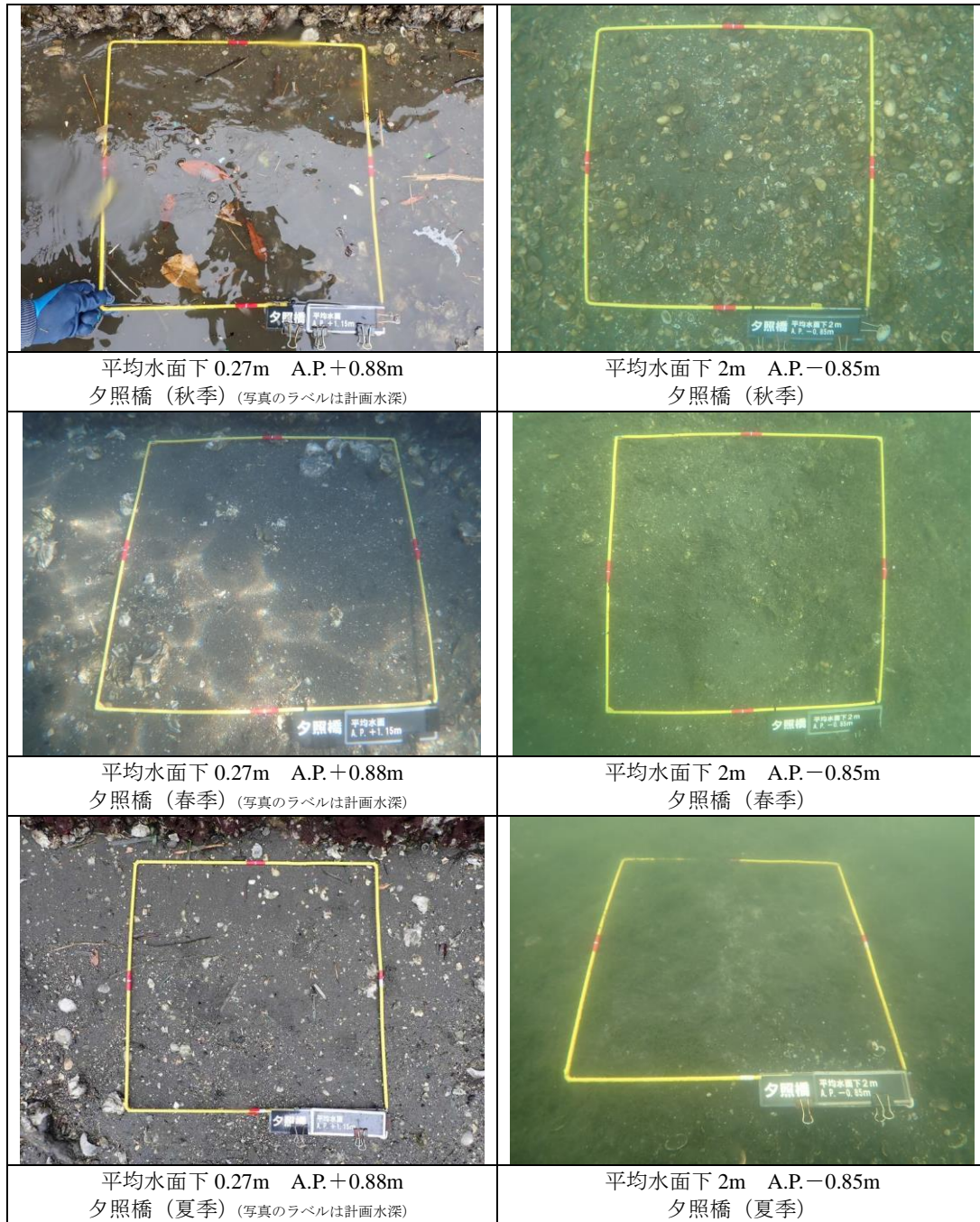






写真 13.34 海岸動物 (干潟) 枠取採取枠 夕照橋

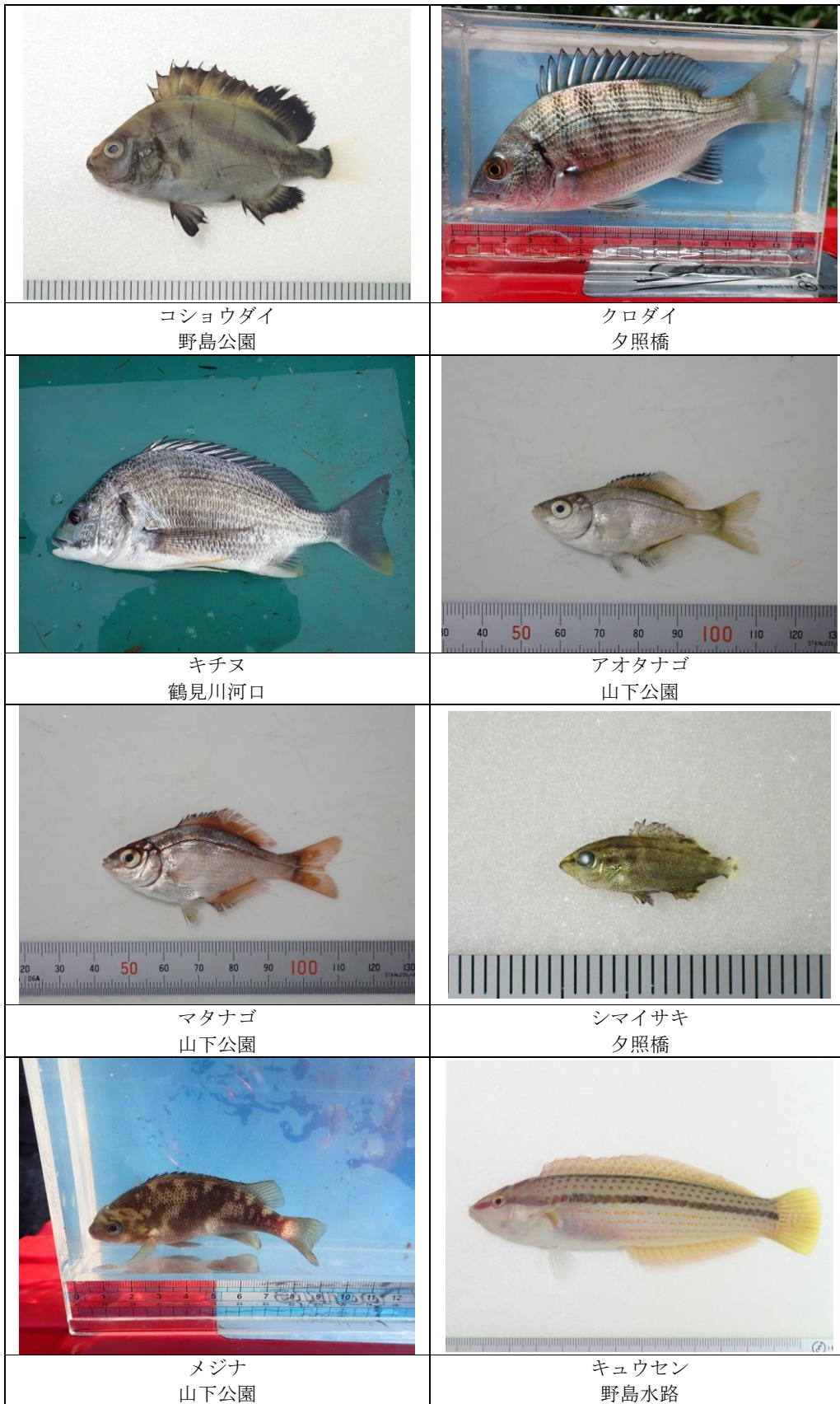
14. 魚類

14.1. 魚類（河口・海岸）確認種写真

	
<p>アカエイ 野島公園</p>	<p>ゴンズイ 野島公園</p>
	
<p>ヨウジウオ 野島公園</p>	<p>ガンテンイシヨウジ 鶴見川河口</p>
	
<p>ボラ 海の公園</p>	<p>ヨロイメバル 野島水路</p>
	
<p>シロメバル 野島水路</p>	<p>クロサギ 夕照橋</p>

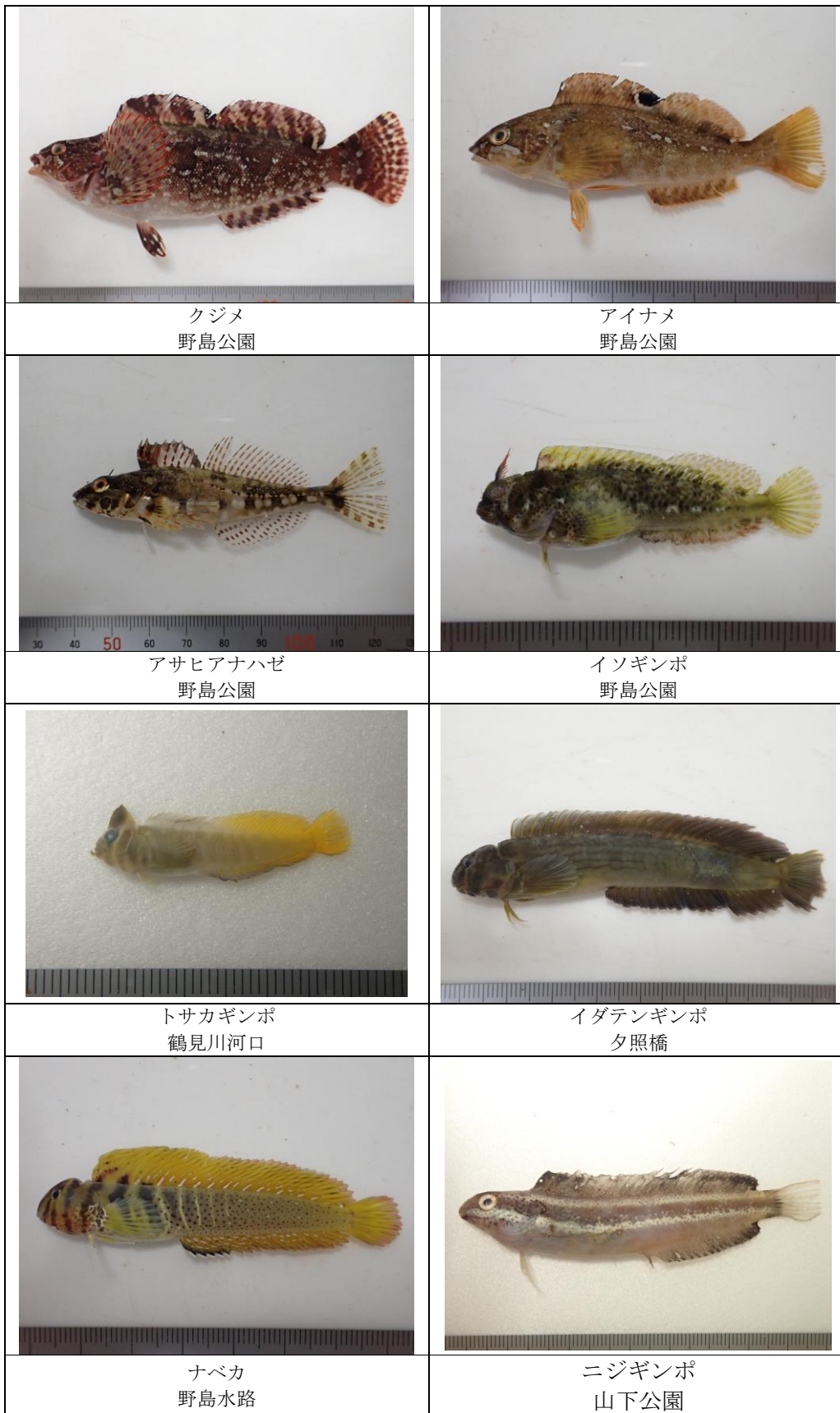
(目盛りは 1mm 間隔)

写真 14.1 (1) 魚類確認種 (河口・海岸)



(目盛りは1mm間隔)

写真 14.1 (2) 魚類確認種 (河口・海岸)



(目盛りは1mm間隔)

写真 14.1 (3) 魚類確認種 (河口・海岸)



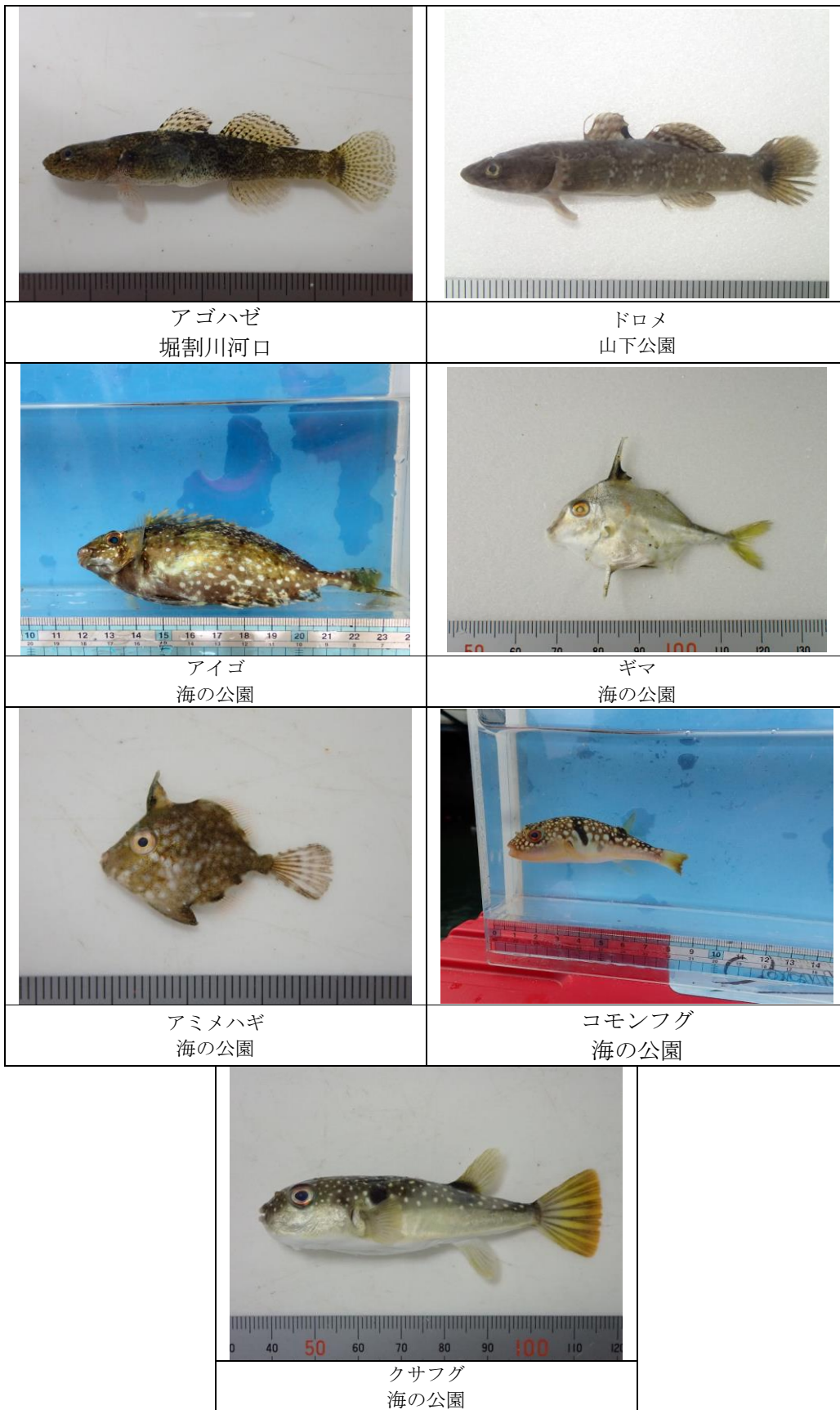
(目盛りは 1mm 間隔)

写真 14.1 (4) 魚類確認種 (河口・海岸)



(目盛りは1mm間隔)

写真 14.1 (5) 魚類確認種 (河口・海岸)



(目盛りは1mm 間隔)

写真 14.1 (6) 魚類確認種 (河口・海岸)

14.2. 魚類（内湾）確認種写真









	
<p>1 ホシザメ 横浜、根岸：秋・冬・春・夏</p>	<p>2 ドチザメ 横浜：春</p>
	
<p>3 ガンギエイ 横浜、根岸、金沢：秋・冬・春・夏</p>	<p>4 アカエイ 横浜、根岸、金沢：秋・冬・春・夏</p>
	
<p>5 ツバクロエイ 横浜、根岸、金沢：秋・冬・春・夏</p>	<p>6 トビエイ 根岸、金沢：冬・夏</p>
	
<p>7 アミウツボ 金沢：夏</p>	<p>7 マアナゴ 横浜、根岸、金沢：秋・冬・春・夏</p>

写真 14.2 (1) 魚類確認種（内湾）









	
<p>9 ハモ 横浜：秋</p>	<p>10 コノシロ 横浜、根岸：春</p>
	
<p>11 ワニエソ 金沢：冬</p>	<p>12 カサゴ 根岸、金沢：秋・冬</p>
	
<p>13 ハオコゼ 横浜：冬</p>	<p>14 ホウボウ 根岸、金沢：秋・冬</p>
	
<p>15 イゴダカホドリ 金沢：春</p>	<p>16 マゴチ 横浜、根岸、金沢：秋・冬・春・夏</p>

写真 14.2 (2) 魚類確認種 (内湾)









	
<p>17 イネゴチ 横浜、根岸、金沢：秋</p>	<p>18 メゴチ 横浜：秋</p>
	
<p>19 スズキ 横浜、根岸、金沢：秋・冬・春・夏</p>	<p>20 テンジクダイ 横浜、根岸、金沢：秋・冬・春・夏</p>
	
<p>21 マアジ 横浜、根岸、金沢：秋・冬・春・夏</p>	<p>22 オキヒラギ 根岸：冬</p>
	
<p>23 クロダイ 横浜、根岸、根岸：秋・冬</p>	<p>24 マダイ 横浜、金沢：秋・夏</p>

写真 14.2 (3) 魚類確認種 (内湾)









	
<p>25 シログチ 横浜、根岸、金沢：秋・冬・春・夏</p>	<p>26 イボダイ 横浜、金沢：夏</p>
	
<p>27 ミシマオコゼ 根岸：春</p>	<p>28 ハタタテヌメリ 横浜、根岸：冬・春・夏</p>
	
<p>29 アカハゼ 横浜、根岸、金沢：秋・冬・夏</p>	<p>30 アカカマス 横浜、根岸：秋・冬・春・夏</p>
	
<p>31 タチウオ 横浜：秋・冬</p>	<p>32 ヒラメ 横浜、根岸、金沢：秋・冬・春・夏</p>

写真 14.2 (4) 魚類確認種 (内湾)









	
<p>33 タマガンゾウピラメ 横浜、根岸、金沢：秋・冬・春・夏</p>	<p>34 メイタガレイ 横浜、金沢：秋・夏</p>
	
<p>35 ムシガレイ 根岸：春</p>	<p>36 マコガレイ 横浜、根岸、金沢：冬・春・夏</p>
	
<p>37 トビササウシノシタ 根岸、金沢：春・夏</p>	<p>38 ゲンコ 横浜、金沢：冬・夏</p>
	
<p>39 アカシタピラメ 横浜、根岸：秋</p>	<p>40 カワハギ 根岸：秋</p>

写真 14.2 (5) 魚類確認種 (内湾)





	
<p>41 ヨソギ 根岸：夏</p>	<p>42 ショウサイフグ 根岸：秋</p>
	
<p>43 コモルフグ 根岸：秋</p>	<p>44 シロサバフグ 金沢：秋</p>

写真 14.2 (6) 魚類確認種 (内湾)

14.3. 魚類（河口・海岸）体長計測結果

①秋季調査

鶴見川河口			山下公園			瑞穂川河口			海の公園			野島公園			野島水路			夕照橋		
調査日:2020年10月23日			調査日:2020年10月20日			調査日:2020年10月20日			調査日:2020年10月19日			調査日:2020年10月22日			調査日:2020年10月22日			調査日:2020年10月19日		
種名	No.	体長 (mm)	種名	No.	体長 (mm)	種名	No.	体長 (mm)	種名	No.	体長 (mm)	種名	No.	体長 (mm)	種名	No.	体長 (mm)	種名	No.	体長 (mm)
ボラ	1	144	クロダイ	1	105	アカオビシマハゼ	1	168	ボラ	1	155	ボラ	1	143	ボラ	1	143	クロダイ	1	142
	2	147		2	96		2	164		2	94		2	136		2	121			
	3	168		3	95		3	149	3	149	3	126	3	126						
	4	148		4	103	4	158	4	158	4	78	4	69	4	61					
	5	133		5	97	5	140	5	140	5	41	5	90	5	61					
	6	136	6	94	6	103	6	103	6	41	6	86	6	47						
	7	128	7	80	7	99	7	99	7	134	7	79	7	41						
	8	128	8	75	8	104	8	104	8	47	8	77	8	38						
	9	131	9	49	9	121	9	121	9	38	9	38	9	43						
	10	150	10	50	10	95	10	95	10	43	10	43	10	121						
	11	133	11	51	11	106	11	106	11	121	11	121	11	43						
	12	132	12	50	12	24	12	24	12	41	12	41	12	43						
	13	138	13	51	13	74	13	74	13	41	13	41	13	43						
	14	124	14	47	14	69	14	69	14	41	14	41	14	43						
	15	141	15	17	15	54	15	54	15	41	15	41	15	43						
キチヌ	1	347	メジナ	1	80	メジナ	1	80	メジナ	1	80	メジナ	1	80	メジナ	1	80	メジナ	1	80
アカオビシマハゼ	1	51	アカオビシマハゼ	1	49	アカオビシマハゼ	1	49	アカオビシマハゼ	1	49	アカオビシマハゼ	1	49	アカオビシマハゼ	1	49	アカオビシマハゼ	1	49
チチブ	2	50	チチブ	2	50	チチブ	2	50	チチブ	2	50	チチブ	2	50	チチブ	2	50	チチブ	2	50
チチブ	1	47	チチブ	1	47	チチブ	1	47	チチブ	1	47	チチブ	1	47	チチブ	1	47	チチブ	1	47
チチブ	2	21	チチブ	2	21	チチブ	2	21	チチブ	2	21	チチブ	2	21	チチブ	2	21	チチブ	2	21
チチブ	3	17	チチブ	3	17	チチブ	3	17	チチブ	3	17	チチブ	3	17	チチブ	3	17	チチブ	3	17

②春季調査

鶴見川河口			山下公園			堀割川			海の公園			野島公園			野島水路			夕照橋		
調査日:2021年4月28日			調査日:2021年5月10日			調査日:2021年5月10日			調査日:2021年4月26日			調査日:2021年4月27日			調査日:2021年4月27日			調査日:2021年4月26日		
種名	No.	体長 (mm)	種名	No.	体長 (mm)	種名	No.	体長 (mm)	種名	No.	体長 (mm)	種名	No.	体長 (mm)	種名	No.	体長 (mm)	種名	No.	体長 (mm)
チチブ	1	50	クジメ	1	85	マタナゴ	1	48	ボラ	1	152	ヨウジウオ	1	177	ヨロイメバル	1	42	イダテンギンボ	1	71
	2	55	マタナゴ	1	46		2	55		2	150	クジメ	1	114	アサヒアナハゼ	1	55	ナベカ	1	38
	3	59	アオタナゴ	1	38		3	53	キヌハリ	1	52		2	64	アサヒアナハゼ	1	58	アサシロハゼ	1	53
	4	51	アカオビシマハゼ	1	56		4	54	ヒメハゼ	1	49	アイトメ	1	93	ミズハゼ	1	45		2	52
	5	77	アカオビシマハゼ	1	56		5	54	アカオビシマハゼ	2	29	アサヒアナハゼ	2	70		2	50	アカオビシマハゼ	1	48
	6	68	イソギンボ	2	56		6	53		1	52	アサヒアナハゼ	1	63	ハタタテズメリ	3	41	チチブ	1	44
	7	51		1	74		7	52		2	61	イソギンボ	2	67	アサハゼ	1	64		2	58
	8	60	スミウキゴリ	1	28		8	49		3	51	アサハゼ	1	44	アサシロハゼ	1	55		3	60
	9	60		2	27		9	49		4	46	ヒメハゼ	1	44	アカオビシマハゼ	1	51		4	64
	10	66		3	17		10	43		5	39	アカオビシマハゼ	2	56		1	51		5	54
	11	37		4	17		11	46		1	21	アサハゼ	1	70		2	59		6	56
	12	40		4	17		12	47		1	21	アサハゼ	2	51		3	58		1	14
	13	50		5	20		13	48		1	64	アサハゼ	1	49		4	48		2	14
	14	47		6	22		14	43				アサハゼ	1	33		1	70		1	116
	15	49		7	26		15	44				クサブリ	2	29					2	147
	16	41		8	18		16	44					1	64						
	17	46		9	24		17	43												
	18	65		10	28		18	46												
	19	45		11	21		19	46												
シモフリシマハゼ	1	53		12	23	アカオビシマハゼ	1	54												
	2	51		13	25		2	58												
	3	49		14	25		3	60												
	4	53		15	26		4	57												
	5	55		16	24		5	47												
	6	47		17	24		6	48												
ウロハゼ	1	91		18	23		7	43												
ミズハゼ	1	45		19	20		8	44												
	2	43		20	24		9	44												
ヒナハゼ	1	19					10	43												
	2	23					11	46												
スミウキゴリ	1	18					12	46												
	2	18					13	46												
							14	46												
							15	46												
							16	46												
							17	46												
							18	46												
							19	46												
							20	46												
							21	46												
							22	46												
							23	46												
							24	46												
							25	46												
							26	46												
							27	46												
							28	46												
							29	46												
							30	46												
							31	46												
							32	46												
							33	46												
							34	46												
							35	46												
							36	46												
							37	46												
							38	46												
							39	46												
							40	46												
							41	46												
							42	46												
							43	46												
							44	46												
							45	46												
							46	46												
							47	46												
							48	46												
							49	46												
							50	46												
							51	46												
							52	46												
							53	46												
							54	46												
							55	46												
							56	46												
							57	46												
							58	46												
							59	46												
							60	46												
							61	46												
							62	46												
							63	46												
							64	46												

14.4. 魚類（内湾）体長計測結果

①秋季調査

横浜港沖			根岸湾沖			金沢湾沖		
調査日:2020年10月21日			調査日:2020年10月21日			調査日:2020年10月21日		
種名	No.	体長(mm)	種名	No.	体長(mm)	種名	No.	体長(mm)
ホシザメ※1	1	388	ホシザメ※1	1	738	ガンギエイ※2	1	123
	2	346		2	869	アカエイ※2	1	807
アカエイ※2	1	468	ガンギエイ※2	1	497		2	871
	2	389		2	236		3	830
	3	690		3	196	ツバクロエイ※2	1	600
マアナゴ※1	1	591		4	140	マアナゴ	1	729
ハモ※1	1	766	アカエイ※2	1	502	ホウボウ	1	203
マゴチ	1	484		2	345		2	200
イネゴチ	1	329		3	283	マゴチ	1	298
	2	267	ツバクロエイ※2	1	463	イネゴチ	1	299
	3	236	トビエイ※2	1	787		2	252
メゴチ	1	129	マアナゴ※1	1	604	テンジクダイ	1	66
スズキ	1	396	カサゴ	1	133	マアジ	1	112
テンジクダイ	1	66	イネゴチ	1	298		2	103
	2	67		2	294		3	112
	3	72	マアジ	1	194		4	99
	4	69		2	107		5	99
	5	76		3	107		6	107
	6	62		4	119		7	115
	7	71		5	104		8	112
	8	69		6	102		9	105
	9	69		7	104		10	184
	10	65		8	108		11	168
	11	64		9	100		12	218
	12	68		10	91		13	200
	13	66		11	101	クロダイ	1	313
	14	58		12	103	シログチ	1	154
	15	53		13	102		2	208
	16	55		14	104		3	194
	17	54		15	202		4	194
マアジ	1	198		16	94		5	177
	2	192		17	100		6	182
	3	193		18	106		7	180
	4	211		19	110		8	177
	5	183		20	102		9	186
	6	197	シログチ	1	232		10	187
	7	199		2	187		11	183
	8	188		3	197		12	216
	9	197		4	197	ヒラメ	1	198
	10	197		5	188		2	196
	11	198		6	186	タマガンブウビラメ	1	169
	12	209		7	184		2	165
	13	184		8	182		3	170
	14	129		9	237		4	149
	15	109		10	180		5	137
	16	126		11	206		6	116
	17	112		12	172		7	121
マダイ	1	124		13	173		8	126
	2	127		14	181		9	121
	3	102		15	172		10	120
シログチ	1	224		16	184		11	122
	2	216		17	119		12	124
	3	210		18	157		13	97
	4	197		19	197		14	88
	5	164		20	196		15	82
	6	164	アカハゼ	1	87	シロサバフグ	1	167
	7	155	アカカマス	1	214			
	8	169	タマガンブウビラメ	1	146			
	9	114		2	137			
	10	182		3	129			
	11	163		4	101			
	12	176	アカシタビラメ	1	217			
	13	161	カワハギ	1	156			
	14	182	ショウサイフグ	1	151			
	15	170	コモンフグ	1	135			
	16	98						
	17	168						
	18	182						
	19	154						
	20	97						
アカハゼ	1	127						
タチウオ※1	1	892						
	2	932						
メイトガレイ	1	218						
	2	165						
アカシタビラメ	1	254						
	2	142						
	3	108						
	4	132						
	5	104						
	6	106						

注1) ※1:ホシザメ、マアナゴ、ハモ、タチウオは全長を計測した。
 注2) ※2:エイ類は体盤幅を計測した。
 注3) 分類体系、和名等については、「日本産魚類検索 全種の同定 第三版」に準拠した。

② 冬季調査

横浜港沖			根岸湾沖			金沢湾沖		
調査日:2021年2月24日			調査日:2021年2月24日			調査日:2021年2月24日		
種名	No.	体長(mm)	種名	No.	体長(mm)	種名	No.	体長(mm)
ホシザメ※1	1	827	ホシザメ※1	1	718	ガンギエイ※2	1	219
アカエイ※2	1	217	ガンギエイ※2	1	298		2	197
	2	219		2	305		3	100
マアナゴ※1	1	580		3	199		4	162
ハオコゼ	1	44		4	322		5	258
テンジクダイ	1	53	アカエイ※2	1	165	アカエイ※2	1	388
	2	49		2	267		2	391
	3	82		3	319	ツバクロエイ※2	1	412
	4	67	マアナゴ※1	1	589		2	192
	5	62	ホウボウ	1	100	マエソ	1	223
マアジ	1	126		2	94	カサゴ	1	77
	2	124	マゴチ	1	386		2	62
	3	103		2	399	マゴチ	1	331
	4	118		3	374		2	349
	5	131		4	418		3	338
	6	118		5	389		4	348
	7	115		6	376	マアジ	1	158
	8	110		7	418		2	186
	9	118	スズキ	1	588	シログチ	1	70
	10	111	テンジクダイ	1	51	アカハゼ	1	51
	11	186		2	77	ヒラメ	1	208
	12	196		3	83		2	214
	13	176	マアジ	1	124	タマガンゾウヒラメ	1	191
	14	194		2	113		2	187
	15	134		3	107		3	145
	16	117		4	153		4	126
	17	121		5	126		5	142
	18	121		6	124		6	147
	19	93		7	131		7	126
	20	122		8	143		8	113
クロダイ	1	342	オキヒイラギ	1	68		9	108
	2	349	クロダイ	1	293		10	70
	3	356		2	286		11	61
	4	355		3	290		12	126
	5	343		4	256		13	142
シログチ	1	167		5	267	マコガレイ	1	239
	2	167		6	211	ゲンコ	1	143
	3	174	シログチ	1	159			
	4	177		2	174			
	5	172		3	188			
	6	110		4	183			
	7	121		5	202			
	8	177		6	167			
	9	176		7	205			
	10	161		8	164			
	11	178		9	163			
	12	159		10	168			
	13	167		11	231			
	14	169		12	152			
	15	184		13	168			
	16	124		14	174			
	17	169		15	164			
	18	180		16	228			
	19	181		17	154			
	20	150		18	173			
ハタタテヌメリ	1	84		19	159			
	2	80		20	183			
アカハゼ	1	104	ハタタテヌメリ	1	101			
	2	111	タマガンゾウヒラメ	1	121			
	3	56		2	148			
アカカマス	1	217		3	169			
	2	93		4	149			
タチウオ※1	1	584		5	131			
ヒラメ	1	296		6	129			
タマガンゾウヒラメ	1	145		7	115			
	2	88		8	123			
ゲンコ	1	107		9	128			
				10	188			
				11	120			
				12	127			
				13	119			
				14	123			
				15	134			
				16	124			
				17	159			

注1) ※1:ホシザメおよびマアナゴ、タチウオは全長を計測した。

注2) ※2:エイ類は体盤幅を計測した。

注3) 分類体系、和名等については、「日本産魚類検索 全種の同定 第三版」に準拠した。

③ 春季調査

横浜港沖			根岸湾沖			金沢湾沖		
調査日:2021年5月19日			調査日:2021年5月19日			調査日:2021年5月19日		
種名	No.	体長(mm)	種名	No.	体長(mm)	種名	No.	体長(mm)
ホシザメ※1	1	812	ホシザメ※1	1	245	ガンギエイ※2	1	266
	2	795	ガンギエイ※2	1	298	2	500	
	3	651		2	413	アカエイ※2	1	519
	4	710		3	510	2	711	
	5	823		4	521	イゴダカホドリ	1	80
1	1230	5		412	テンジクダイ	1	69	
ドチザメ※1	2	823	ツバクロエイ※2	1	615	2	72	
	1	489	マアナゴ	1	656	マアジ	1	135
ガンギエイ※2	1	829	コノシロ	1	202	2	130	
アカエイ※2	1	442	2	203	3	125		
	2	372	3	200	4	135		
	3	240	4	210	シログチ	1	198	
ツバクロエイ※2	1	198	5	199	2	180		
	2	199	6	200	3	186		
	3	150	7	195	4	195		
	4	198	8	189	5	155		
	5	198	9	153	6	212		
	6	190	10	196	7	217		
	7	198	11	199	8	188		
	8	191	12	195	タマガンゾウビラメ	1	150	
	9	155	13	195	2	133		
	10	195	14	183	3	144		
	11	146	15	180	4	138		
	12	145	16	197	5	161		
	13	189	17	194	6	159		
	14	178	18	200	7	156		
	15	197	19	186	8	154		
	16	185	20	145	9	128		
	17	200	マゴチ	1	411	10	115	
	18	202	2	325	11	118		
	19	189	スズキ	1	555	12	87	
	20	188	2	510	13	86		
スズキ	1	521	テンジクダイ	1	63	14	87	
	2	542	2	62	15	79		
	3	487	3	69	16	76		
	4	456	4	62	マコガレイ	1	305	
	5	700	5	70	トビササウシノシタ	1	89	
	6	478	6	65	2	88		
	7	470	7	69	3	85		
	8	521	8	70	4	89		
テンジクダイ	1	75	9	66	5	76		
	2	67	10	59	6	96		
	3	77	11	59	7	74		
	4	64	12	62	8	76		
	5	69	シログチ	1	245	9	97	
	6	70	2	242	10	75		
	7	69	3	185				
	8	63	4	188				
	9	60	5	192				
シログチ	1	193	6	130				
	2	184	7	210				
	3	202	8	179				
	4	179	9	196				
	5	181	10	199				
	6	235	11	176				
	7	196	12	175				
	8	119	ミシマオコゼ	1	101			
	9	189	ヒラメ	1	329			
	10	182	2	317				
	11	183	タマガンゾウビラメ	1	135			
	12	196	2	155				
	13	230	3	107				
	14	232	4	125				
	15	160	5	135				
	16	183	6	125				
	17	160	7	106				
	18	171	8	87				
	19	195	9	87				
	20	203	ムシガレイ	1	162			
ハタタテヌメリ	1	76	2	207				
アカカマス	1	293	トビササウシノシタ	1	92			
			2	96				
			3	76				
			4	83				
			5	83				
			6	90				
			7	95				

注1)※1:ホシザメ、ドチザメは全長を計測した。
 注2)※2:エイ類は体盤幅を計測した。
 注3)分類体系、和名等については、「日本産魚類検索 全種の同定 第三版」に準拠した。

④ 夏季調査

横浜港沖			根岸湾沖			金沢湾沖					
調査日:2021年9月8日			調査日:2021年9月8日			調査日:2021年9月8日					
種名	No.	体長(mm)	種名	No.	体長(mm)	種名	No.	体長(mm)	種名	No.	体長(mm)
アカエイ※2	1	238	ホシザメ※1	1	446	ガンギエイ※2	1	319	イボダイ	1	114
ツバクロエイ※2	1	265		2	701		2	299	タマガンゾウビラメ	1	104
	2	251		3	701		3	120		2	111
マアナゴ※1	1	382		4	771	アカエイ※2	1	140		3	121
	2	404		5	734		2	455		4	131
スズキ	1	512		6	699	トビエイ※2	1	218		5	142
	2	400	トビエイ※2	1	361		2	244		6	89
テンジクダイ	1	71	マアナゴ※1	1	454	アミウツボ※1	1	461		7	81
	2	62	テンジクダイ	1	67	マゴチ	1	333		8	114
	3	69		2	79		2	372		9	104
	4	71		3	62		3	346		10	124
	5	61		4	62		4	307		11	103
	6	67		5	60		5	304		12	86
	7	62		6	64	スズキ	1	472		13	98
	8	62		7	61	テンジクダイ	1	64	メイトガレイ	1	154
	9	64		8	66		2	62	マコガレイ	2	233
	10	67		9	54		3	78	トビササウシノシタ	1	86
	11	61		10	65		4	49		2	92
	12	68		11	60		5	61		3	92
	13	60		12	59		6	65		4	75
	14	62	マアジ	1	186		7	64		5	81
	15	63		2	165		8	64	ゲンコ	1	欠損
	16	58		3	176		9	68			
	17	58	シログチ	1	192		10	50			
	18	62		2	163		11	51			
	19	70		3	203		12	56			
	20	66		4	182	マアジ	1	166			
マアジ	1	200		5	192		2	159			
	2	134		6	190		3	199			
	3	202		7	181		4	149			
	4	172		8	231		5	156			
	5	187		9	171		6	164			
シログチ	1	203		10	166		7	164			
	2	209		11	211		8	169			
	3	192		12	164		9	180			
	4	191		13	147		10	171			
	5	191		14	199		11	158			
	6	192		15	187		12	156			
	7	212		16	189		13	177			
	8	229		17	186		14	169			
	9	213		18	204		15	157			
	10	192		19	182	マダイ	1	189			
	11	171		20	183	シログチ	1	224			
	12	187	ヒラメ	1	354		2	173			
	13	222		2	442		3	241			
	14	184		3	318		4	228			
	15	172		4	345		5	213			
	16	182		5	288		6	259			
	17	146	マコガレイ	1	196		7	200			
	18	154		2	347		8	187			
	19	183	ヨソギ	1	48		9	229			
イボダイ	1	90					10	199			
ハタタテスメリ	1	91					11	196			
アカハゼ	1	120					12	189			
	2	76					13	192			
	3	74					14	190			
アカカマス	1	294					15	193			
ヒラメ	1	444					16	186			
マコガレイ	1	80					17	178			
ゲンコ	1	121					18	177			
							19	203			
							20	169			

注1)※1:ホシザメ、マアナゴは全長を計測した。

注2)※2:エイ類は体盤幅を計測した。

注3)分類体系、和名等については、「日本産魚類検索 全種の同定 第三版」に準拠した。

14.魚類

14.5. 魚類（河口・海岸）混獲生物一覧

調査日：(秋季)2020年10月19、20、22、23日
 (春季)2021年 4月26、27、28日、5月10日
 (夏季)2021年 7月29、30日、9月6、7日
 採取方法：投網・サデ網

No.	門	綱	目	科	学名	和名	地点							時季			
							鶴見川河口	山下公園	堀割川河口	海の公園	野島公園	野島水路	夕照橋	秋季	春季	夏季	
1	軟体動物	腹足	古腹足	サザエ	<i>Turbo (Lunella) cornatus coreensis</i>	スガイ							○		○		
2			盤足	カリバガサガイ	<i>Crepidula onyx</i>	シマメノウフネガイ		○					○		○	○	
3				タマガイ	<i>Glossaulax didyma</i>	ツメタガイ			○	○			○		○	○	
4			新腹足	アッキガイ	<i>Rapana venosa</i>	アカニシ		○							○	○	
5					<i>Thais (Reishia) bronni</i>	レイシガイ		○		○					○	○	
6					<i>Thais (Reishia) clavigera</i>	イボニシ							○		○	○	
7					<i>Reticunassa festiva</i>	アラムシロ			○	○	○				○	○	
8			アメフラシ	アメフラシ	<i>Aplysia (Varria) kurodai</i>	アメフラシ			○	○					○	○	
9					<i>Bursatella leachii leachii</i>	フレリトゲアメフラシ			○							○	
10			裸鰓	クロシタナシウミウシ	<i>Dendrodoris arborescens</i>	クロシタナシウミウシ					○	○			○	○	
11			二枚貝	イガイ	<i>Xenostrobus securis</i>	アウロエンカワヒバリガイ							○	○			
12				カキ	<i>Crassostrea gigas</i>	マガキ							○	○			
13			マルスダレガイ	マルスダレガイ	<i>Ruditapes philippinarum</i>	アサリ				○		○	○				
14	節足動物	軟甲	十脚	テナガエビ	<i>Palaemon macrodactylus</i>	ユビナガスジエビ			○							○	
15					<i>Palaemon pacificus</i>	イソスジエビ		○		○		○				○	
16					<i>Palaemon serrifer</i>	スジエビモドキ				○	○					○	
17				モエビ	<i>Heptacarpus geniculatus</i>	コシマガリモエビ				○						○	
18				テッポウエビ	<i>Alpheus breviciristatus</i>	テッポウエビ		○								○	
19					<i>Alpheus lobidens</i>	イソテッポウエビ				○						○	
20				エビジャコ	<i>Crangon uritai</i>	ダルマエビジャコ				○	○					○	
21				ヤドカリ	<i>Clibanarius infraspinus</i>	コブヨコバサミ		○								○	
22					<i>Pagurus dubius</i>	ユビナガホンヤドカリ				○	○					○	
23				ホンヤドカリ	<i>Pagurus lanuginosus</i>	ケアシホンヤドカリ		○								○	
24					Paguridae	ホンヤドカリ科					○	○					
25				コブシガニ	<i>Philyra pisum</i>	マメコブシガニ				○						○	
26				ガザミ	<i>Charybdis (Charybdis) japonica</i>	イシガニ		○		○	○					○	
27					<i>Portunus (Portunus) pelagicus</i>	タイワンガザミ				○	○					○	
28				モクスガニ	<i>Gaetice depressus</i>	ヒライソガニ			○							○	
29					<i>Hemigrapsus sanguineus</i>	イソガニ		○		○						○	
30					<i>Hemigrapsus takanoi</i>	タカノケフサイソガニ		○		○	○	○	○	○	○	○	
31	棘皮動物	ヒトデ	モミジガイ	モミジガイ	<i>Astropecten scoparius</i>	モミジガイ				○						○	
32			ヒメヒトデ	イトマキヒトデ	<i>Asterina pectinifera</i>	イトマキヒトデ		○		○						○	
33			ナマコ	楯手	<i>Apoclichopus japonicus</i>	マナマコ					○					○	
34	脊索動物	ホヤ	マホヤ	シロホヤ	<i>Styela clava</i>	エホヤ				○						○	
35					<i>Styela plicata</i>	シロホヤ		○		○						○	
							種類数	3	10	1	20	15	10	13	6	26	13

注1)○は採取による出現を示す。

注2)学名及び分類群順は西村編(1992、1995)「原色検索 日本海岸動物図鑑Ⅰ、Ⅱ」他に準拠した。

①鶴見川河口

採取方法：投網・サデ網

No.	門	綱	目	科	和名	時季調査日		秋季		春季		夏季	
						2020年10月23日		2021年4月28日		2021年9月7日			
						個体数 (個体)	湿重量 (g)	個体数 (個体)	湿重量 (g)	個体数 (個体)	湿重量 (g)		
1	節足動物	軟甲	十脚	テナガエビ	イソスジエビ					12	8.1		
2				テッポウエビ	テッポウエビ							1	0.2
3				モクスガニ	タカノケフサイソガニ			3	1.5	8	8.4	7	8.8
種類数						1		2		2			
個体数・湿重量合計						3		1.5		20		16.5	

注)学名及び分類群順は西村編(1992、1995)「原色検索 日本海岸動物図鑑Ⅰ、Ⅱ」他に準拠した。

②山下公園

採取方法：投網・サデ網

No.	門	綱	目	科	和名	時季調査日		秋季		春季		夏季	
						2020年10月20日		2021年5月10日		2021年7月29日			
						個体数 (個体)	湿重量 (g)	個体数 (個体)	湿重量 (g)	個体数 (個体)	湿重量 (g)		
1	軟体動物	腹足	盤足	カリバカサガイ	シマメノウフネガイ							2	7.7
2			新腹足	アッキガイ	アカニシ					1	57.3	1	33.3
3					レイシガイ					1	15.5		
4	節足動物	軟甲	十脚	ヤドカリ	コブヨコバサミ							1	7.5
5				ホンヤドカリ	ケアシホンヤドカリ							1	1.9
6				ガザミ	イソガニ					1	72.0	1	29.3
7				モクスガニ	ヒライソガニ					6	12.7		
8					イソガニ					1	0.9		
9	棘皮動物	ヒトデ	ヒメヒトデ	イトマキヒトデ	イトマキヒトデ					1	56.5		
10	脊索動物	ホヤ	マボヤ	シロボヤ	シロボヤ			4	86.9				
種類数						1		6		5			
個体数・湿重量合計						4		86.9		11		214.9	

注)学名及び分類群順は西村編(1992、1995)「原色検索 日本海岸動物図鑑Ⅰ、Ⅱ」他に準拠した。

③堀割川河口

採取方法：投網・サデ網

No.	門	綱	目	科	和名	時季調査日		秋季		春季		夏季	
						2020年10月20日		2021年5月10日		2021年7月29日			
						個体数 (個体)	湿重量 (g)	個体数 (個体)	湿重量 (g)	個体数 (個体)	湿重量 (g)		
1	節足動物	軟甲	十脚	モクスガニ	タカノケフサイソガニ					2	1.4		
種類数						採取せず		1		採取せず			
個体数・湿重量合計										2		1.4	

注)学名及び分類群順は西村編(1992、1995)「原色検索 日本海岸動物図鑑Ⅰ、Ⅱ」他に準拠した。

④海の公園

採取方法：投網・サデ網

No.	門	綱	目	科	和名	時季 調査日	秋季		春季		夏季	
							2020年10月19日 個体数 (個体)	湿重量 (g)	2021年4月26日 個体数 (個体)	湿重量 (g)	2021年9月6日 個体数 (個体)	湿重量 (g)
1	軟体動物	腹足	盤足	タマガイ	ツメタガイ				1	39.2	3	141.0
2			新腹足	アッキガイ	レイシガイ				1	7.8		
3				ムシロガイ	アラムシロ				11	5.3		
4			アメフラシ	アメフラシ	アメフラシ				1	49.6	1	32.9
5					フレリトゲアメフラシ						1	11.9
6		二枚貝	マルスダレガイ	マルスダレガイ	アサリ		1	1.2				
7	節足動物	軟甲	十脚	テッポウエビ	インテッポウエビ						1	0.9
8				エビジャコ	ダルマエビジャコ				3	2.0		
9				テナガエビ	ユビナガスジエビ				2	1.0		
10					イソスジエビ				3	1.4		
11					スジエビモドキ				2	0.2		
12				ホンヤドカリ	ユビナガホンヤドカリ				2	0.7		
13				コブシガニ	マメコブシガニ				1	4.0		
14				ガザミ	イシガニ				1	0.9	3	24.0
15					タイワンガザミ						3	21.4
16				モクスガニ	イソガニ				1	1.9		
17					タカノケフサイソガニ				27	6.7		
18	棘皮動物	ヒトデ	モミジガイ	モミジガイ	モミジガイ				1	24.4	1	17.3
19	脊索動物	ホヤ	マボヤ	シロボヤ	エボヤ				1	12.2		
20					シロボヤ				3	35.2		
種類数							1		16		7	
個体数・湿重量合計							1	1.2	61	192.5	13	249.4

注)学名及び分類群順は西村編(1992、1995)「原色検索 日本海岸動物図鑑Ⅰ、Ⅱ」他に準拠した。

⑤野島公園

採取方法：投網・サデ網

No.	門	綱	目	科	和名	時季 調査日	秋季		春季		夏季	
							2016年10月22日 個体数 (個体)	湿重量 (g)	2021年4月27日 個体数 (個体)	湿重量 (g)	2021年7月30日 個体数 (個体)	湿重量 (g)
1	軟体動物	腹足	盤足	タマガイ	ツメタガイ				1	31.1		
2			新腹足	ムシロガイ	アラムシロ				2	1.3		
3			アメフラシ	アメフラシ	アメフラシ				1	342.5		
4			裸鰓	クロシタナシウミウシ	クロシタナシウミウシ				1	4.4		
5	節足動物	軟甲	十脚	テナガエビ	スジエビモドキ				3	1.6		
6				モエビ	コシマガリモエビ				1	0.1		
7				エビジャコ	ダルマエビジャコ				1	0.6		
8				ホンヤドカリ	ユビナガホンヤドカリ				3	0.7		
9					ホンヤドカリ科		2	3.8				
10				ガザミ	イシガニ				2	15.3		
11					タイワンガザミ				1	12.2		
12				モクスガニ	ヒライソガニ				5	11.3		
13					タカノケフサイソガニ		4	3.8	6	4.6		
14	棘皮動物	ヒトデ	ヒメヒトデ	イトマキヒトデ	イトマキヒトデ				2	38.9		
15		ナマコ	楯手	シカクナマコ	マナマコ		6		2	178.5		
種類数							3		14		採取せず	
個体数・湿重量合計							12	7.6	31	643.1		

注)学名及び分類群順は西村編(1992、1995)「原色検索 日本海岸動物図鑑Ⅰ、Ⅱ」他に準拠した。

⑥野島水路

採取方法：投網・サデ網

No.	門	綱	目	科	和名	時季調査日		秋季		春季		夏季		
						2020年10月22日		2021年4月27日		2021年7月30日				
						個体数 (個体)	湿重量 (g)	個体数 (個体)	湿重量 (g)	個体数 (個体)	湿重量 (g)			
1	軟体動物	腹足	盤足	カリバカサガイ	シマメノウフネガイ				5	3.5				
2			新腹足	アッキガイ	レイシガイ				1	7.8				
3				ムシロガイ	アラムシロ				1	0.5				
4				裸鰓	クロシタナシウミウシ	クロシタナシウミウシ				1	9.0			
5			二枚貝	マルスダレガイ	マルスダレガイ	アサリ			7	13.5				
6	節足動物	軟甲	十脚	テナガエビ	イソスジエビ					1	1.0			
7					スジエビモドキ					3	3.0			
8					エビジャコ	ダルマエビジャコ					2	2.0		
9					ホンヤドカリ	ホンヤドカリ科								
10					モクスガニ	タカノケフサイソガニ				14	14.8			
						種類数	3		8		採取せず			
						個体数・湿重量合計	26	34.4	29	50.6				

注1) ーは個体数計数困難な群體性種等を示す。

注2) 学名及び分類群順は西村編(1992、1995)「原色検索 日本海岸動物図鑑Ⅰ、Ⅱ」他に準拠した。

⑦夕照橋

採取方法：投網・サデ網

No.	門	綱	目	科	和名	時季調査日		秋季		春季		夏季		
						2020年10月19日		2021年4月26日		2021年9月6日				
						個体数 (個体)	湿重量 (g)	個体数 (個体)	湿重量 (g)	個体数 (個体)	湿重量 (g)			
1	軟体動物	腹足	古腹足	サザエ	スガイ				1	7.5				
2			盤足	カリバカサガイ	シマメノウフネガイ						7	6.4		
3				タマガイ	ツメタガイ						2	33.8		
4			新腹足	アッキガイ	イボニシ					1	11.9			
5				裸鰓	クロシタナシウミウシ	クロシタナシウミウシ				1	12.3			
6			二枚貝	イガイ	イガイ	コウロエンカワヒバリガイ				2	0.8			
7				カキ	イタボガキ	マガキ				14	108.9			
8				マルスダレガイ	マルスダレガイ	アサリ				1	9.4			
9	節足動物	軟甲	十脚	テナガエビ	イソスジエビ					2	0.6			
10					ヤドカリ	コブヨコバサミ						2	25.3	
11					ホンヤドカリ	ユビナガホンヤドカリ					2	0.6		
12						ホンヤドカリ科					2	2.0		
13					モクスガニ	タカノケフサイソガニ					10	2.3	9	8.8
						種類数	5		6		4			
						個体数・湿重量合計	29	123.4	16	41.7	19	73.0		

注) 学名及び分類群順は西村編(1992、1995)「原色検索 日本海岸動物図鑑Ⅰ、Ⅱ」他に準拠した。

14.6. 魚類（内湾）混獲生物一覧

調査日：（秋季）2020年10月21日
 （冬季）2021年 2月24日
 （春季）2021年 5月19日
 （夏季）2021年 9月 8日
 採取方法：底曳網

No.	門	綱	目	科	学名	和名	地点			時季				
							横浜港沖	根岸湾沖	金沢湾沖	秋	冬	春	夏	
1	刺胞動物	花虫	ウミトサカ		ALCYONACEA	ウミトサカ目		○	○	○				
2			ウミエラ	トゲウミサボテン	<i>Echinoptilum macintoshi</i>	トゲウミサボテン			○	○				
3				ヤナギウミエラ	Virgulariidae	ヤナギウミエラ科	○						○	
4				トゲウミエラ	Pteroeididae	トゲウミエラ科		○	○		○	○	○	
5					PENNATULACEA	ウミエラ目	○			○				
6				ハナギンチャク		CERIANTHARIA	ハナギンチャク目	○	○			○	○	○
7	軟体動物	腹足	盤足	タマガイ	<i>Glossaulax didyma</i>	ツメタガイ	○	○			○	○		
8			側鰓	ウミフクロウ	<i>Pleurobranchaea japonica</i>	ウミフクロウ	○			○				
9			裸鰓	クロシタナシウミウシ	<i>Dendrodoris arborescens</i>	クロシタナシウミウシ		○			○			
10				タテジマウミウシ	<i>Armina variolosa</i>	サメハダシタウミウシ		○		○				
11			二枚貝	マルスダレガイ	ザルガイ	<i>Fulvia aperta</i>	エマイボタン			○			○	
12					<i>Fulvia mutica</i>	トリガイ			○			○		
13		頭足	コウイカ	コウイカ	<i>Sepia (Platysepia) esculenta</i>	コウイカ	○	○	○	○	○	○	○	
14				ダンゴイカ	<i>Euprymna berryi</i>	ニヨリミイカ		○	○		○			
15				ツツイカ	ヤリイカ	<i>Loliolus (Nipponololigo) japonica</i>	ジンドウイカ	○	○	○	○	○	○	
16			節足動物	軟甲	口脚	シヤコ	<i>Oratosquilla oratoria</i>	シヤコ	○	○	○	○	○	○
17					十脚	クルマエビ	<i>Penaeus (Marsupenaeus) japonicus</i>	クルマエビ			○	○		○
18							<i>Panaeus (Panaeus) semisulcatus</i>	クマエビ		○	○	○	○	○
19							<i>Trachypenaeus curvirostris</i>	サルエビ	○	○	○	○	○	○
20						ヤドカリ	<i>Diogenes edwardsii</i>	トゲツノヤドカリ		○				○
21						カニダマシ	<i>Porcellanella</i> sp.	ウミエラカニダマシ属			○			
22					ガザミ	<i>Charybdis (Charybdis) miles</i>	アカイシガニ	○	○		○			
23						<i>Charybdis (Gonioneptunus) bimaculata</i>	フタホシシガニ		○			○	○	
24					エンコウガニ	<i>Carcinoplax vestita</i>	ケブカエンコウガニ	○	○	○	○	○	○	
25						<i>Eucrate crenata</i>	マルバガニ		○		○			
26	棘皮動物	ヒトデ	スナヒトデ	スナヒトデ	<i>Luidia quinaria</i>	スナヒトデ	○	○	○	○	○	○		
27			モミジガイ	モミジガイ	<i>Astropecten polyacanthus</i>	トゲモミジガイ		○	○		○	○	○	
28					<i>Astropecten scoparius</i>	モミジガイ	○	○	○	○	○	○		
29			ヒメヒトデ	イトマキヒトデ	<i>Asterina pectinifera</i>	イトマキヒトデ		○	○	○	○	○	○	
30		キヒトデ	キヒトデ	<i>Asterias amurensis</i>	キヒトデ			○		○				
31		ナマコ	キノコ	キノコ	<i>Cucumaria frondosa</i>	キノコ			○		○			
32			楯手	クロナマコ	<i>Holothuria (Thymiosycia) decorata</i>	フジナマコ		○	○		○			
33			シカクナマコ	シカクナマコ	<i>Apoctichopus japonicus</i>	マナマコ			○			○		
34	脊索動物	ホヤ	マボヤ	シロボヤ	<i>Styela plicata</i>	シロボヤ	○	○		○	○			
							種類数	14	23	22	16	21	18	14

注1) ○は出現したことを示す。

注2) 学名及び分類群順は西村編(1992、1995)「原色検索 日本海岸動物図鑑Ⅰ、Ⅱ」他に準拠した。

①横浜港沖

採取方法:底曳網

No.	門	綱	目	科	和名	時季 調査日	秋季		冬季		春季		夏季	
							2020年10月21日 個体数 (個体)	湿重量 (g)	2021年2月24日 個体数 (個体)	湿重量 (g)	2021年5月19日 個体数 (個体)	湿重量 (g)	2021年9月8日 個体数 (個体)	湿重量 (g)
1	刺胞動物	花虫	ウミエラ	ヤナギウミエラ	ヤナギウミエラ科								1	30
2					ウミエラ目		1	9						
3				ハナギンチャク	ハナギンチャク目				2	104	1	18	16	878
4	軟体動物	腹足	盤足	タマガイ	ツメタガイ				1	26	1	8		
5			側鰓	ウミフクロウ	ウミフクロウ		2	14						
6		頭足	コウイカ	コウイカ	コウイカ		5	1,860	1	396			4	334
7			ツツイカ	ヤリイカ	ジンドウイカ		1	8	1	27	5	148	29	348
8	節足動物	軟甲	口脚	シヤコ	シヤコ		18	242	25	188			16	272
9			十脚	クルマエビ	サルエビ		7	36	3	11	4	38	3	130
10				ガザミ	アカイシガニ		2	77						
11				エンコウガニ	ケブカエンコウガニ		17	84	27	126			1	5
12	棘皮動物	ヒトデ	スナヒトデ	スナヒトデ	スナヒトデ				52	220	1	6		
13			モミジガイ	モミジガイ	モミジガイ		9	103	7	79				
14	脊索動物	ホヤ	マボヤ	シロボヤ	シロボヤ				1	17	1	16		
種 類 数							9		10		6		7	
個体数・湿重量合計							62	2,433	120	1,194	13	234	70	1,997

注)学名及び分類群順は西村編(1992, 1995)「原色検索 日本海岸動物図鑑Ⅰ、Ⅱ」他に準拠した。

②根岸湾沖

採取方法:底曳網

No.	門	綱	目	科	和名	時季 調査日	秋季		冬季		春季		夏季	
							2020年10月21日 個体数 (個体)	湿重量 (g)	2021年2月24日 個体数 (個体)	湿重量 (g)	2021年5月19日 個体数 (個体)	湿重量 (g)	2021年9月8日 個体数 (個体)	湿重量 (g)
1	刺胞動物	花虫	ウミエラ	トゲウミエラ	トゲウミエラ科		2	19				1	2	
2					トゲウミエラ目									
3				ハナギンチャク	ハナギンチャク目				1	46			1	7
4	軟体動物	腹足	盤足	タマガイ	ツメタガイ				1	18	1	15		
5			裸鰓	クロシタナシウミウシ	クロシタナシウミウシ				2	17				
6				タテジマウミウシ	サメハダシタウミウシ		1	5						
7		頭足	コウイカ	コウイカ	コウイカ		4	1,525	1	355			2	111
8			ダンゴイカ	ニヨリミイカ	ニヨリミイカ				2	27				
9			ツツイカ	ヤリイカ	ジンドウイカ		1	20			7	183	28	315
10	節足動物	軟甲	口脚	シヤコ	シヤコ		9	97	2	16	5	64	10	163
11			十脚	クルマエビ	クマエビ		1	42						
12				サルエビ	サルエビ				3	12	3	24		
13				ヤドカリ	トゲツノヤドカリ						1	13		
14				ガザミ	アカイシガニ		1	43						
15					フタホシイシガニ				2	5	1	3		
16				エンコウガニ	ケブカエンコウガニ		2	9	12	58	3	15	1	6
17					マルバガニ		1	1						
18	棘皮動物	ヒトデ	スナヒトデ	スナヒトデ	スナヒトデ		2	10	25	107				
19			モミジガイ	モミジガイ	トゲモミジガイ						2	20	1	33
20					モミジガイ		35	505	29	336	38	498		
21			ヒメヒトデ	イトマキヒトデ	イトマキヒトデ				1	3				
22		ナマコ	槿手	クロナマコ	フジナマコ				1	558				
23	脊索動物	ホヤ	マボヤ	シロボヤ	シロボヤ				1	11				
種 類 数							11		14		10		6	
個体数・湿重量合計							59	2,276	83	1,569	62	837	43	635

注)学名及び分類群順は西村編(1992, 1995)「原色検索 日本海岸動物図鑑Ⅰ、Ⅱ」他に準拠した。

③金沢湾沖

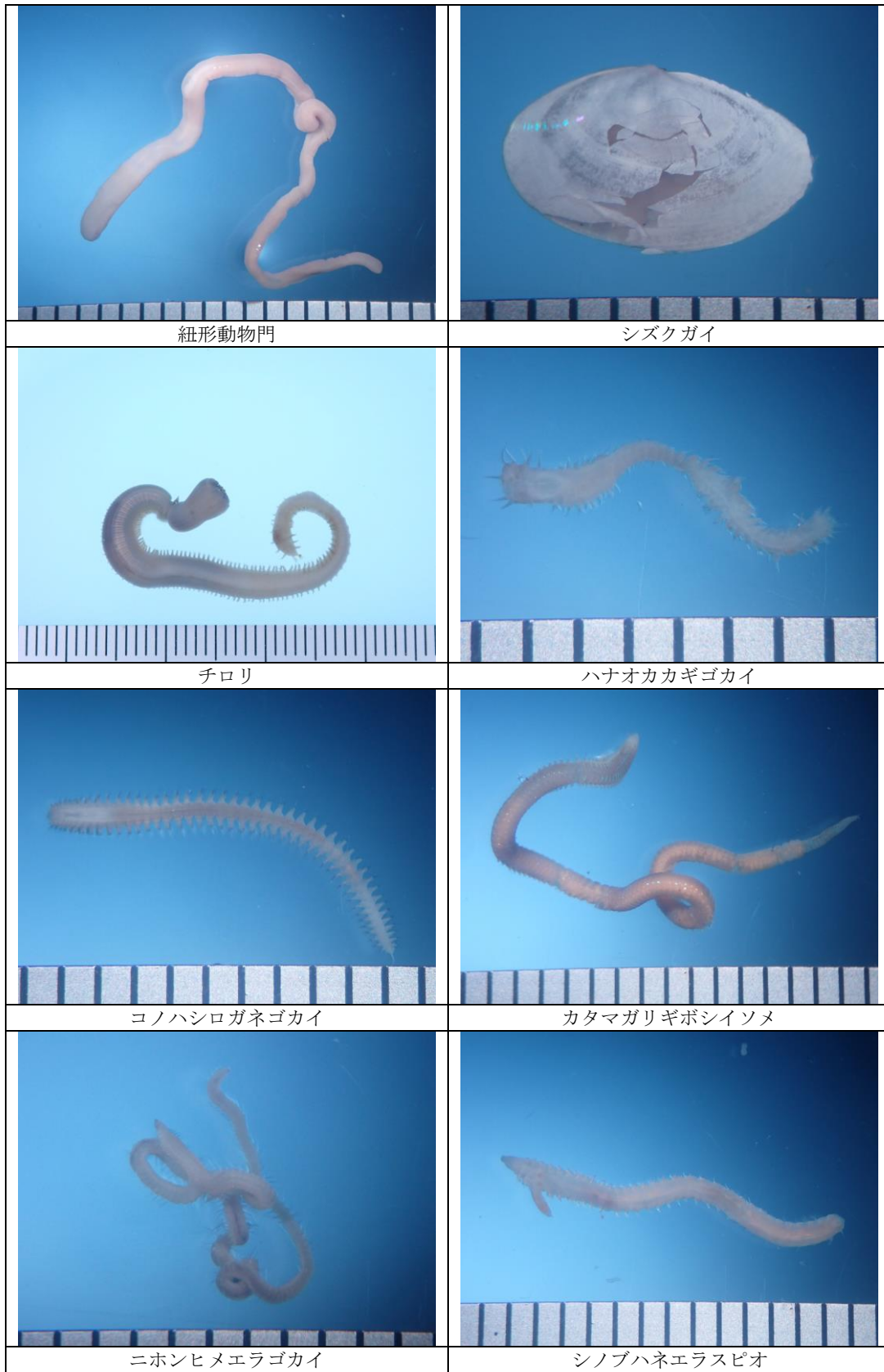
採取方法:底曳網

No.	門	綱	目	科	和名	時季 調査日	秋季		冬季		春季		夏季	
							2020年10月21日 個体数 (個体)	湿重量 (g)	2021年2月24日 個体数 (個体)	湿重量 (g)	2021年5月19日 個体数 (個体)	湿重量 (g)	2021年9月8日 個体数 (個体)	湿重量 (g)
1	刺胞動物	花虫	ウミトサカ		ウミトサカ目		4	19						
2	刺胞動物	花虫	ウミエラ	トゲウミサボテン	トゲウミサボテン				3	18				
3				トゲウミエラ	トゲウミエラ科				1	375			6	398
4	軟体動物	二枚貝	マルスダレガイ	ザルガイ	エマイボタン						1	7		
5					トリガイ						1	17		
6		頭足	コウイカ	コウイカ	コウイカ		6	1,465	1	605			8	429
7				ダンゴイカ	ニヨリミイカ				1	14				
8			ツツイカ	ヤリイカ	ジンドウイカ		2	35					16	150
9	節足動物	軟甲	口脚	シヤコ	シヤコ						1	16	6	76
10			十脚	クルマエビ	クルマエビ		2	112					2	62
11					クマエビ				1	30	1	73		
12					サルエビ				2	6	3	18		
13				カニダマシ	ウミエラカニダマシ属								1	1
14				エンコウガニ	ケブカエンコウガニ				4	23			1	2
15	棘皮動物	ヒトデ	スナヒトデ	スナヒトデ	スナヒトデ		2	18	32	589			1	3
16			モミジガイ	モミジガイ	トゲモミジガイ				8	147				
17					モミジガイ		147	2,415	233	3,034	92	1,325	98	1,226
18			ヒメヒトデ	イトマキヒトデ	イトマキヒトデ		1	12	7	75	1	27	2	24
19			キヒトデ	キヒトデ	キヒトデ				1	17				
20		ナマコ	櫛手	キンコ	キンコ				1	6				
21			楯手	クロナマコ	フジナマコ				2	1,189				
22				シカクナマコ	マナマコ						1	438		
種類数							7		14		8		10	
個体数・湿重量合計							164	4,076	297	6,128	101	1,921	141	2,371

注)学名及び分類群順は西村編(1992、1995)「原色検索 日本海岸動物図鑑Ⅰ、Ⅱ」他に準拠した。

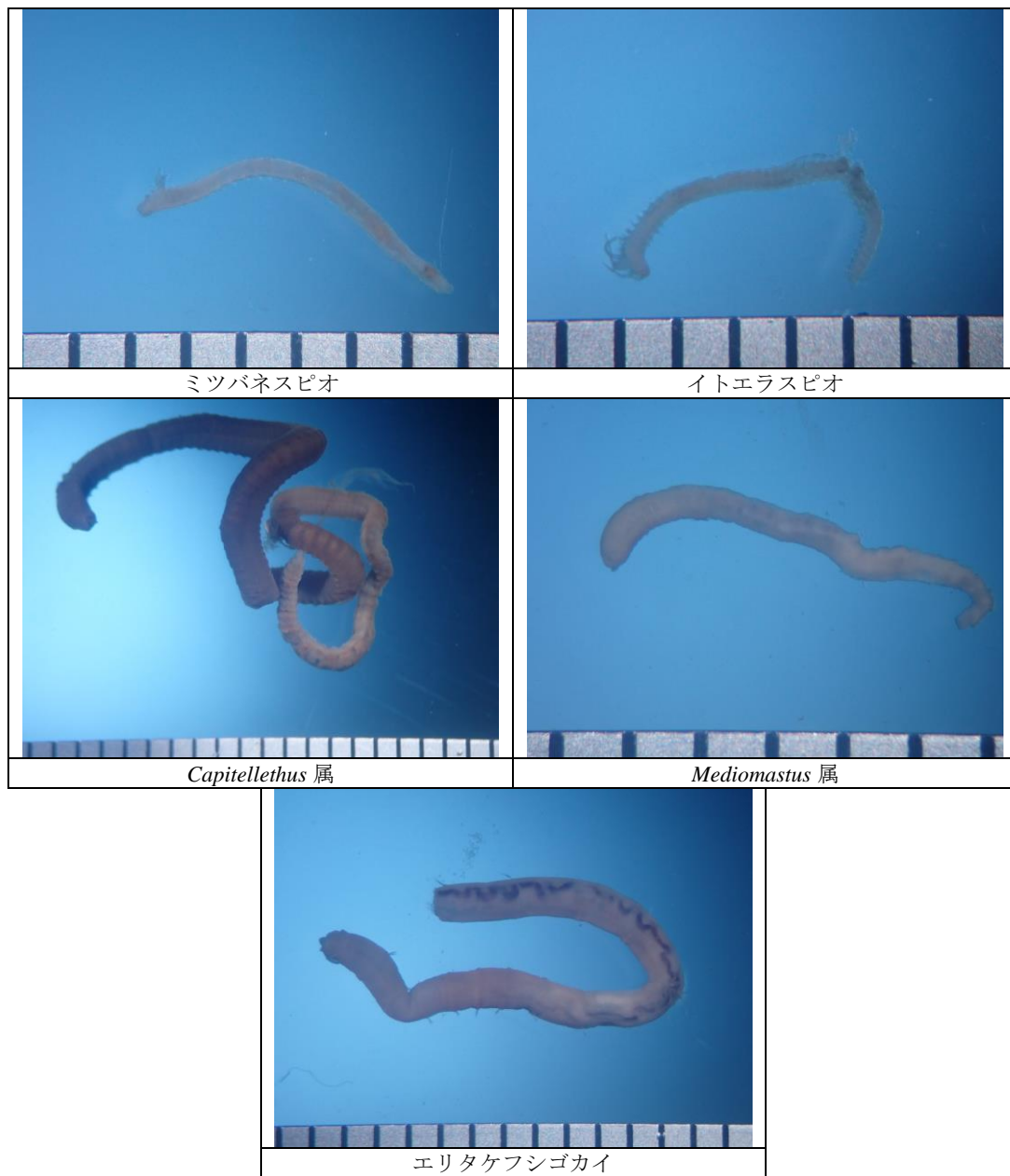
15. 底生動物

15.1. 底生動物優占種写真



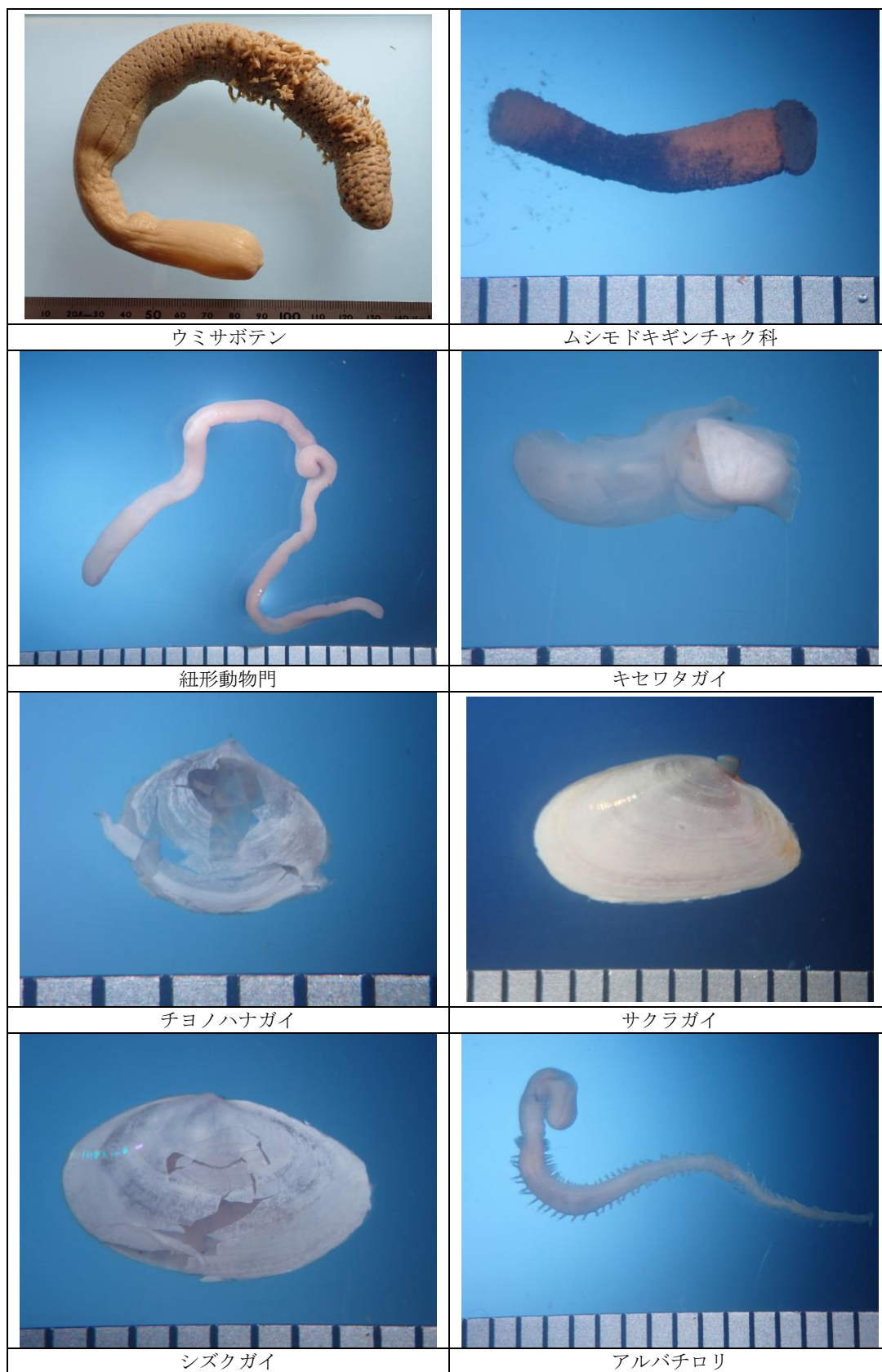
(目盛りは 1mm 間隔)

写真 15.1 (1) 底生動物優占種写真 (個体数)



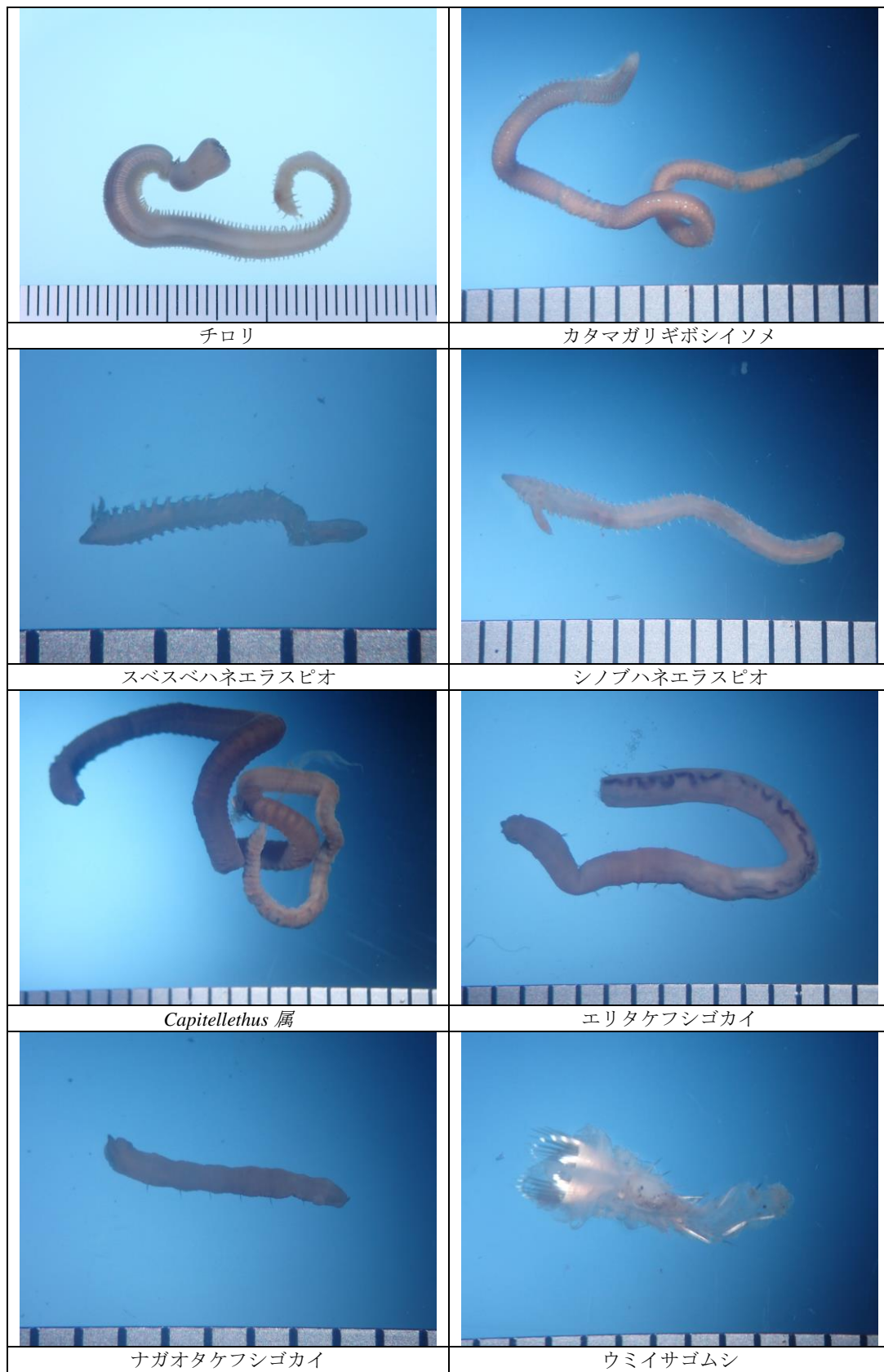
(目盛りは 1mm 間隔)

写真 15.1 (2) 底生動物優占種写真 (個体数)



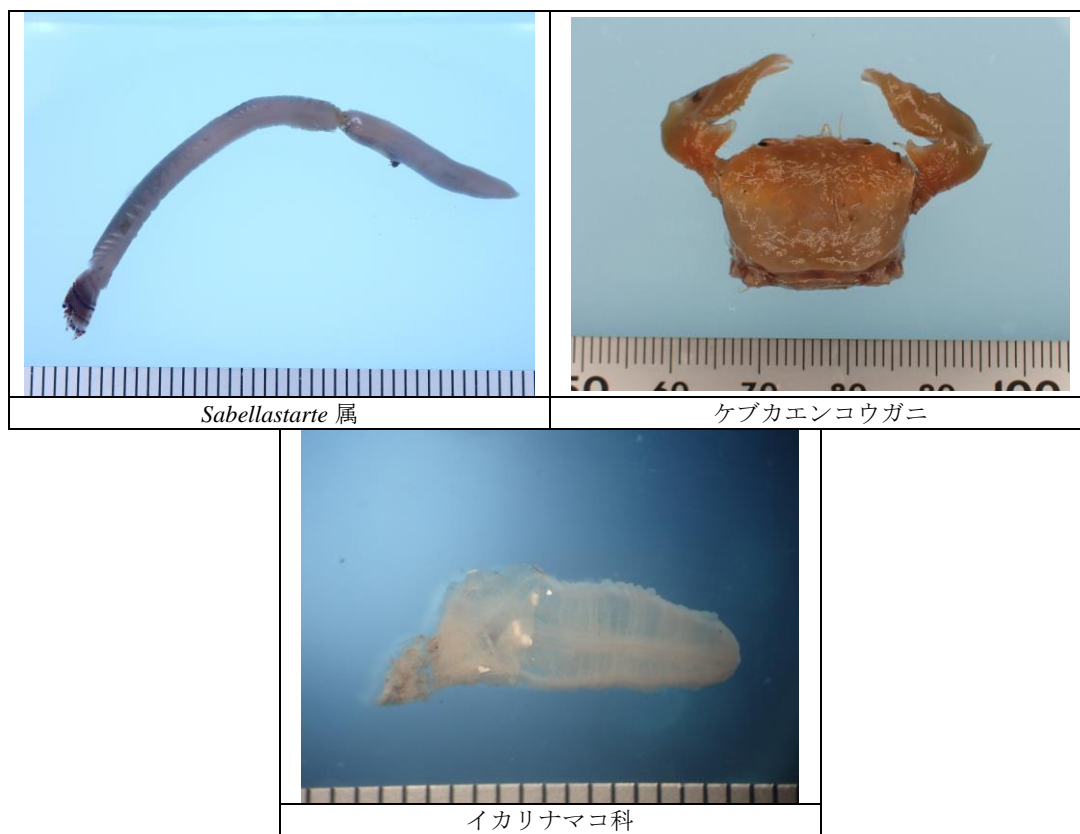
(目盛りは1mm 間隔)

写真 15.2 (1) 底生動物優占種写真 (湿重量)



(目盛りは1mm間隔)

写真 15.2 (2) 底生動物優占種写真 (湿重量)



Sabellastarte 属

ケブカエンコウガニ

イカリナマコ科

(目盛りは 1mm 間隔)

写真 15.2 (3) 底生動物優占種写真 (湿重量)

16. プランクトン

16.1. 植物プランクトン優占種写真


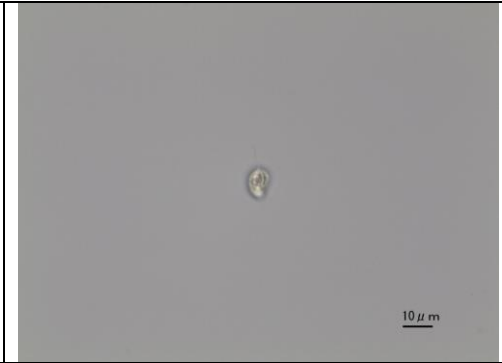


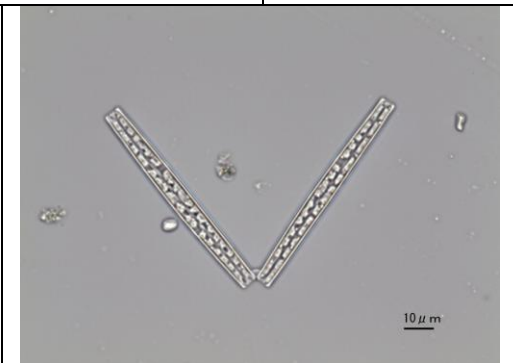
	
<p>出現 1 位 <i>Skeletonema costatum</i> 横浜、根岸、金沢</p>	<p>出現 2 位 CRYPTOPHYCEAE 横浜、根岸、金沢</p>
	
<p>出現 3 位 <i>Thalassiosira</i> spp. 横浜、根岸、金沢</p>	<p>出現 4 位 <i>Pseudo-nitzschia</i> sp. 横浜、根岸、金沢</p>
	
<p>出現 5 位 <i>Thalassionema nitzschioides</i> 横浜、根岸、金沢</p>	

写真 16.1 (1) 植物プランクトン優占種 (秋季)

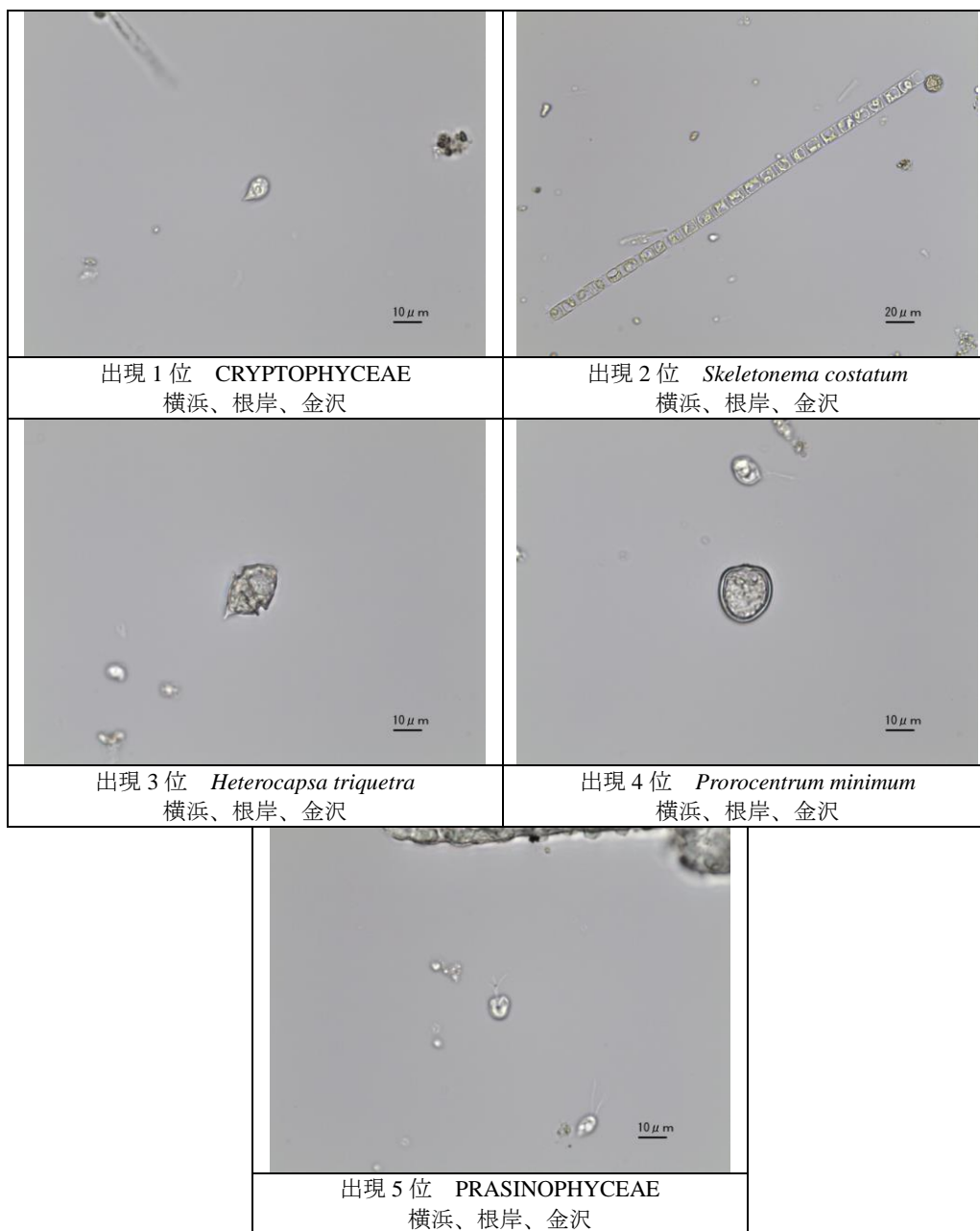


写真 16.1 (2) 植物プランクトン優占種 (冬季)

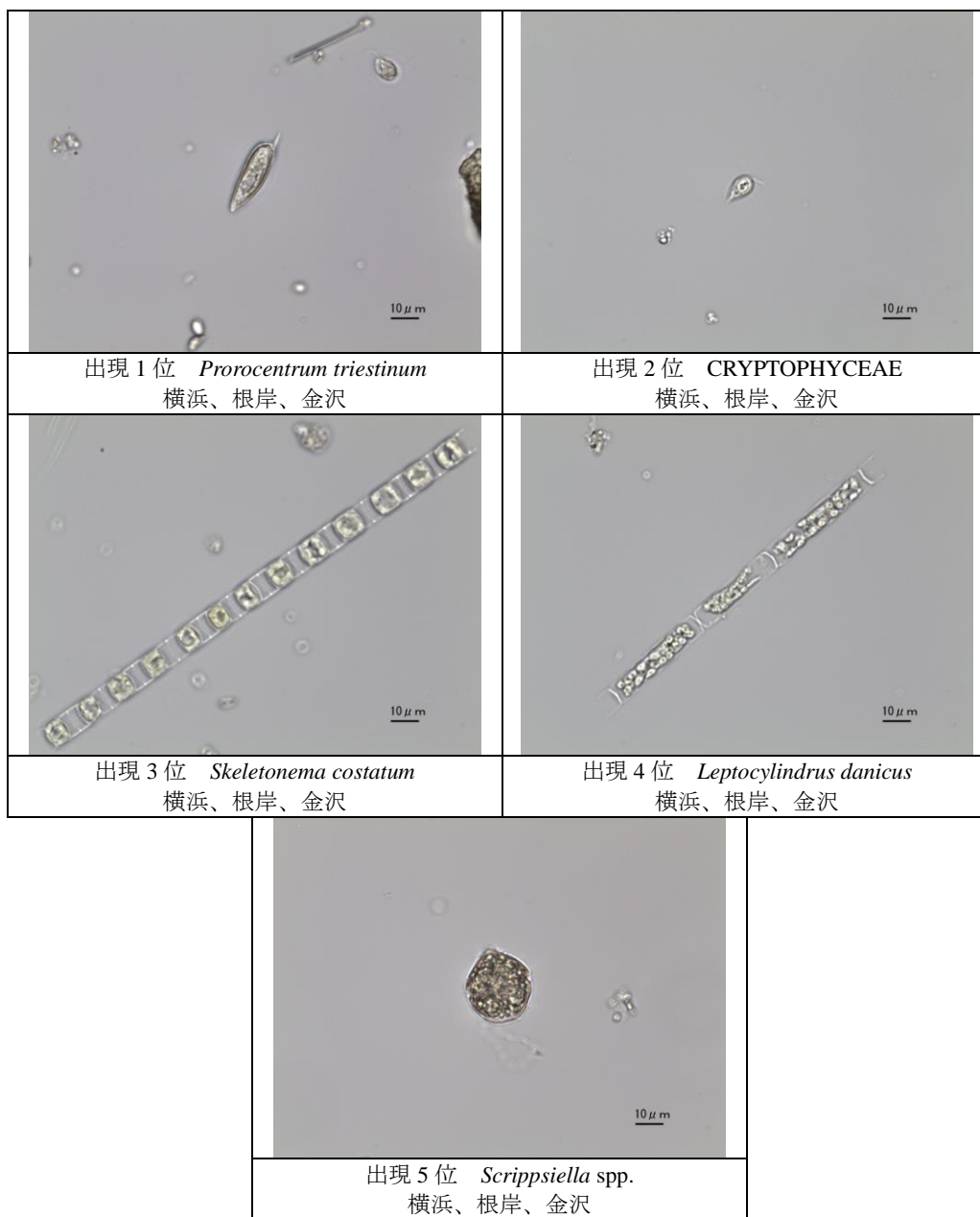


写真 16.1 (3) 植物プランクトン優占種 (春季)

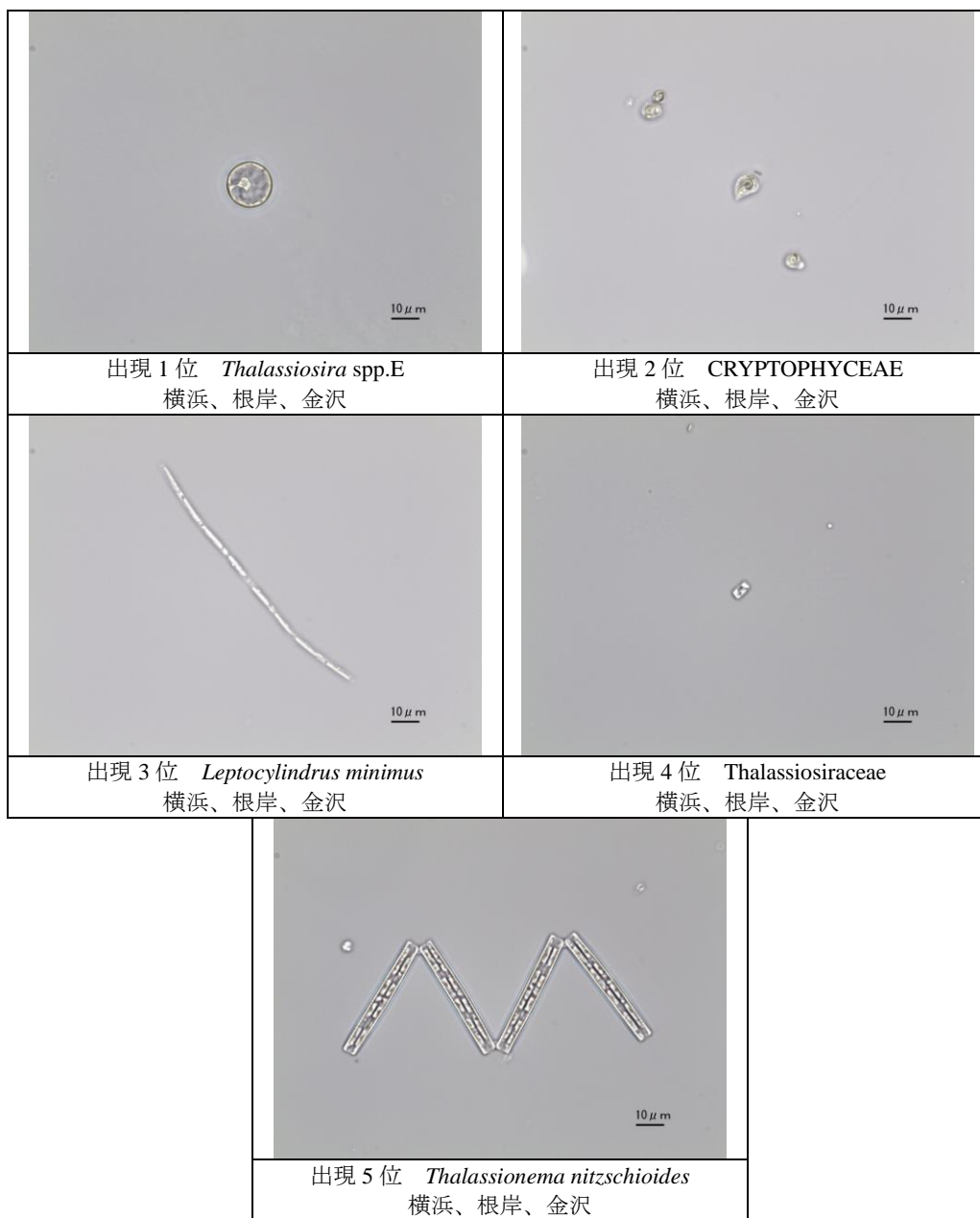


写真 16.1 (4) 植物プランクトン優占種 (夏季)

16.2. 動物プランクトン優占種写真


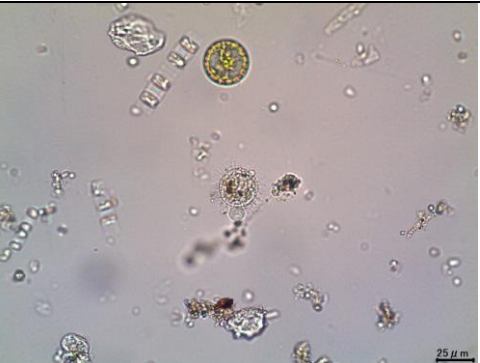



	
<p>出現 1 位 <i>Ebria tripartita</i> 横浜、根岸、金沢</p>	<p>出現 2 位 CILIOPHORA 横浜、根岸</p>
	
<p>出現 3 位 OLIGOTRICHINA 横浜、根岸、金沢</p>	<p>出現 4 位 Nauplius of COPEPODA 横浜、根岸、金沢</p>
	
<p>出現 5 位 <i>Didinium</i> sp. 横浜、金沢</p>	

写真 16.2 (1) 動物プランクトン優占種 (秋季)

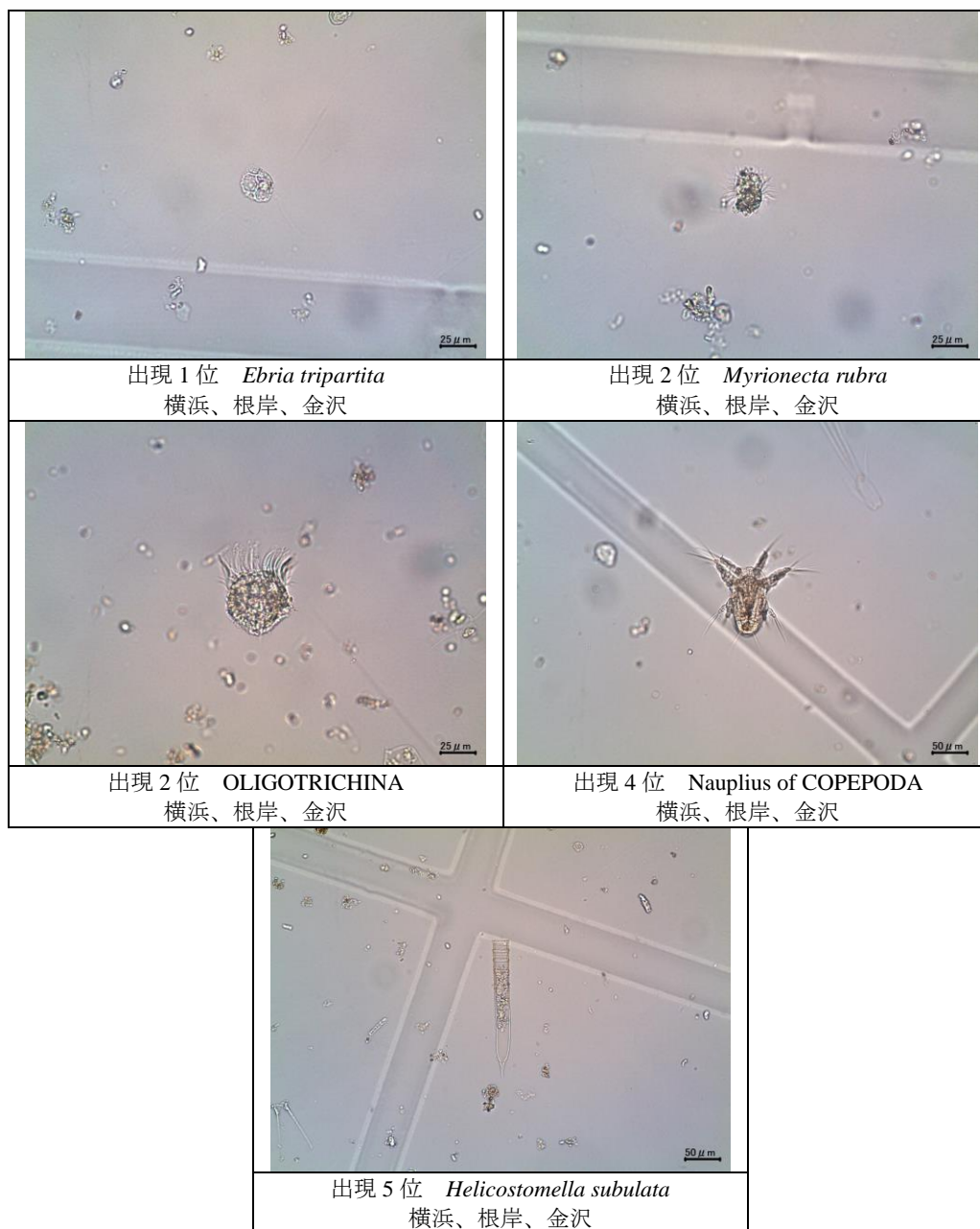


写真 16.2 (2) 動物プランクトン優占種 (冬季)

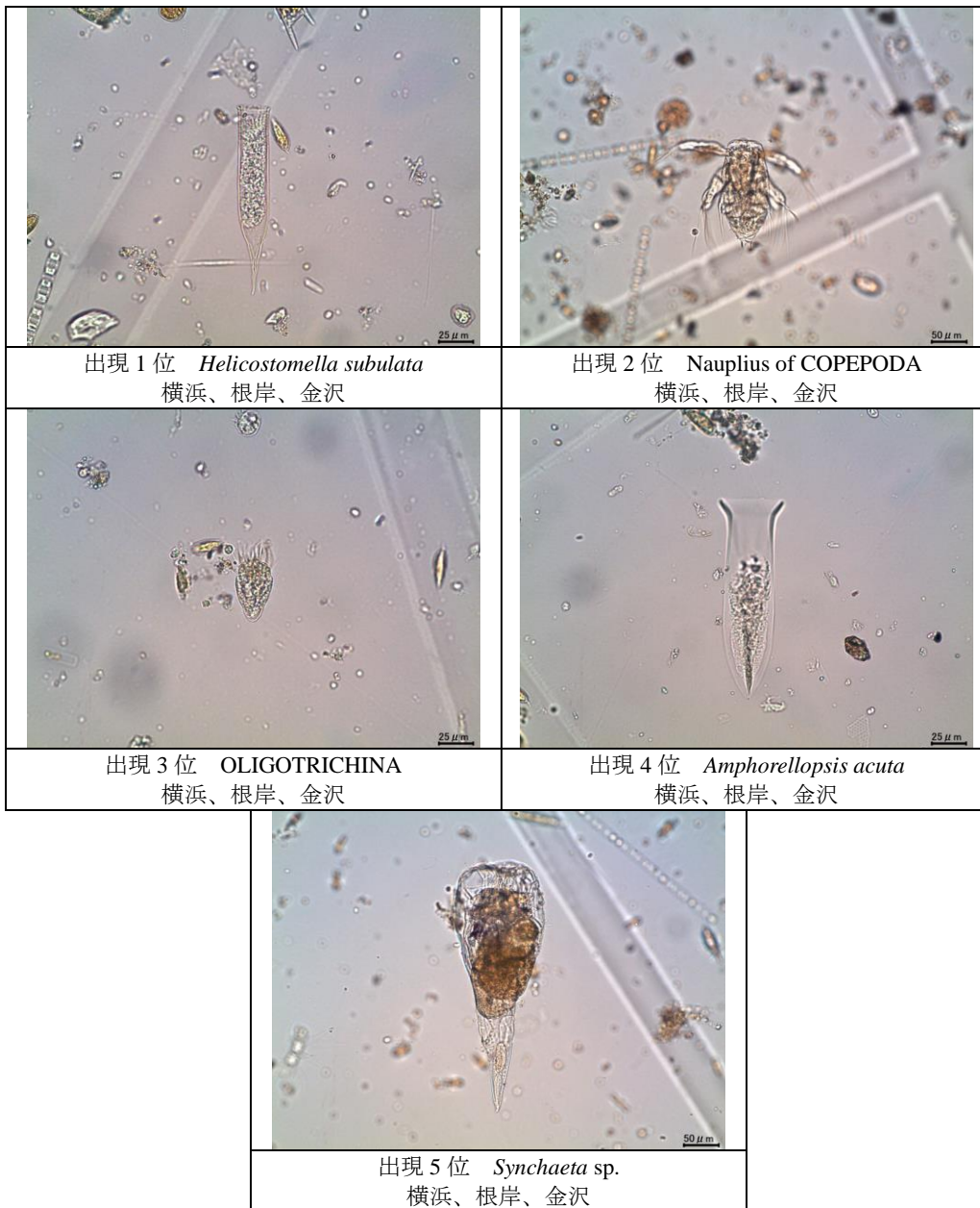


写真 16.2 (3) 動物プランクトン優占種 (春季)

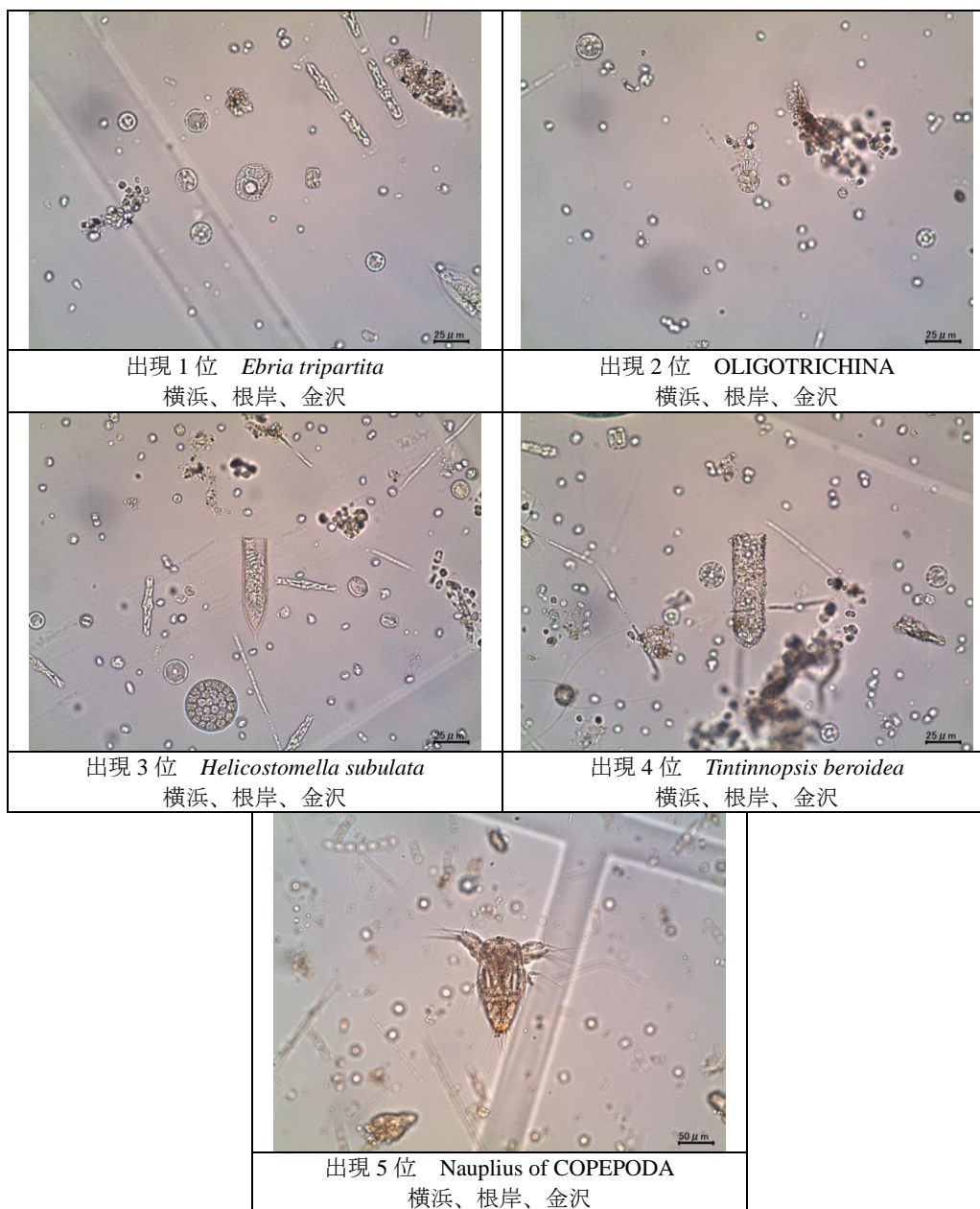


写真 16.2 (4) 動物プランクトン優占種 (夏季)

17. 環境要因

17.1. 河口・海岸

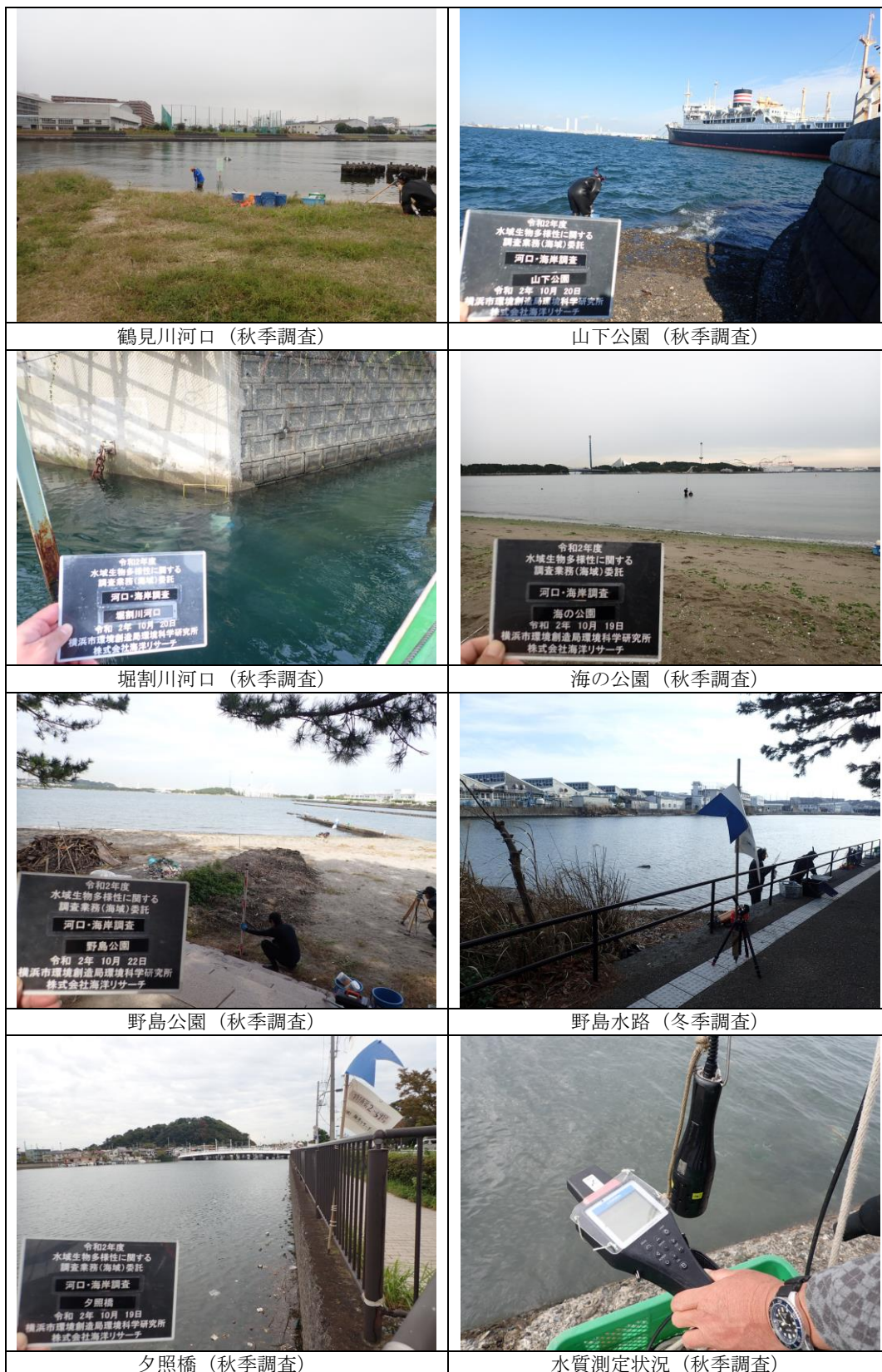


写真 17.1 地点および作業状況（河口・海岸）

17.2. 内湾



写真 17.2 (1) 地点および作業状況 (内湾) (水質)



写真 17.2 (2) 地点および作業状況 (内湾) (水質)

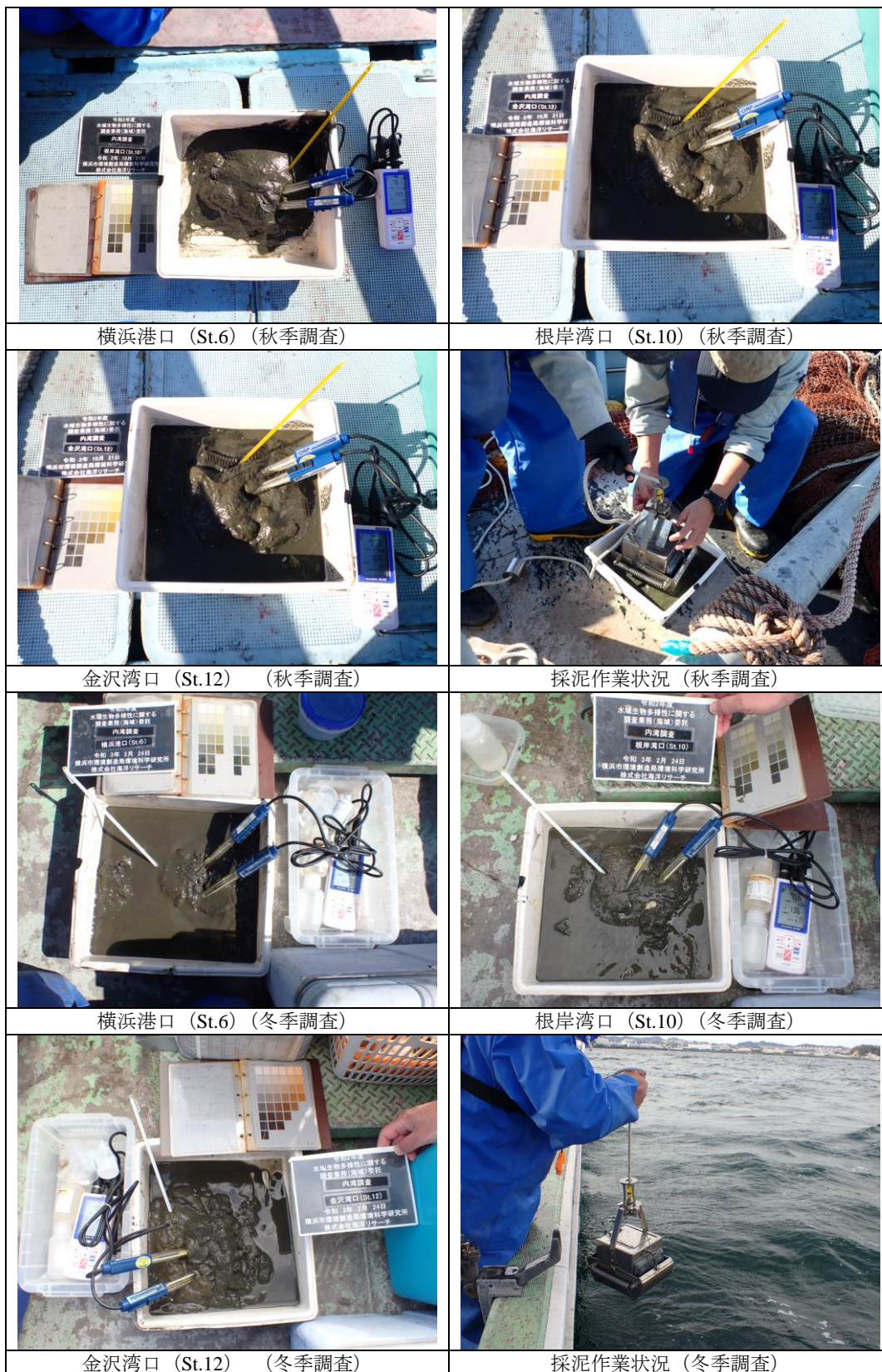


写真 17.3 (1) 底質サンプルおよび作業状況 (内湾) (底質・底生動物)

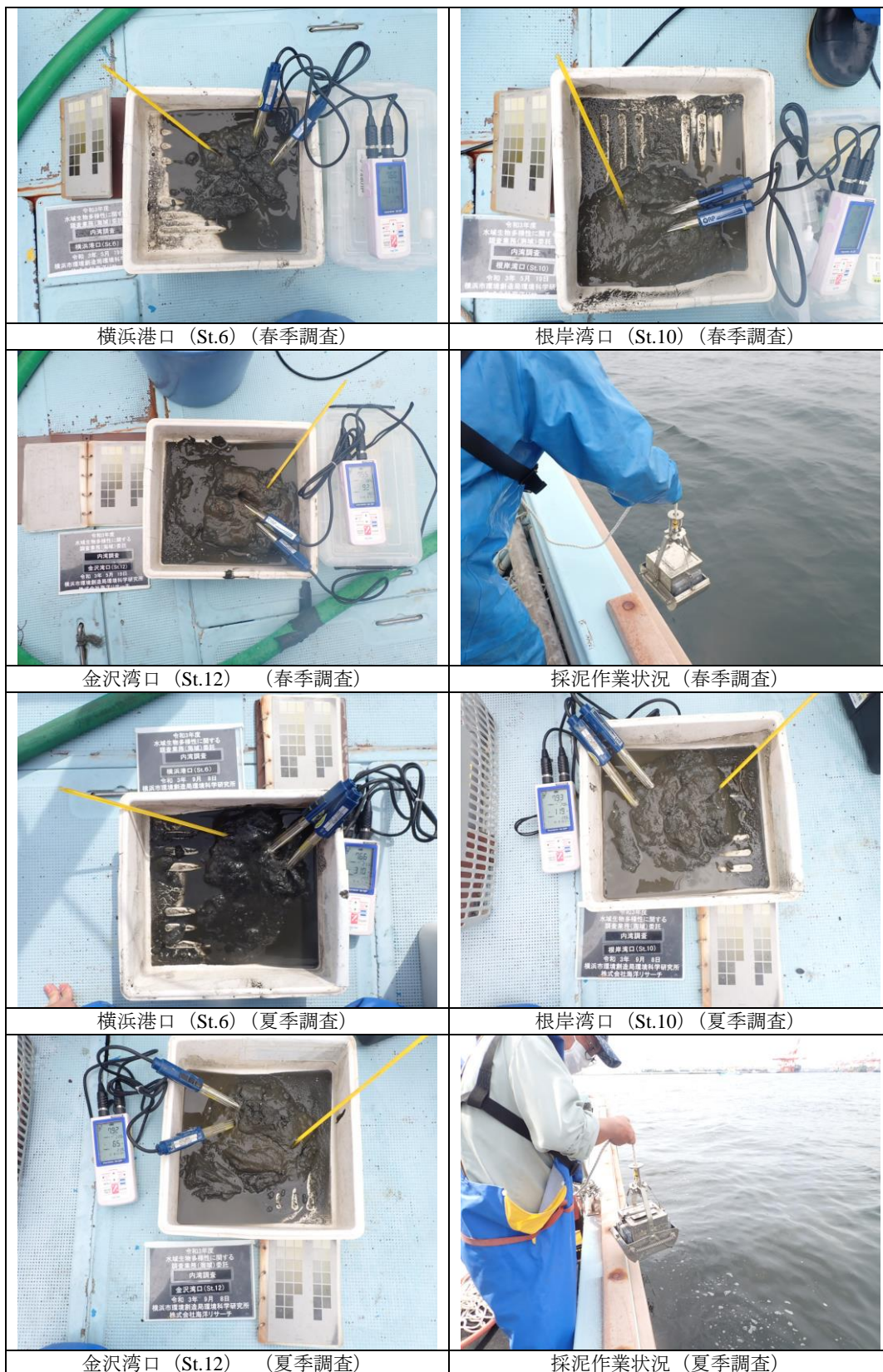


写真 17.3 (2) 底質サンプルおよび作業状況 (内湾) (底質・底生動物)

17.3. 水質鉛直測定結果

①調査項目別集計

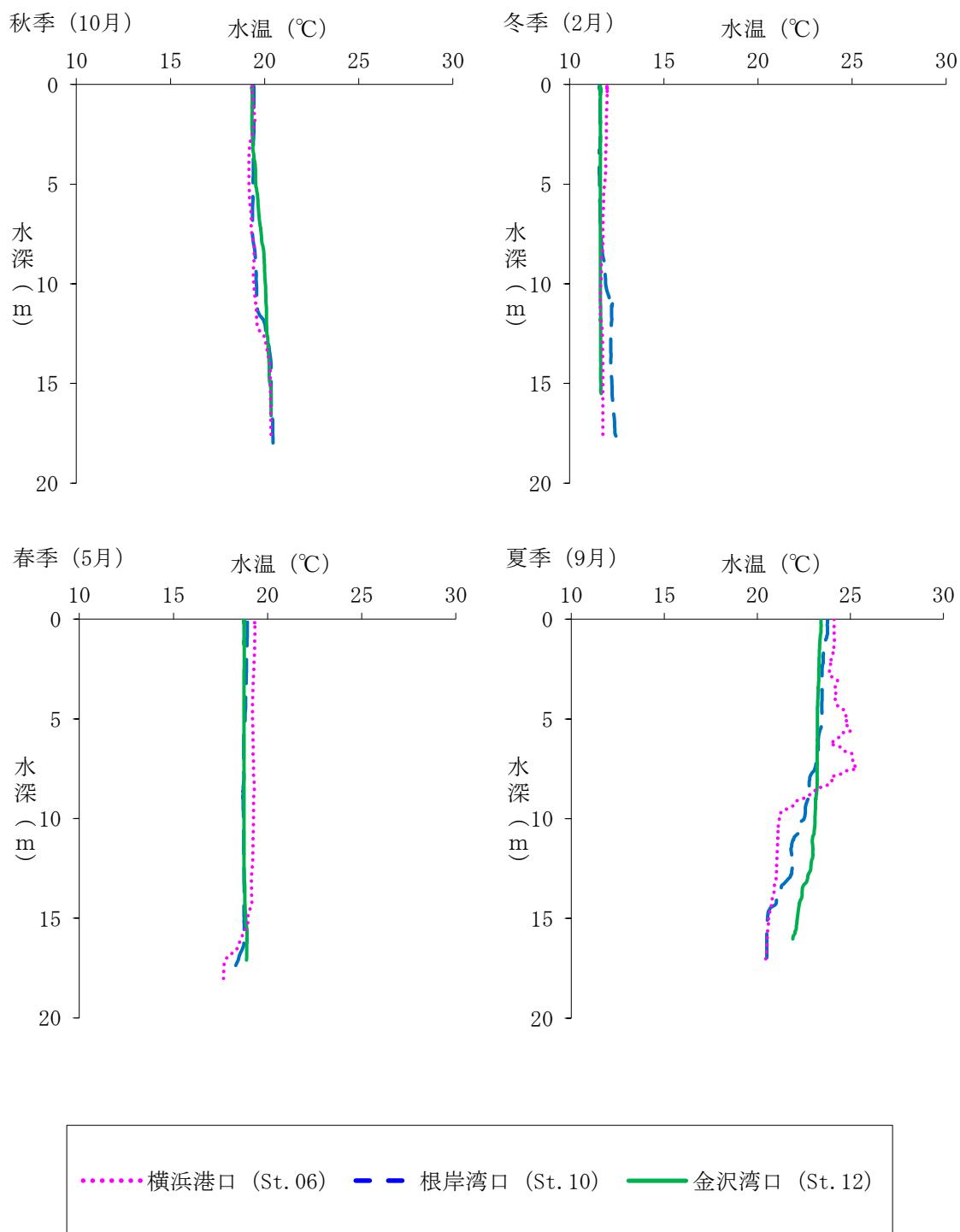


图 17.1 水温鉛直分布图

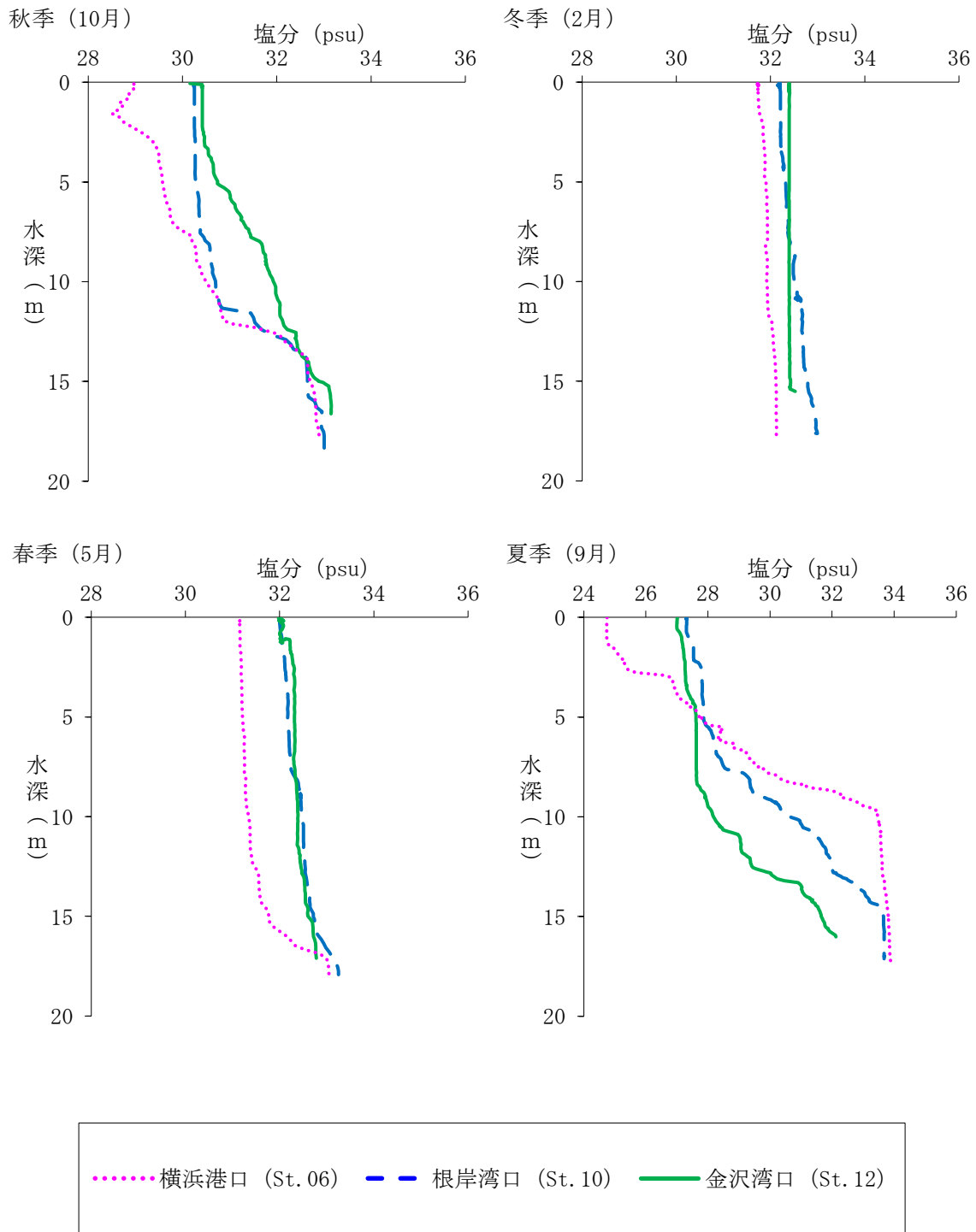


图 17.2 塩分鉛直分布図

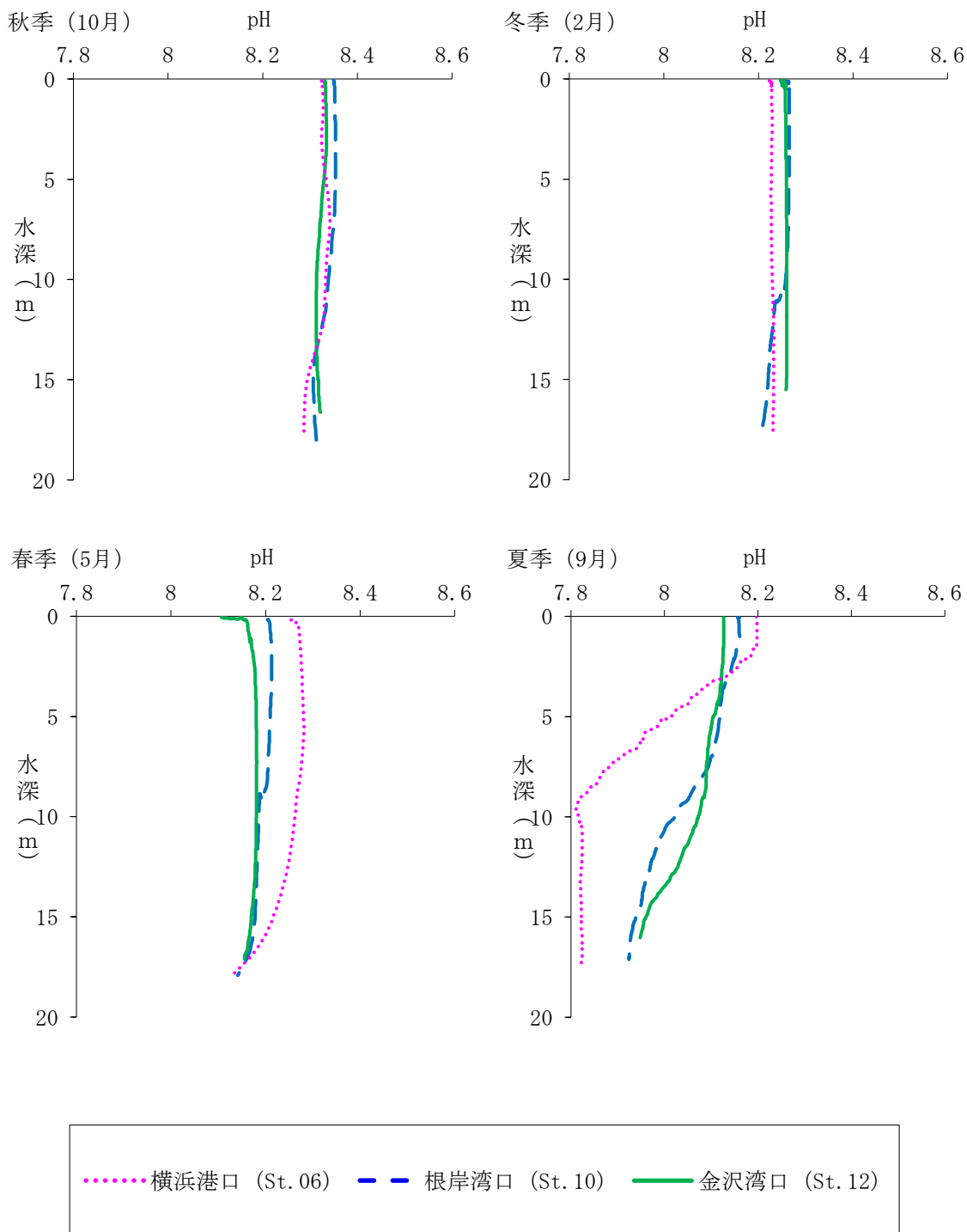


図 17.3 pH 鉛直分布図

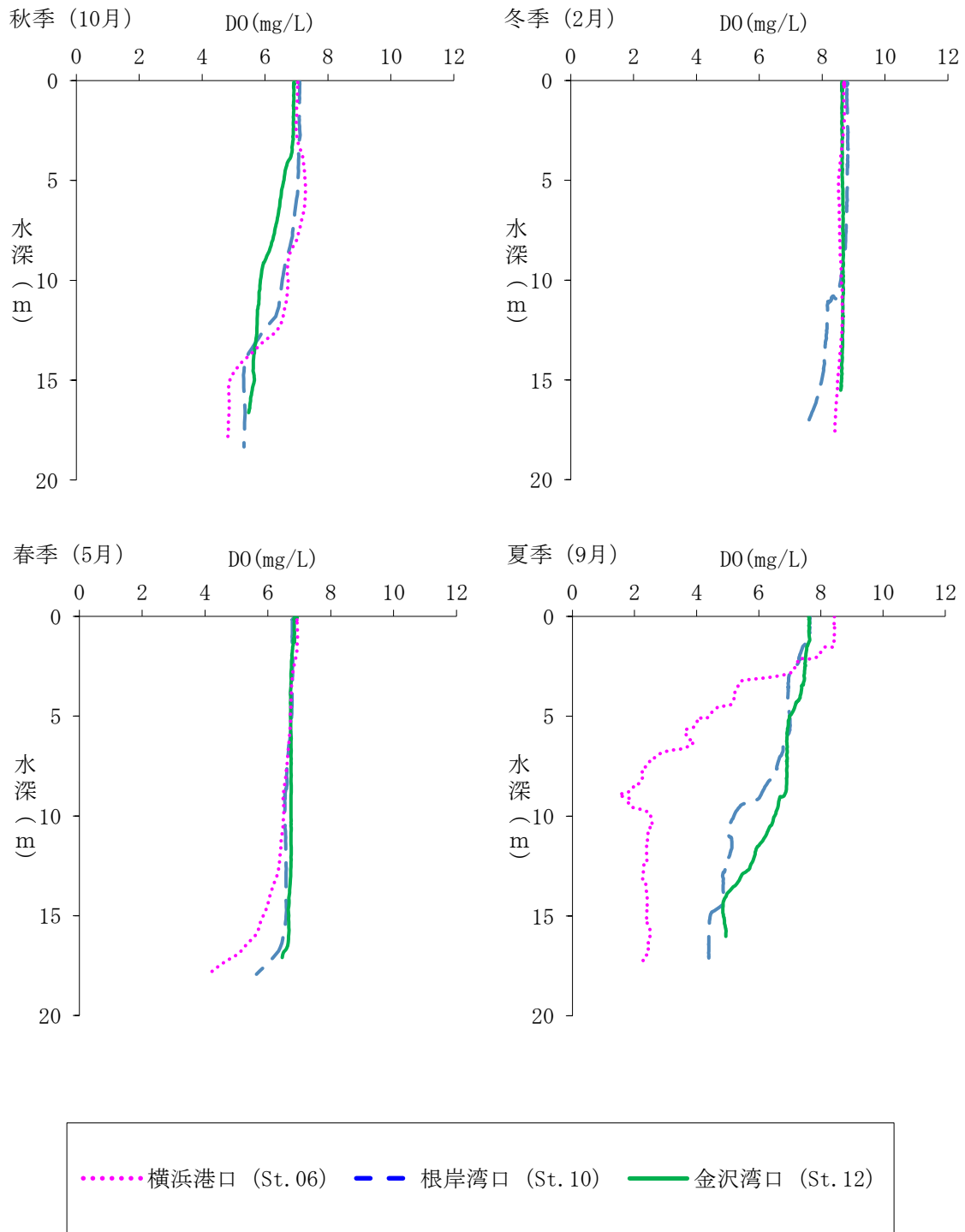


図 17.4 DO 鉛直分布図

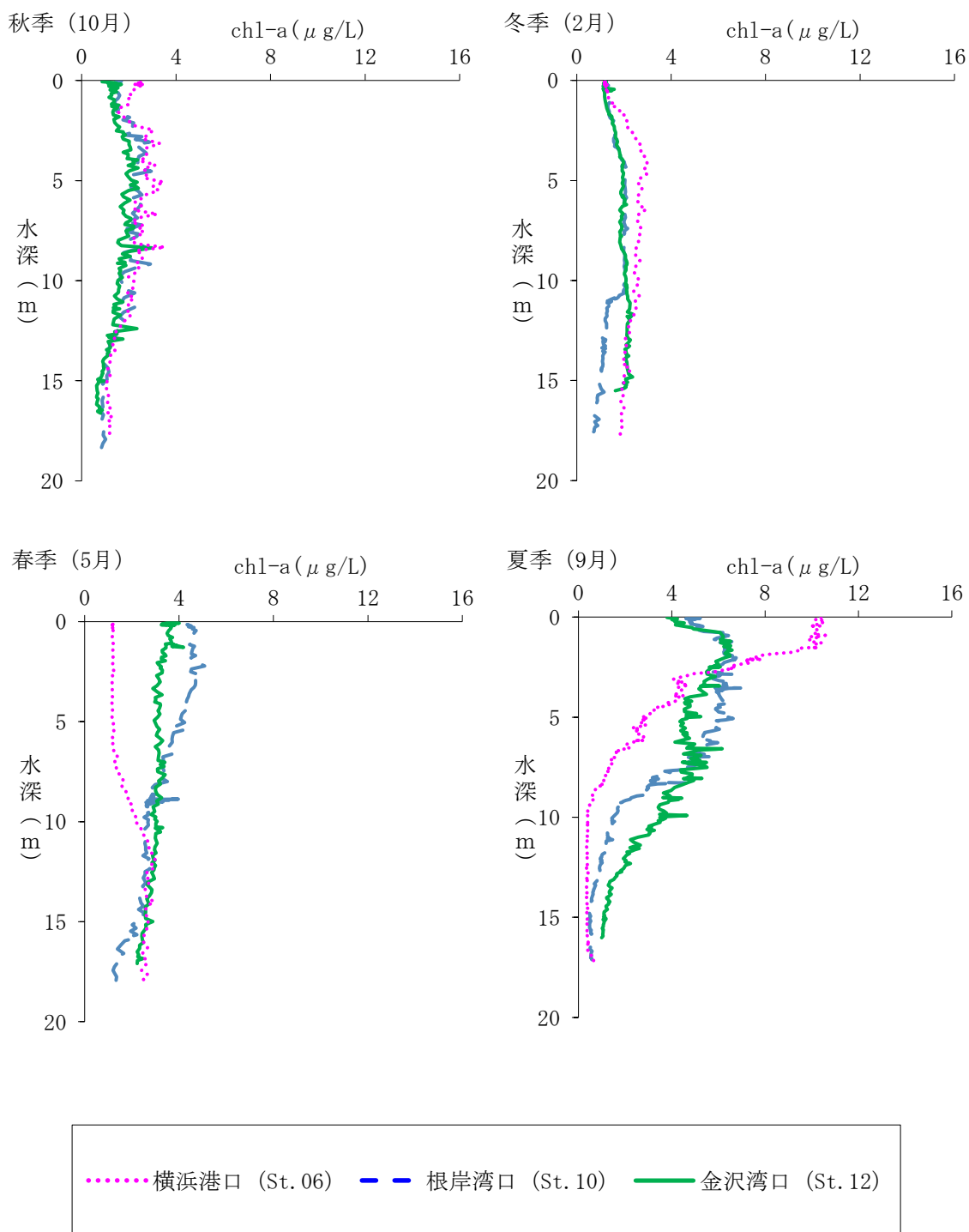


図 17.5 クロロフィル鉛直分布図

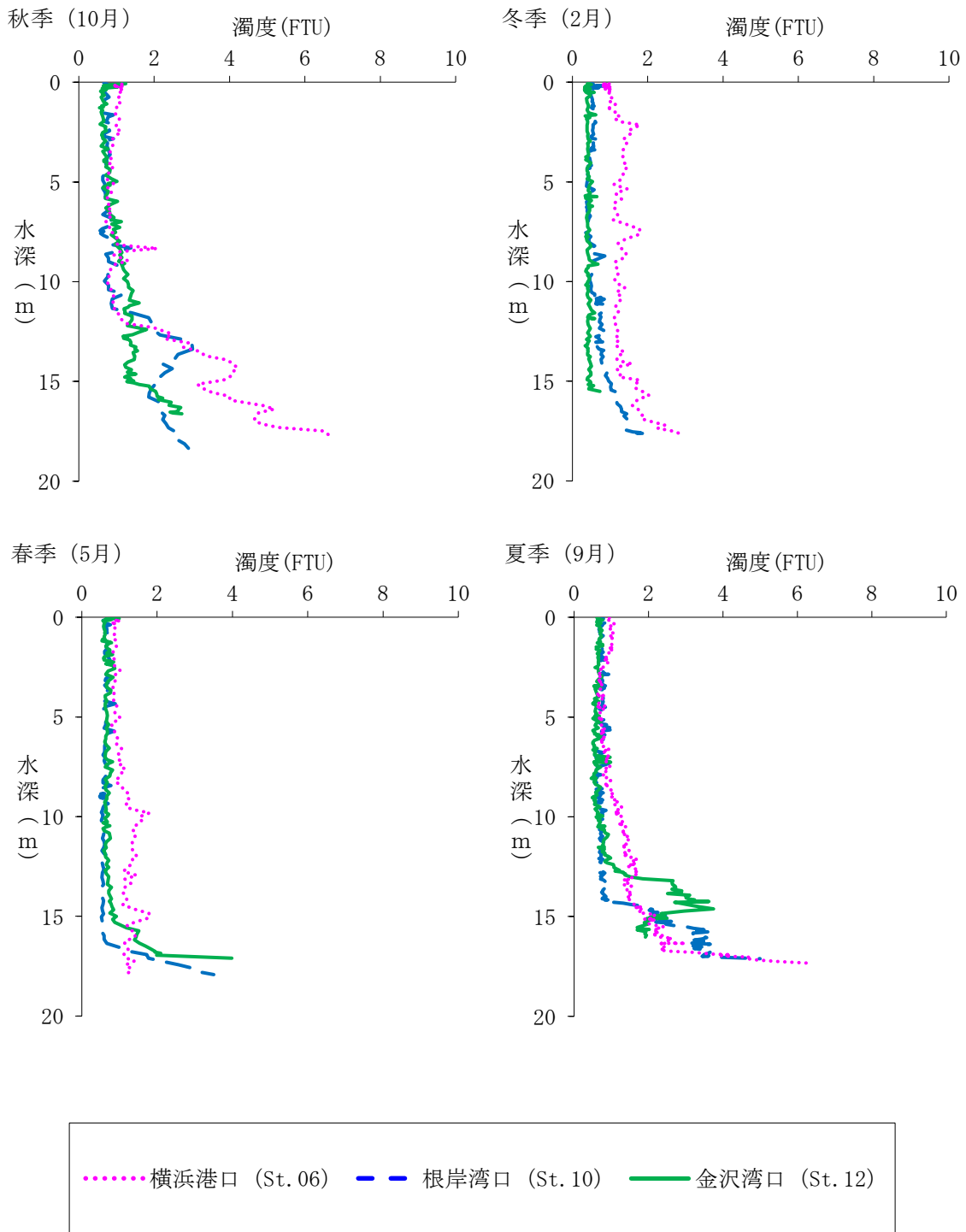


図 17.6 濁度鉛直分布図

②調査地点別集計

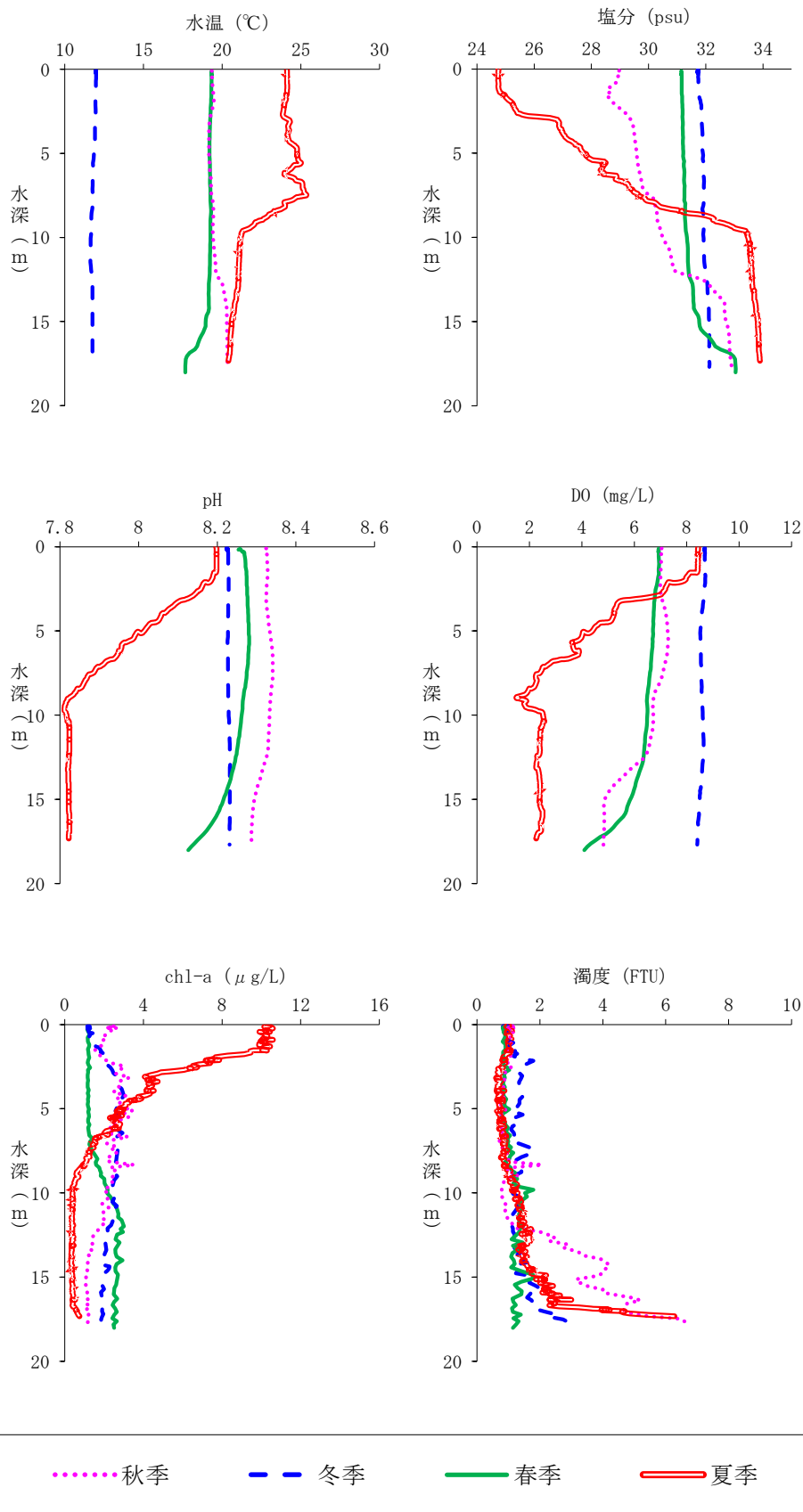


図 17.7 横浜港口 (St.6) の項目別鉛直分布図

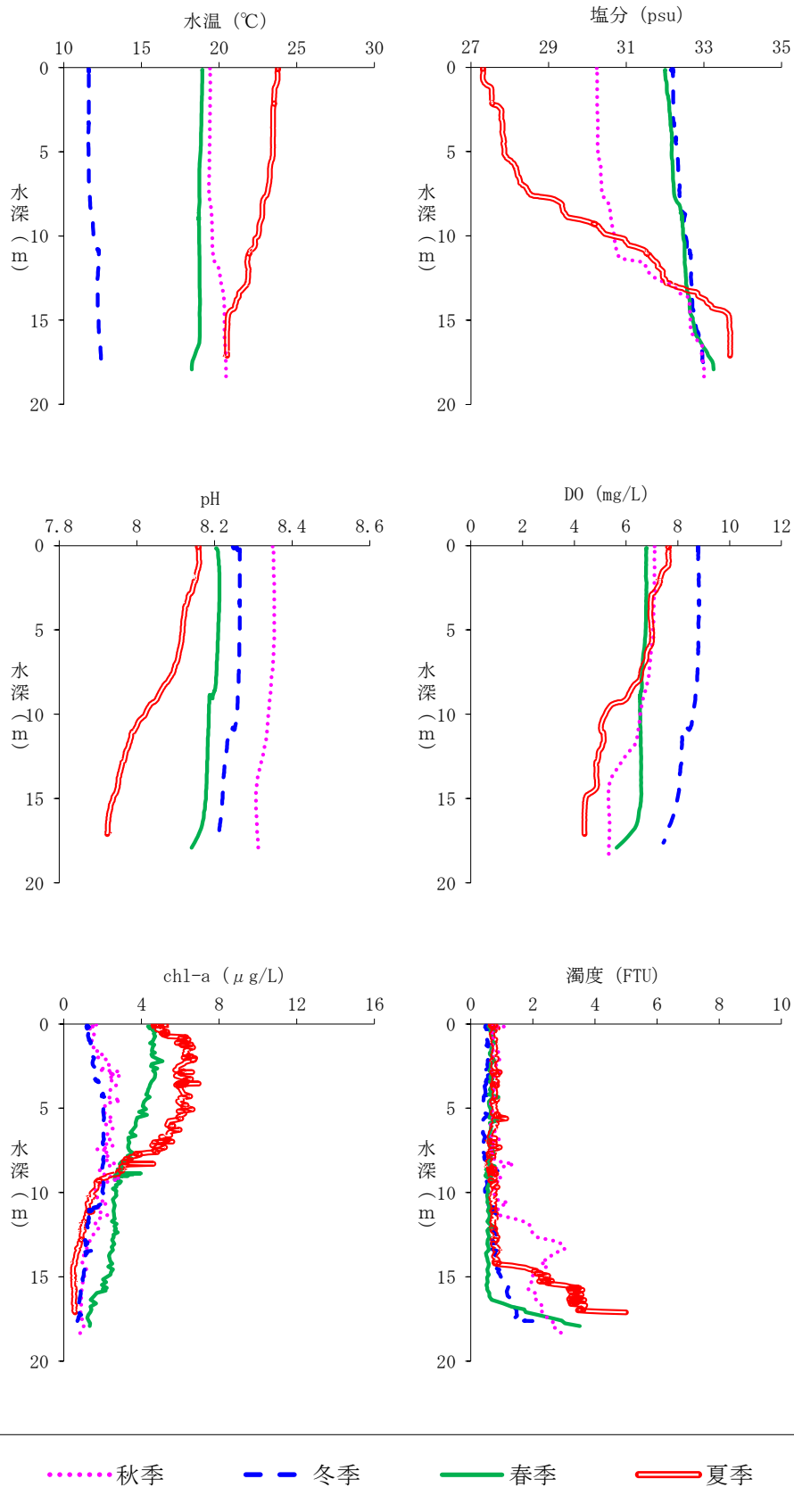


図 17.8 根岸湾口 (St.10) の項目別鉛直分布図

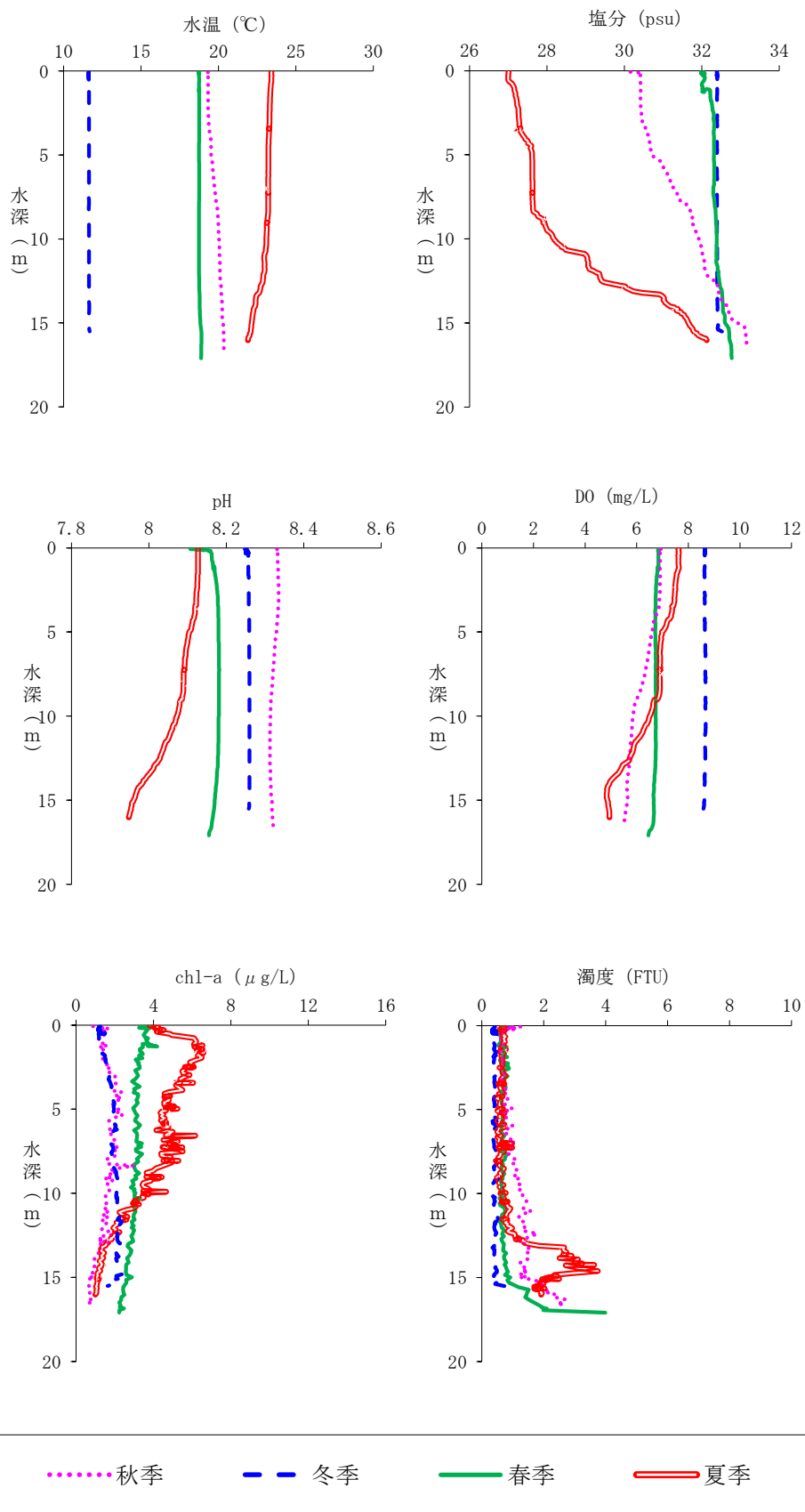


図 17.9 金沢湾口 (St.12) の項目別鉛直分布図

18. 専門家ヒアリングでいただいたご意見

専門家ヒアリングでは、報告書に関する多くのご指摘、助言、資料の提供をいただいたほか、横浜市の生物相調査を継続していく上で、以下のような貴重なご意見をいただきました。

(1) 採取の仕方、分類・同定について

- ・同定に使用する文献については、最新の情報を元にする必要がある。
- ・プランクトンの固定について、ピコプランクトンなど小さな植物プランクトンの場合は、グルタルールだけでなくルゴールでの固定も併用する必要があるが、今回の結果をみるとグルタルールの固定だけで問題ないかもしれない。
- ・魚の調査結果について、南方系の魚が少ない印象を受ける。サデ網などの使用法については、表面を撫でるような使い方だけでなく、足で泥を掻き混ぜて追い出して採る方法も併用することで採れる種類も変わってくる。

(2) 海域生物の現状について

- ・東京湾全般に言えることだが、外洋化している。外洋水の影響を受け、本来なら湾口にいるような魚が横浜まで入ってきている。今回の結果からもクツワハゼなど、湾口の魚がシフトして湾奥にまで入ってきていることがわかる。
- ・貧酸素水塊の影響で沖合のベントスの多様性が落ちており、その影響で、それらを餌にするもっと大きな水産種も減っている可能性がある。反面、いろんなエサを餌とするサメやエイが増えていることが、今東京湾の生物群集で起きている変化かもしれない。今回の結果でも、ベントスの優占種の顔ぶれを見るとやはり貧酸素耐性が強い。多様性指数を出し、そういうのを継続的に見るととても面白い。
- ・結果からは南方系の魚が少ない印象を受ける。相模湾に流入する河口域も含め、沿岸においては近年南方系の魚の北上傾向が見られており、従来死滅していた南方系魚類が越冬している場合もある。単に東京湾の外側だけの現象で、湾の内側までは影響が及んでいないだけかもしれないが、今回の採集方法では泥底に生息する小型のハゼ類のような南方系魚類を採りこぼしている可能性がある。
- ・夕照橋でトゲモミジガイが出てきているが、モミジガイよりも南に分布する種である。どちらも棘皮動物に比べると低塩分に弱いので、湾内の塩分が安定していることがわかる。
- ・ムラサキイガイが横浜だけでなく、三浦半島においても激減している。恐らく温暖化の影響を受け、高温水温の耐性があるミドリイガイにシフトしている。もともとヨーロッパに分布する冷水性の貝のため、干出するところでは暑さに耐えられず、黒い貝殻が熱をもらって吸収して死滅してしまう。過去には観音崎の磯の岩全てがムラサキイガイで覆われていた時期もあったが、今はひとつもない。稚貝がついても夏を越せない状況である。

(3) 今後の注目種について

- ・ホソアヤギヌは、滝があるような上流から、汽水域までいる。塩分耐性が高く、海水の半分ほどの塩分のところまでいる。逆に海藻は真水が入るとすぐにだめになる。本調査でも鶴見川河口だけでなく、他の調査地点でも見つかる可能性はある。
- ・ホソアヤギヌと近い種で、タニコケモドキという紅藻類の海藻がいる。多摩川ではどちらも混在して採れる。葦原の根の付近でよく見付き、横浜で見られていてもおかしくない。
- ・東京湾では全滅したと思われていたアサクサノリが17年前に川崎の干潟で確認されている。

横浜市でも見つかる可能性はある。

- ・渦鞭毛藻のカレミア属の種（例えばカレミア・ミキモトイやセリフォルミスなど）、有毒な種は注目しておいた方が良い。カレミアの仲間は鎧板を持たず、固定するとラフィド藻やハプト藻ほどではないが形が変わりやすい。そのため、固定をベースにした調査だと見落とされる可能性がある。ハプト藻のクリソクロムリナ、ゲフィロカプサ、そしてラフィド藻のシャットネラなど、横浜でも見られると思われる種についても見落とさないよう注意した方が良い。

- ・野島水路にはヨシ原が現存しているが、こういったところにはウミゴマツボがいる可能性がある。多摩川には残っているが、横浜沿岸ではヨシ原自体が少ないため希少である。調査は定点性だけでなく希少種を探すというのも重要である。

- ・アカフジツボやナンオウフジツボ、ココポーマアカフジツボは見分けがつきにくい。ココポーマアカフジツボについては江ノ島でも確認されているが、アカフジツボは沖合のブイやロープに付きやすいのに対して、ココポーマアカフジツボやナンオウアカフジツボは岩礁や岸壁に付きやすいという生態的違いがある。

（４）まとめ方について

- ・定性的な調査だとしてもできる限り種ごとの出現頻度や個体数を記録することが重要。今が温暖化傾向の影響の過渡期だと思うので、南方系魚類が一気に定着するような発端を捉えるためには冬季や春季も含めて年間を通した調査が必要である。一方では今見られている種が消滅する場合もあるはずで、過去との比較のためにも変遷をできる限り捉える努力が必要である。

- ・植物プランクトンでは、渦鞭毛藻と珪藻のそれぞれの種の情報、種の細胞数の情報が使えるような情報である。種の情報が不確かな場合は、属レベルの情報でも有用な場合がある。また最低水温などに着目して変化を捉えるのも1つ。

- ・表やグラフの作り方、報告書の作り方について統一性を持たせた方が良い。

- ・外来種などを選定、抜き出すのと同様に、汚濁指標種についても考察する、環境要因と汚濁指標種を紐づけるなどすると良い。